

2013 Year's Report

平成25年度 事業報告書

一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団

目 次

平成25年度 財団ハイライト	1
平成25年度 事業ピックアップ	
「大阪府、国などの多様な受託事業に加え、自力で米国スタディツアーを実現」～2013年度の事業を振り返って～	2
§ 1 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団の概要	4
§ 2 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団の運営	8
1 理事会の開催	
2 評議員会の開催	
3 プロジェクト2013	
4 他機関との連携	
5 職員研修の実施	
§ 3 広報・PR	13
1 広報事業	
2 賛助会制度運営	
3 視察の受入れ	
§ 4 公益目的事業概要	
1 相談員育成事業	17
1 相談担当者のためのグループ・スーパービジョン	【賛助会費充当事業】
2 2013フェミニストカウンセリング専門講座	【賛助会費充当事業】
2 相談事業	21
1 DV被害・性暴力被害に悩む女性のための法律相談	【賛助会費充当事業】
2 DV被害者のためのサポート・グループ	【賛助会費充当事業】
§ 5 一般事業概要	
1 大阪府男女共同参画推進事業	23
1 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業	【大阪府（府民文化部）受託事業】
2 女性の抱える問題に関する相談事業	【大阪府（府民文化部）受託事業】
3 男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業	【大阪府（府民文化部）受託事業】
2 女性の能力開発・ネットワーク事業	46
1 はなみずき塾 II	【在日米国商工会議所（ACCJ）関西支部助成事業・はなみずき基金充当事業】
2 はなみずき塾：ポッドキャストプロジェクト	【在日米国商工会議所（ACCJ）関西支部助成事業・はなみずき基金充当事業】
3 はなみずき塾：心理学ワークショップ編	【在日米国商工会議所（ACCJ）関西支部助成事業・はなみずき基金充当事業】

4	シングルマザーのためのはなみずきセミナー【在日米国商工会議所（ACCJ）関西支部助成事業・はなみずき基金充当事業】	
5	はなみずきツアー	【自主事業】
6	母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練	【大阪府（商工労働部）受託事業】
7	厚生労働省「ポジティブ・アクション展開事業」	【厚生労働省受託事業】
3	文化表現事業	55
1	ドーン・シネマクラブ	【はなみずき基金事業】
4	国際交流事業	56
1	はなみずきスタディツアー「アメリカのNGOに学ぶ」	【自主事業】
2	関西アメリカン・センターとの講演会	【関西アメリカン・センター共催事業】
3	関西アメリカン・センターとの講演会	【関西アメリカン・センター共催事業】
4	（一財）アジア・太平洋人権情報センター、大阪府立大学女性学研究センターとの講演会	【（一財）アジア・太平洋人権情報センター、大阪府立大学女性学研究センター等共催事業】
5	女性の健康支援事業	61
1	大阪府不妊専門相談センター事業	【大阪府（健康医療部）受託事業】
6	次世代育成事業	68
1	夏期インターンシップ・プログラム	【自主事業】
2	研修・実習・職場体験等の受入れ	【自主事業】
3	近畿大学キャリアサポートセミナー	【近畿大学受託事業】
7	販売事業	72
1	「ウィメン・パイオニアズ」DVD&ブックレット販売	【自主事業】
2	海外女性監督ドキュメンタリー作品等の収集・加工・販売	【自主事業】
3	オリジナルビデオ&DVD、ハンドブック等の販売	【自主事業】
8	講師派遣・アウトリーチ	75
1	講師派遣・委員等応嘱・大学の講義受託	
2	三重県伊賀市クローバーカレッジⅢ	【三重県伊賀市受託事業】
3	泉大津市男女共同参画セミナー	【泉大津市受託事業】
9	NPO・市民活動支援事業	80
1	共催事業・後援事業	
10	女性に対する暴力対策事業	81
1	内閣府「女性に対する暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ事業」	【内閣府受託事業】
2	内閣府「性犯罪被害者支援に関する地方公共団体の男女共同参画部門における地域連携のあり方に関する調査研究」	【内閣府受託事業】
3	内閣府「性犯罪被害者支援体制整備促進事業」	【内閣府受託事業】

11 東日本大震災被災者支援事業	85
1 内閣府「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」	【内閣府受託事業】
2 東北女性の手仕事物産展・物産品の販売	【自主事業】
12 ドーンセンター指定管理事業	90
1 ドーンセンターの概要	
2 ドーン運営共同体の概要	
3 指定管理業務	【大阪府（府民文化部）受託事業】
4 一時保育事業	【自主事業】
13 東大阪市立男女共同参画センター指定管理事業	101
1 東大阪市立男女共同参画センターの概要	
2 施設管理業務	【東大阪市受託事業】
3 東大阪市主催事業	【東大阪市受託事業】
4 情報	【東大阪市受託事業】
5 登録団体支援	【東大阪市受託事業】
6 イコールム相談事業	【東大阪市受託事業】
§ 6 平成25年度 事業実施一覧	129
§ 7 平成25年度 決算	131
1 貸借対照表	
2 正味財産増減計算書	
3 財務諸表に対する注記	
4 附属明細書	
5 収支計算書	
参考資料	
1 設立趣意書	141
2 定款	142
3 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団のあゆみ	150

平成 25 年度 財団ハイライト

2013 年

- 4 月
 - ・大阪府府民文化部「大阪府男女共同参画推進事業」（2 期・1 年目）開始 [P. 23]
 - ・大阪府府民文化部「ドーンセンター指定管理事業」（2 期・3 年目）開始 [P. 90]
 - ・東大阪市「イコーラム指定管理事業」（1 期・3 年目）開始 [P. 101]
 - ・大阪府健康医療部「大阪府不妊専門相談センター事業」（4 年目）開始 [P. 61]
 - ・内閣府「平成 25 年度 東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」開始 [P. 85]
 - 5 月
 - ・大阪府商工労働部「母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練」開始 [P. 51]
 - ・近畿大学総合社会学部「キャリアサポートセミナー」[P. 71]
 - ・「はなみずき塾Ⅱ」開始★ [P. 46]
 - ・「はなみずき塾：心理学ワークショップ編」開始★ [P. 49]
 - ・「DV被害・性暴力被害に悩む女性のための法律相談」開始★ [P. 21]
 - 6 月
 - ・「シングルマザーのためのはなみずきセミナー」開始★ [P. 50]
 - ・「第 2 回 東北女性の手仕事物産展『どーんと東北』」開催★ [P. 87]
 - ・泉大津市「泉大津市男女共同参画セミナー『にんじんカレッジ初級編』」開始 [P. 79]
 - ・内閣府「女性に対する暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ事業」開始 [P. 81]
 - 7 月
 - ・厚生労働省「ポジティブ・アクション展開事業」開始 [P. 53]
 - ・「大阪府内市町村における相談員及び相談事業担当者のためのブロック別情報交換・事例検討会」開始（大阪府男女共同参画推進事業）[P. 33]
 - 8 月
 - ・三重県伊賀市「クローバーカレッジⅢ『女性リーダー養成講座』」（3 年目）開始 [P. 78]
 - ・「夏期インターンシップ・プログラム」実施★ [P. 68]
 - 9 月
 - ・はなみずきスタディツアー「アメリカの NGO に学ぶ」開催★ [P. 56]
 - ・女子学生就労支援講座「私、ゼッタイ就職します『キャリア支援セミナー&男女いきいき事業者・学生マッチング交流会』」開催 [P. 44]
 - ・内閣府「性犯罪被害者支援に関する地方公共団体の男女共同参画部門における地域連携のあり方に関する調査研究」開始 [P. 82]
 - 10 月
 - ・「DV被害者のためのサポート・グループ」開始 [P. 22]
 - 11 月
 - ・「2013 フェミニストカウンセリング専門講座」開始★ [P. 19]
 - ・「相談担当者のためのグループ・スーパービジョン」開始★ [P. 17]
 - ・「はなみずきツアー」（3 年目）開催★ [P. 50]
 - 12 月
 - ・内閣府「性犯罪被害者支援体制整備促進事業」開始 [P. 83]
- ### 2014 年
- 1 月
 - ・東大阪市「イコーラム指定管理事業」（2 期：平成 26 年度～平成 30 年度）決定
 - ・研修プログラム「大阪府内 7 ブロック情報交換・事例検討会から見てきた課題を施策・事業に活かすために」開催（大阪府男女共同参画推進事業）[P. 41]

★印は財団自主事業

大阪府、国などの多様な受託事業に加え、自力で米国スタディツアーを実現

～2013年度の事業を振り返って～

業務執行理事 白井 文

女性相談の窓口充実へ

大阪府内7ブロックで初の事例検討会

2013年度も様々な事業に精力的に取り組ましましたので、いくつか紹介します。

まず大阪府男女共同参画推進事業では、電話相談、面接相談、学校教職員他各種研修、府民向け講座等を実施しましたが、今年度の新規事業として、大阪府内市町村における相談員と相談事業関係者のためのブロック別情報交換・事例検討会を実施しました。

この事業では、大阪府内市町村の女性のための相談窓口や男女共同参画センターの女性相談を充実させていくために府内を7つのブロックに分け、各ブロックの相談員、相談事業担当者が情報交換や事例検討を行いました。各市・センターでの女性のための相談に関する課題や困難ケース等についてスーパーバイザーからの助言を得て、大阪府全体の女性相談の技術向上、府民サービスを高めることをめざしました。オブザーバーとして地域担当ケースワーカーも参加するなど男女共同参画部門と福祉部門の情報の共有化と連携にもなりました。延べ116名の参加がありました。

働き続ける女性を支援する多様な連携

能力開発ネットワーク事業としては、女性のキャリア支援や母子家庭のお母さんなどを対象にした職業訓練やはなみずき関連事業とともに今年度は新たに、ポジティブアクション展開事業を企画提案プロポーザルによって厚生労働省から受託しました。この事業の目的は、女性社員が企業内で将来のキャリアプランを描きつつ、就業を継続していけるような環境づくりを促進するためにメンター制度の導入やロールモデルの育成を目指し、女性が将来のビジョンを描けるように支援を行うことです。

まずは、大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業

者や東大阪市異業種交流グループ「かがやき・ねっと」参加事業者等、対象企業を絞り込む中で経営層に直接働きかけ、18名の中堅女性社員の参加が決定しました。年3回の定例勉強会や東京でのメンター育成研修に参加し、ほぼ毎回ワークショップでメンバー間の交流が活発に行われました。

また大阪労働局雇用均等室や一般財団法人大阪労働協会(JOB カフェ OSAKA)との連携により事業を広報することにも努めました。この事業を受託したことで、対象企業や参加者の選定、研修の内容、ネットワークの広げ方など、各地の男女共同参画センターで同様の事業を展開する場合の手法、手順のモデルを示すことが出来たのではないかと自負しています。

米国ツアーでNGOの先進手法を学ぶ

国際交流事業では、アメリカスタディツアーを実現することが出来ました。デンバー・サンフランシスコ7日間の旅では、女性の自立をサポートする仕組みやプログラムを提供しているNGOを訪問しました。これらNGOの活動は、高い志と情熱を持つ女性達がリーダーシップを発揮していますが、参加者は活動の内容とともにNGOの組織運営や財源確保の方法など多くの学びを得ることとなりました。

このような先駆的な取り組みを紹介し、この分野におけるリーダーの育成も当財団の役割ではないかと考え、今後もこのような取り組みを模索して参りたいと思います。



次世代育成—インターンシップで

8名受け入れ、延べ67名に—

人材育成については、ジェンダーや男女共同参画の視点をもち社会で活躍する次世代を育成することを目的に大学生を対象にしたインターンシップを実施しました。今年度は8名を、そして1998年以来67名を受け入れて参りましたが、改めて取組を振り返りますと、インターンシップ経験者が他の男女共同参画センターで活躍したり、ジェンダー視点の研究者になったりして、若年者にこのようなプログラムを提供する意義を感じております。



東日本大震災被災者支援事業を継続

東日本大震災被災者支援事業としては、東北3県女性の手仕事物産展等の他、内閣府の東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業は、受託して3年となりました。拠点や連携の状況に変化があるものの、相談内容は深刻化していて、ますます事業の必要性は、関係者から求められています。女性相談から法律相談（法テラス）に引き継ぐ仕組みはカウンセラーや相談者からも好評で、継続した受託の中で関係者の意見を反映できた好事例と考えています。



性暴力被害者支援は急務

女性に対する暴力対策事業については、引き続き全国の配偶者暴力相談支援センターの設置を促進する事業に関わるとともに、内閣府事業の性犯罪被害者支援に関わる地方公共団体の男女共同参画部門における地域連携のあり方に新たに関わることにしました。

今までの大阪府女性相談事業や全国展開したパープルダイヤル（配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業）、東日本大震災被災者支援事業においても解決しなくてはならない課題として認知されているのが性犯罪被害者支援もありました。今年度、当財団は、事務局として都道府県市町村に性犯罪被害者支援窓口等について調査をし、現状を調査表にとりまとめました。

さらに性犯罪被害者支援に関する地方公共団体の男女共同参画部門における地域連携のあり方に関する検討委員会の事務局を当財団が担うとともに私は、委員の一人として先進事例の現地調査等を行いました。性犯罪被害者支援のワンストップセンターは、全国的にも数が少ないのですが、特に急性期に対応できる病院拠点型のワンストップセンター「性暴力救援センター・大阪」（SACHICO）は、民立民営で先駆的な取り組みをしており、中長期的に被害者の支援を行うことを期待されている大阪近隣各地の男女共同参画センターとの連携が重要だと再認識しました。しかしながら性犯罪被害者を適切に支援するスキルがあるスタッフの育成や地域資源が乏しいのが現状です。

今回、内閣府では行政職員や支援員の育成研修を実施しましたが、さらに継続し、また広げていく必要性を感じたところです。

なお、最新（平成21年度調査）の大阪府民意識調査、「女性の人権が尊重されていないと感じるものは、どのようなことについてですか」の問いで、「性犯罪」に○を付けた割合は、女性55.8% 男性46.6%となっています。性犯罪の実態や被害者の状況を理解してもらえような啓発もまだまだ不足しているのが現状です。

当財団は、男女が対等な立場で、あらゆる分野に参加・参画できる社会の創造を基本理念に相談、情報収集・提供、人材育成・啓発等に取り組んでおりますが、さらに活動を展開させていかねばならないと考えております。

§ 1 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団の概要

1 基本理念・目的

「男女が対等な立場で、あらゆる分野へ参加・参画することができる社会の創造」を基本理念とし、社会的・経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための専門的で総合的な支援機能を果たしていくことを財団運営の目的とする。

<運営方針 ー3つのCー>

Continue 継続のC

20世紀に起きた女性の社会参加・参画への理念と熱意、ジェンダー格差是正のための意識改革、女性のエンパワメントの意欲などを継承する。

Collaborate 協働のC

NPOや企業、学校など様々な団体・機関と協働して課題に取り組む。

Change 変革のC

男女共同参画社会づくりを阻む社会慣行や制度を変革する事業を展開する。

2 設立年月日 平成6（1994）年4月1日

3 基本財産 1億円（大阪府全額出資）

4 所在地 大阪市北区西天満3丁目11番8号

5 主要事業

- （1）男女共同参画社会の実現に資する情報収集・提供及び調査研究事業
- （2）男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業
- （3）女性の抱える問題に関する相談事業
- （4）女性の能力開発・ネットワーク事業
- （5）女性に対する暴力対策等人材養成支援事業
- （6）女性による文化表現活動支援事業
- （7）女性の健康支援事業
- （8）国際交流事業
- （9）次世代育成事業
- （10）指定管理事業

6 役 員

評 議 員	尼川 洋子	人と情報を結ぶWEプロデュース代表
	上田理恵子	株式会社マザーネット代表取締役社長
	高田 昌代	神戸市看護大学教授
	早瀬 昇	社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事
	松尾 園子	弁護士
理 事 長	時岡禎一郎	学校法人大阪女学院監事
業務執行理事	白井 文	グンゼ株式会社取締役
理 事	泉谷八千代	NHK奈良放送局長（～2013. 6. 30）
	金光 哲司	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団事務局長
	川中 大輔	シチズンシップ共育企画代表
	段林 和江	弁護士
	仁科あゆ美	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター
監 事	畑 律江	毎日新聞大阪本社学芸部専門編集委員
	田上 時子	特定非営利活動法人女性と子どものエンパワメント関西理事長
	林 紀美代	公認会計士

※50 音順、肩書は 2013. 4 現在

7 アドバイザー

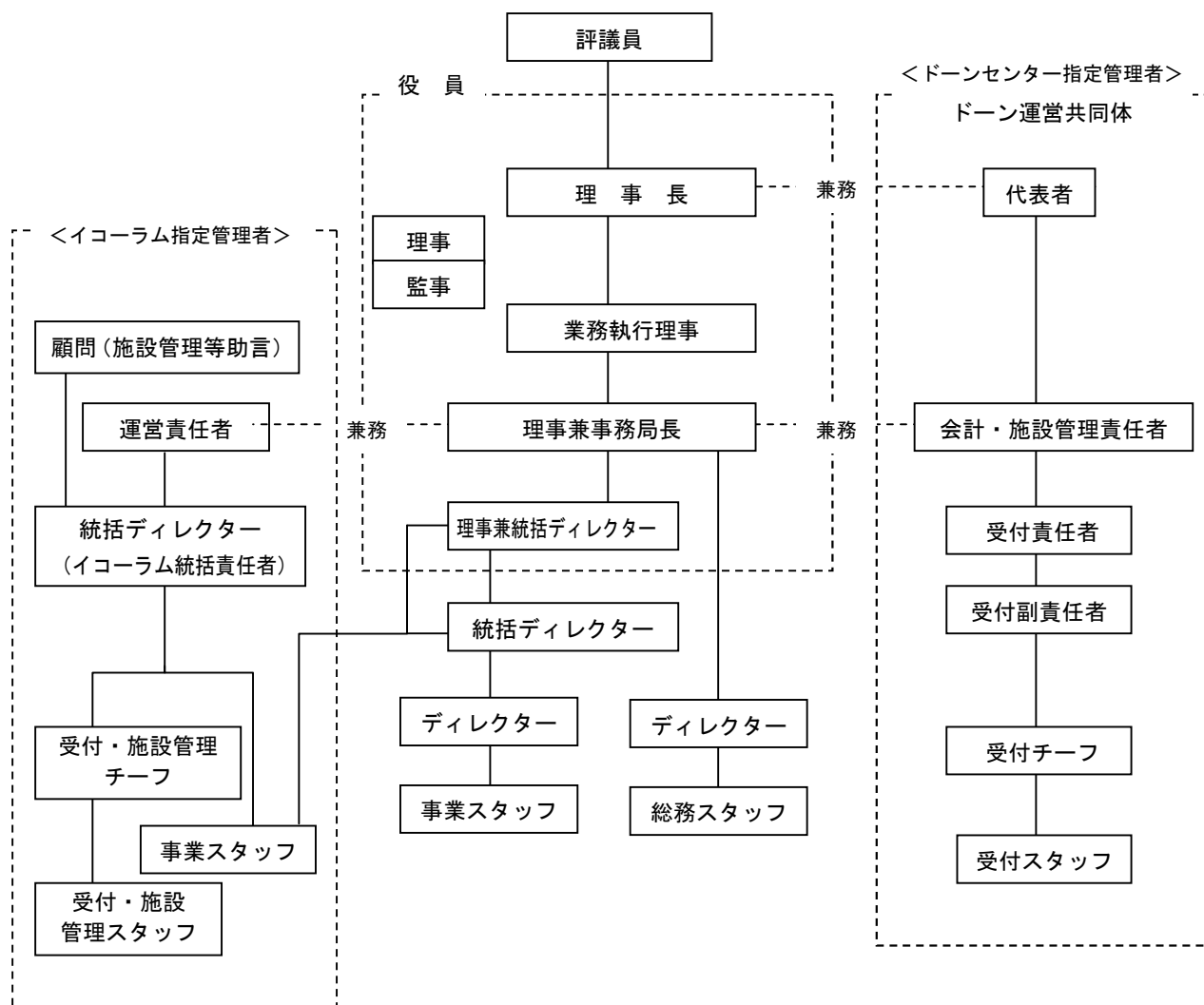
事業企画を行うにあたり、助言や必要に応じたコーディネートを担うアドバイザーを委嘱した。

（委嘱期間：2013年4月～2014年3月）

石野 伸子	産経新聞大阪本社編集委員
川喜田好恵	日本フェミニストカウンセラー協会代表理事・カウンセラー
熊 和子	元毎日放送ラジオ局エグゼクティブ
黒瀬友佳子	帝人株式会社 CSR企画室長
弘本由香里	大阪ガス株式会社 エネルギー・文化研究所 特任研究員
宮本由起代	特定非営利活動法人心のサポート・ステーション代表理事

※50 音順、肩書は 2013. 4 現在

9 組織体制



常勤役員×2名、正規職員×4名（常勤役員2名含む）、契約職員×18名、
非常勤職員×9名、相談員×13名（2013.4現在）

10 職員数 常勤役員兼プロパー職員×2名、プロパー職員×2名、
契約職員×22名（23名）、非常勤職員×8名（11名）、相談員×13名

※2013.4現在。（ ）内2014.3.31現在

（1）財団事務局

事務局長	金光 哲司（運営担当理事）
統括ディレクター	仁科あゆ美（企画・事業担当理事）
統括ディレクター	木下みゆき
ディレクター	阿部 茜、萬田久美子
スタッフ	近藤 裕子、矢島 孝子、中野 有希、中村 美果、平野 敬子、 石道 尚子、平井 厚子、米田 有杞（2013.5.1～）、大森 愛子、 西山 恵美（～2013.9.30）、小田川史子、石田 早苗、 久野 美鶴（2013.6.1～）

(2) 東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）担当

統括責任者	小林 洋子
顧問（施設管理等助言）	武田 勝行
受付・施設管理チーフ	栗田まりこ
スタッフ	中臣 桂子、山名 玲子（～2013.9.30）、扇田 敬裕、 石川香緒里（～2013.12.31）、西山 恵美（2013.10.1～）、 松澤 和彦、清水 尚美、木下 優（2013.12.1～）

(3) ドーン運営共同体担当

受付責任者	棚瀬 美幸、後藤小寿枝
受付副責任者	植田 宏美
受付チーフ	幸野 智彦
受付スタッフ	藤原 彩果、石川 敬子、竹林 香織、馬場 恵、前田 瑠佳、 山本 恒子（2013.1.12～）

§ 2 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団の運営

1 理事会の開催

(1) 第6回理事会

- 開催日 平成25年5月21日（火）18:00～20:00
- 議 題 ①平成24年度事業報告及び収支決算について
②平成25年度事業計画及び収支補正予算について
③公益目的支出計画実施報告書の扱いについて
④男性相談への対応方針について
⑤評議員会の招集及び議事事項について
- 報 告 ①「中期経営プラン」成果目標の達成状況について
②平成24年度事業財団自己評価について
③平成25年度財団職員の昇給について
④財団事業・賛助会事業・はなみずき基金事業収支報告について
⑤賛助会員の募集のお願いについて

(2) 第7回理事会

- 開催日 平成25年9月25日（水）13:30～15:00
- 議 題 ①東大阪市長男女共同参画センターの指定管理について
②平成25年度事業計画及び収支補正予算について
③就業規則の改正について
④無料職業紹介所への登録申請について
⑤財団定款の変更について
⑥評議員会の招集及び議事事項について
- 報 告 ①財団20周年記念誌の刊行について
②泉谷理事の辞任について
③平成25年8月末現在の財団財政状況報告について
④ファンドレイジング事業への寄付及び助成について
⑤財団の人事異動について
⑥共同体（指定管理者）の監査報告に伴う新聞報道について

(3) 第8回理事会

- 開催日 平成26年2月18日（火）13:30～15:15
- 議 題 ①東大阪市長男女共同参画センターの指定管理の受託について
②平成25年度事業計画及び収支補正予算について
③就業規則の改正について
④事務局規程の改正について
⑤給与規程の改正について
⑥研修規程の改正について
⑦印章取扱規程の改正について
⑧財団正職員の募集について

- ⑨平成24年度決算書の記入事項の訂正について
- 報 告 ①財団及びドーン指定管理者に対する監査委員事務局監査結果について
- ②平成25年度の主な事業報告について
- ③平成26年1月末現在の財団財政状況報告について
- ④平成26年度事業計画（案）の概要について
- ⑤財団20周年記念誌刊行及びセンター記念事業の進捗状況について
- ⑥平成26年度の財団組織運営体制（案）について

（4）第9回理事会

- 開催日 平成26年3月12日（水）10：00～11：45
- 議 題 ①平成26年度事業計画及び収支予算について
- ②規程の改正について
- ③平成26年度の財団組織体制について
- ④平成26年度の財団事務局長及び各部長の選任について
- ⑤評議員会の招集及び議事事項について
- 報 告 ①平成25年度主な事業報告について
- ②平成25年度財団決算見込みについて
- ③平成25年度ドーン運営共同体の決算見込みについて
- ④平成25年度監査結果報告について
- ⑤財団の次期理事及び監事の選任の流れ等について

2 評議員会の開催

（1）第4回評議員会

- 開催日 平成25年6月12日（水）10：00～12：00
- 議 題 ①平成24年度事業報告及び収支決算の承認について
- ②平成25年度事業計画及び収支補正予算の承認について
- ③公益目的支出計画実施報告書について
- 報 告 ①男性相談への対応方針について
- ②「中期経営プラン」成果目標の達成状況について
- ③平成24年度財団自己評価について
- ④平成24年度財団事業・賛助会事業・はなみずき基金事業の収支報告について
- ⑤平成25年度財団職員の昇給について
- ⑥平成25年度の財団の業務執行体制について
- ⑦賛助会員及び寄附者の募集について

（2）第5回評議員会

- 開催日 平成25年10月23日（水）15：30～17：00
- 議 題 ①平成25年度事業計画及び収支補正予算の承認について
- 報 告 平成25年9月25日の第7回理事会報告
- ①東大阪市立男女共同参画センターの指定管理応募について

- ②就業規則の改正について
- ③無料職業紹介所への登録申請について
- ④泉谷理事の辞任について
- ⑤平成25年8月末現在の財団財政状況報告について
- ⑥ファンドレイジング事業への寄付及び助成について
- ⑦財団の人事異動について
- ⑧財団20年誌の刊行計画について
- ⑨共同体（指定管理者）の監査報告に伴う報道について

（3）第6回評議員会

開催日 平成26年3月25日（火）10：30～12：00

- 議 題
- ①平成25年度事業計画及び収支補正予算の承認について
 - ②評議員の選任について
 - ③平成26年度の理事報酬について
 - ④平成26年度事業計画及び収支予算の承認について
 - ⑤平成24年度決算書の誤記入の訂正の承認について

報 告 平成26年2月18日の第8回理事会報告

平成26年3月12日の第9回理事会報告

- ①東大阪市立男女共同参画センターの指定管理受託について
- ②各種規則の改正について
- ③平成26年度財団職員の組織体制について
- ④平成26年度の財団事務局長及び各部長の選任について
- ⑤平成25年度（財団・共同体）の決算見込みについて
- ⑥平成25年度（財団・共同体）の監査報告について
- ⑦平成26年度財団アドバイザーについて

3 プロジェクト2013

（1）財団及びドーンセンター20周年記念事業の準備

平成26年度は、財団が設立20周年（4月1日）、ドーンセンターが開館20周年（11月11日）を迎えます。そのため、平成25年度より「財団20周年記念誌」の刊行に向けた準備を進めるとともに、ドーンセンター20周年を記念する事業の開催に向けた準備を進めました。

（2）相談担当者のための事例検討・ネットワーク会議の開催

平成25年度より、大阪府男女共同参画推進事業の一環で、大阪府内市町村の女性相談窓口や男女共同参画センターの女性相談の充実を図るため、大阪府内7ブロックの各地域において、相談員及び相談事業担当者間の情報交換や事例検討を行う会議を開催しました。

(3)「東大阪市立男女共同参画センターの指定管理事業（平成26年度～平成30年度）」受託者への応募

企画書等提出 平成25年10月21日（月）

結 果 事業受託者として決定

契約期間 平成26年4月1日（火）～平成31年3月31日（火）

(4) 平成26年度「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」受託者への応募

入札・改札 平成26年3月12日（水）

結 果 事業受託者として決定

契約期間 平成26年4月1日（火）～平成27年3月31日（火）

4 他機関との連携

関係機関相互の情報交換・ネットワーク形成を図ることで、事業及び法人運営の充実を図った。

(1) 特定非営利活動法人全国女性会館協議会 団体会員

(2) 大阪府内女性関連施設連絡協議会 会員

(3) 社団法人おおさか人材雇用開発人権センター 会員

(4) 社団法人日本図書館協会 会員

(5) 専門図書館関西地区協議会 会員

(6) 大阪府外郭団体代表者懇話会 会員

(7) 大阪府男女共同参画推進ネットワーク 会員

5 職員研修の実施

(1) 理論研修

	月 日	研修名
1	5月23日（木）	男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム（基礎編1）
2	5月30日（木）	男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム
3	6月 6日（木）	女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム
4	6月20日（木）	男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム（基礎編2）
5	6月27日（木）	男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム（基礎編2）
6	6月29日（土）	男女共同参画週間記念のつどい（イコーラム）
7	7月27日（土）	はなみずき塾
8	7月 9日（火） 10日（水） 11日（木）	人権研修（DVD研修）
9	9月10日（火） 10月 2日（水）	DV被害者・性暴力被害者の理解

(2) 実務研修

	月 日	研修名
1	6月25日 (火) 26日 (水)	クレーム対応について 講師 細谷晴美 ((有)スリーシーシーパートナーコンサルタント)
2	9月 2日 (月) ～ 8日 (日)	【海外研修】 アメリカのNGOに学ぶ
3	11月10日 (日)	【国内研修】 出石永楽館大歌舞伎

§ 3 広報・PR

1 広報事業

当財団の活動内容や事業成果等を広く発信するため、ホームページ等を運営するとともに、ニュースレターを発行した。

(1) ホームページ (<http://www.ogef.jp/>) の管理・運営

①目 的 当財団の活動内容等を広く情報公開することを目的にホームページを運営する。

②アクセス数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25年度	5,555	6,005	5,462	4,955	4,651	7,097	5,727	3,910	3,945	4,188	4,111	5,837	61,443
H24年度	4,025	4,063	5,111	4,007	3,712	4,625	4,531	4,023	3,637	4,695	4,065	4,814	51,308
H23年度	3,617	4,291	3,880	3,238	3,854	3,320	3,896	3,506	2,830	4,303	3,636	5,072	45,443
H22年度	2,980	2,471	6,041	7,053	4,795	5,319	3,720	3,644	3,768	4,027	3,492	3,432	50,742

(2) 財団ブログ (<http://ameblo.jp/ogef/>) を利用した情報発信

①目 的 当財団で実施した講座内容等の報告や、セミナー、視察などの報告をわかりやすい内容で情報発信する。

②アクセス数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25年度	2,243	2,967	3,608	3,861	2,930	3,090	3,390	2,895	3,430	3,567	3,296	3,948	39,225
H24年度	—	—	—	2,944	2,758	3,825	3,390	3,896	2,696	2,591	3,083	3,652	28,835

※平成24年7月よりアクセス数の集計を開始

(3) SNS「Twitter」(https://twitter.com/O_G_E_F) を利用した情報発信

①目 的 SNSを利用することにより、ホームページ・ブログで発信している情報にアクセスしやすくする。

月	ツイート数	フォロワー
平成26年3月現在	243	69

(4) ニュースレター『DAWN通信』の発行

①目 的 賛助会員やご寄付いただいた方などの支援者に向けて活動報告等を行うことを目的に、ニュースレターを発行する。

②発行頻度 年3回

③発行部数 3,000部

④内容等

No.	発行日	内容
第16号	平成25年 6月1日	特集「今年度の事業展開：このような事業を展開していきます」 トピックス：新しいステージに立つ財団にご支援を 〈執筆〉時岡禎一郎（（一財）大阪府男女共同参画推進財団 理事長）

第 17 号	平成 25 年 11 月 1 日	特集「アメリカNGO訪問スタディツアー報告記」 トピックス：業務執行理事 半年経って視えてきたこと 〈執筆〉白井 文（(一財)大阪府男女共同参画推進財団 業務執行理事）
第 18 号	平成 26 年 3 月 1 日	特集「今年は、財団設立・ドーンセンター開館 20 周年 ご予約ください！！ご期待ください！！ドーンとやります。20周年行事！！」 トピックス：今こそ、女性差別撤廃条約の周知を 〈執筆〉段林 和江（弁護士）

2 賛助会制度運営

（1）賛助会事務局の運営

①賛助会PR

②入会受付・賛助会カードの発行

③ニュースレターの発送（年3回）

④賛助会員優待事業の案内

ドーン・シネマクラブ／2013フェミニストカウンセリング専門講座 等

（2）平成25年度入会状況

	会員種別	入会件数	口数
1	個人会員	97 名	140
2	団体会員（非営利）	22 団体	24
3	団体会員（企業）	6 企業	15

（3）賛助会員一覧（平成26年3月31日現在）

①個人会員

青木 照子／尼川 洋子／新居 裕美子／荒木 美子／池田 幸雄／石元 清英
伊田 久美子／伊藤 誠／内屋 幸治／馬越 かよ子／大畑 眞由美
岡田 昌子／奥村 幸枝／尾後 裕子／梶川 富美子／川口 章／川崎 佳代子
北山 博一／倉田 清／黒瀬 友佳子／黒田 昌子／越堂 静子／伍賀 偕子
小林 和子／小牧 美江／小松 満貴子／小山 雅司／三枝 泉／志水 紀代子
清水 由喜／正路 怜子／鈴木 誠子／砂湖 和子／外川 恵／竹中 恵美子
田代 眞朱子／田中 一好／田中 潤子／田中 良正／田邊 幸子／田邊 幸子
谷岡 文香／徳武 聡子／中川 俱子／夏原 晃子／名取 千里／西辻 達也
野村 佳代／橋本 博雅／服部 道代／早瀬 昇／二木 洋子／淵田 智
本多 利子／升間 晶子／松岡 一彦／溝上 久美子／溝手 伸子／溝手 真理
森 栄子／森 俊江／森谷 恭子／森屋 裕子／山川 静代／山中 紀代子
山本 隆夫／山本 陽子／吉岡 重彰／若柳 一寿 匿名希望28名

②非営利団体

特定非営利活動法人 生きがい大阪
特定非営利活動法人 大阪心のサポートセンター
大阪司法書士会

大阪難聴児親の会（あゆみ会）
 一般社団法人 大阪府助産師会
 特定非営利活動法人 大阪府中途失聴・難聴者協会
 オパールネットワーク大阪
 カウンセリングニューやあやあ
 特定非営利活動法人 グループみこし
 劇団シルバームーン
 高齢社会をよくする女性の会・大阪
 国際女性年大阪連絡会
 特定非営利活動法人 心のサポート・ステーション
 女性グループ翼
 働く女性の人権センター いこる
 特定非営利活動法人 ハーティ
 特定非営利活動法人リトミック研究センター／大阪第一支局
 柳寿会
 他 3団体

③企業会員

株式会社 学校事務機センター
 株式会社 ゼロワン
 株式会社 タツミ
 司法書士事務所 ともえみ
 株式会社 日本イーライリリー株式会社
 株式会社 三菱電機ビルテクノサービス関西支社

※50 音順、敬称省略

3 視察の受入れ

視察の受入れを行い、当財団事業についての説明を行った。

<受入れ実績>

	月 日	内容	受入数
1	5月17日(金)	ソウル女性家族財団（韓国・ソウル女性プラザ）	3名
2	7月27日(土)	宝塚大学看護学部臨地実習「ドーンセンターにおける女性支援の実際」	教員3名 4年生24名
3	9月 5日(火)	大阪市立助産師学院「地域母子保健実習」	教員2名 学生20名
4	9月21日(土)	女性と経済学研究会「竹中恵美子文庫の見学」	6名
5	11月28日(木)	テジョン女性団体連合（韓国・大田）	5名

§ 4 公益目的事業概要

1 賛助会費充当事業

相談担当者のためのグループ・スーパービジョン

【事業概要】

- (1) 目的 スーパービジョン (super vision) とは、対人援助にたずさわる者（特に相談援助職）が常に専門家としての資質の向上をめざすための教育方法である。

実際の相談の現場では、さまざまな課題に直面し、「どう対応したらいいのか」「どのように理解したらいいのか」「自分の対応はこれでいいのか」・・・と迷いや悩みが生じる。そのため、臨床に基づいた研修の機会は、よりよい相談を行うためにも、また、援助者が燃え尽きることなく、仕事を継続するためにも不可欠である。

このスーパービジョン講座では、女性を対象とした相談やメンタルヘルス支援にたずさわる方が、実際に担当したケースを持ち寄り、ケースの捉え方、アプローチや対応の仕方などについて、経験豊富なスーパーバイザーとともに検討し、援助職としての資質と専門性の向上を図るとともに、女性の自立とエンパワメントのための心理的援助を行うために必要な視点や技術を提供することで、女性心身の健康と社会への参画に資する。

【事業内容・実績】

(1) 事例から学ぶ女性相談

～相談者の訴えを明確に把握し、適切な対応をするために～

- ①期 間 平成25年11月22日（金）～12月13日（金）
- ②場 所 ドーンセンター中会議室（4F）
- ③スーパーバイザー 竹之下雅代（ウィメンズカウンセリング京都、当財団カウンセラー）
- ④対 象 ・女性を対象とした相談やメンタルヘルス支援に関わる援助職支援活動をしている方
・行政窓口等で、事務職だが、相談を受けなくてはならない方
・福祉行政の相談等で、カウンセリングの手法を取り入れたい方 等
- ⑤参加費 3,000円
- ⑥内容・参加実績 定員：15名程度、申込者数：20名、決定者数：17名



	月日	内容	参加者数
1	11月22日（金） 10:00～12:00	女性相談の実際～構成事例を使って～	16名
2	12月12日（金） 10:00～12:00	グループ・スーパービジョンを体験する①	17名
3	12月19日（金） 10:00～12:00	グループ・スーパービジョンを体験する②	16名
			(延)49名

(2) 事例から学ぶ女性相談<1月コース>

～相談者の訴えを明確に把握し、適切な対応をするために～

- ①期 間 平成26年1月16日(木)～2月6日(木)
- ②場 所 ドーンセンター中会議室(4F)
- ③スーパーバイザー 杉本志津佳(フェミニストカウンセリング堺、
当財団カウンセラー)
- ④対 象 ・女性を対象とした相談やメンタルヘルス支援に関わる援助職
支援活動をしている方
・行政窓口等で、事務職だが、相談を受けなくてはならない方
・福祉行政の相談等で、カウンセリングの手法を取り入れたい方 等
- ⑤参加費 3,000円
- ⑥内容・参加実績 定員:15名程度、申込者数:19名、決定者数:15名



	月日	内容	参加者数
1	1月16日(木) 14:00～16:00	女性相談の実際～構成事例を使って～	15名
2	1月30日(木) 14:00～16:00	グループ・スーパービジョンを体験する①	12名
3	2月6日(木) 14:00～16:00	グループ・スーパービジョンを体験する②	13名
			(延)40名

2 賛助会費充当事業

2013フェミニストカウンセリング専門講座

【事業概要】

- (1) 目的 女性を対象とした相談やメンタルヘルス支援に関わる援助職、支援活動をしている方などを対象に、女性の自立とエンパワメントのための心理的援助を行うために必要な知識と技術を提供することで、女性の心身の健康と社会への参画に資する。

【事業内容・実績】

(1) 2013フェミニストカウンセリング専門講座：理論コース

- ①目的 フェミニストカウンセリングの中でも重要なテーマを取り上げ女性のおかれている状況やそこからくる心理的問題を考えると同時に、ジェンダーに敏感な視点がなければ適切に対応できない、DV、性暴力・虐待サバイバーへのサポートのあり方を学ぶ。
- ②期間 平成25年11月3日（日）～12月1日（日）
※4日間・全8回（計20時間）
- ③場所 ドーンセンター大会議室3（4F）など
- ④対象 ・女性を対象とした相談事業や、メンタルヘルスに関する事業に関わっている方
・カウンセリングの基礎知識があり、フェミニズムの視点に立った女性への心理的援助に関心のある方
- ⑤参加費 20,000円（各回3,000円）
- ⑥内容・参加実績 定員：50名、
申込者数：165名、決定者数：165名、参加者数：157名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	11月 3日（日） 10:30～13:00	フェミニストカウンセリングとは ～カウンセリングにジェンダーの視点を～ 井上摩耶子（ウィメンズカウンセリング京都代表）	19名
2	11月 3日（日） 14:00～16:30	暴力被害とPTSD ～トラウマを持つ女性・子どもへの臨床的サポート～ 岩井圭司（兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授、 発達心理臨床研究センター長、精神科医師）	20名
3	11月 9日（土） 10:30～13:00	「多様な性」を支える臨床現場から ～性同一性障がいの治療と生活の総合的支援～ 中塚幹也（岡山大学大学院保健研究科教授、岡山大学ジェンダーク リニック医師、G I D（性同一性障害）学会理事長）	20名
4	11月 9日（土） 14:00～16:30	性暴力・DV被害者への急性期医療 ～被害者の心身のケアとワンストップセンター～ 加藤治子（阪南中央病院、はるウィメンズクリニック産婦人科医師 性暴力救援センター・大阪（SACHICO）代表）	20名
5	11月16日（土） 10:30～13:00	法と司法に潜むジェンダー ～女性の暴力被害者への法的支援の取り組みと課題～ 長谷川京子（みのり法律事務所弁護士）	19名

	日時	テーマ／講師	参加者数
6	11月16日(土) 14:00～16:30	女性の貧困と就労の実態 ～今、労働の場から見える課題と支援～ 伊田久美子（大阪府立大学大学院人間社会学研究科教授、同女性学 研究センター所長）	18名
7	12月 1日(日) 10:30～13:00	自立支援に向けての取り組み ～DV被害者の相談支援の現場から～ 平尾一乃（社会福祉法人 宏量福祉会 野菊荘）	20名
8	12月 1日(日) 14:00～16:30	女性をエンパワーするために ～フェミニストカウンセラーの役割～ 川喜田好恵（日本フェミニストカウンセラー協会代表理事）	21名
			(延)157名

（２）２０１３フェミニストカウンセリング専門講座：研究コース

①目的 理論コース修了生を対象に、理論コースで学んだ知識を実際の現場でどう活かすかを考える。現場での実際のケースに沿いながら、フェミニストカウンセリングでのとらえ方、アプローチや対応の仕方などについてスーパーバイザーとともに検討し、援助職としての資質と専門性の向上を図る。

②期 間 平成26年1月18日（土）、1月25日（土）

※2日間・全4回（計10時間）

③場 所 ドーンセンター 中会議室1（4F）など

④対 象 ・本講座の理論コースを修了している方 ＊過去5年（2008年度以降）開催分
・相談員・カウンセラー、ケースワーカー、ファシリテーターなど援助の現場を持っている方
・上記に該当し、原則全回参加できる方

⑤参加費 13,000円

⑥内容・参加実績 定員：15名、申込者数：16名、決定者数：16名、参加者数：延べ6名

日時	スーパーバイザー	主な対象
1月18日(土) 10:30～16:30	井上摩耶子 (ウィメンズカウンセリング京都代表)	福祉・医療・シェルターなどケースワーク的 関わりを必要とする現場を持つ方や女性関 連施設、行政、教育機関など公的な機関で相 談現場を持つ方対象
1月25日(土) 10:30～16:30		

1 賛助会費充当事業

DV被害・性暴力被害に悩む女性のための法律相談

【事業概要】

- (1) 目的 女性問題に詳しい女性弁護士による女性の視点に基づいた法律問題に関する面接相談を行うことにより、DV被害・性暴力被害に苦しむ女性の生き方を支援する。

【事業内容・実績】

- (1) 期 間 平成25年10月～平成26年3月 毎月第3木曜日
*各日、1人30分 全4枠
- (2) 場 所 ドーンセンター サポート・カウンセリングルーム
- (3) 実施内容

	実施日	予約人数 (キャンセル待含む)	相談者数	キャンセル数
1	10月17日(木) 14:00～16:00	4名	3名	1名
2	11月21日(木) 14:00～16:00	7名	1名	6名
3	12月19日(木) 14:00～16:00	3名	3名	0名
4	1月16日(木) 14:00～16:00	6名	4名	2名
5	2月20日(木) 14:00～16:00	4名	2名	2名
6	3月20日(木) 14:00～16:00	5名	3名	2名
		29名	16名	13名

2 賛助会費充当事業

DV被害者のためのサポート・グループ

【事業概要】

- (1) 目的 ドメスティックバイオレンスを経験した女性が集まり、グループでファシリテーターと共に自分の経験や悩みを語り合うことを通じて相互に支え合い、現在の状況を整理し、自尊感情を取り戻し、問題解決能力を身につけていくための支援を行なう。

【事業内容・実績】

- (1) テーマ わたしの「再出発」～夫の暴力を逃れて～
(2) 期 間 平成25年10月8日(火)～平成26年3月18日(火)
月1回火曜日 全6回 14:00～16:00
(3) 場 所 ドーンセンター 調理室(4F)
(4) ファシリテーター 宮本 由起代(大阪心のサポートセンター代表、
当財団カウンセラー)
(5) 内容・参加者数 定員:各回10名程度、申込者数:14名



	月日	テーマ	参加者数
1	10月8日(火) 14:00～16:00	社会通念について	7名
2	11月12日(火) 14:00～16:00	二次被害について	6名
3	12月3日(火) 14:00～16:00	心理的な葛藤について	7名
4	1月21日(火) 14:00～16:00	トラウマからの回復について	7名
5	2月18日(火) 14:00～16:00	自己肯定感について	6名
6	3月18日(火) 14:00～16:00	サポート体制について	8名
			(延) 41名

§ 5 一般事業概要

1 大阪府（府民文化部）受託事業

女性に関する情報の収集及び提供に関する事業

【事業概要】

- (1) 目 的 女性に関する情報を収集、整理、加工し、データベース化するとともに、これらを活用して、多様な情報ニーズに的確に対応した情報を提供する。
- (2) 期 間 平成25年4月1日～平成26年3月31日
- (3) 場 所 ドーンセンター 情報ライブラリー（2F）

【事業内容・実績】

(1) ドーンセンター情報ライブラリーの運営

女性関係の図書・雑誌・行政資料・視聴覚資料等の閲覧・視聴・貸出サービスを行うほか、利用者からの情報相談に応じる。情報ライブラリーの運営にあたっては、「大阪府立男女共同参画・青少年センター情報ライブラリー管理運営要領」に基づき行う。

①開館日時 火・水・木・土曜日 9:30～17:30、金曜日 9:30～20:00

②利用状況

<入館者数・AV資料館内視聴・貸出・返却・予約・新規登録>

	入館者数	AV資料 館内視聴	貸出	返却	予約	登録(※1)
4月	1,398	59	622	721	16	11
5月	2,003	58	564	534	6	31
6月	2,346	87	606	596	19	28
7月	2,143	61	626	600	4	55
8月	2,491	79	666	670	12	47
9月	2,152	72	804	692	5	50
10月	2,258	82	617	725	16	54
11月	2,265	99	673	626	5	37
12月	1,529	62	566	528	8	19
1月	1,760	57	534	607	22	36
2月	1,726	45	507	554	17	22
3月	1,675	62	592	723	4	14
H25年度	23,746	823	7,377	7,576	134	404
H24年度	23,836	865	8,056	7,944	182	384
H23年度	23,700	1,133	8,691	8,748	208	285

※1 ライブラリーカード新規登録者数（カード登録者数 計22,599人）

<資料別貸出冊数>

分 類	平成25年度 (H26.3.31現在)	平成24年度 (H25.3.31現在)	平成23年度 (H24.3.31現在)
図書・雑誌（冊）	4,860	4,958	5,129
行政資料（冊）	373	353	354
視聴覚資料（点）	2,144	2,745	3,208
合 計	7,377	8,056	8,691

<情報相談>

ライブラリースタッフが、図書・資料・データベース等を活用して、検索指導や来館・電話・メールによる情報相談に応じる。

分 類	平成 25 年度 (H26. 3. 31 現在)	平成 24 年度 (H25. 3. 31 現在)	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)
利用案内	3, 261	3, 668	4, 267
検索指導	118	260	232
資料の所蔵・所在調査	636	1, 119	1, 145
特定テーマの資料案内	215	307	458
人材・学習情報の提供	79	97	138
グループ・施設情報の提供	57	74	54
ライブラリー活動・運営情報の提供	113	98	102
その他	7	15	5
合 計	4, 486	5, 638	6, 401

<府内公共図書館協力貸出サービス>

非来館者に対するサービス拡充のため、大阪府立図書館の協力により、府内公共図書館への協力貸出サービスを行う。

府内公共図書館への貸出（冊）	平成 25 年度 (H26. 3. 31 現在)	平成 24 年度 (H25. 3. 31 現在)	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)
	13	4	2

<大阪市立男女共同参画センター（クレオ大阪）との相互貸借サービス>

非来館者に対するサービス拡充のため、府市連携により、所蔵資料の相互貸借サービスを行う。

クレオ大阪との相互貸借（冊）	平成 25 年度 (H26. 3. 31 現在)	平成 24 年度 (H25. 3. 31 現在)	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)
	20	20	27

③図書・資料の蔵書数

	平成 25 年度 (H26. 3. 31 現在)	平成 24 年度 (H25. 3. 31 現在)	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)
図 書（冊）	43, 343	43, 073	42, 126
行政資料（冊）	13, 420	13, 213	12, 889
視聴覚資料（点）	2, 308	2, 284	2, 229
ビデオ	1, 667	1, 679	1, 679
DVD	608	571	516
カセットブック・CD	33	34	34
雑誌（冊）	54, 441	53, 207	50, 524
タイトル数	1, 721	1, 704	1, 675

(2) 人材情報データベースの管理運営

審議会や各種委員会委員候補となる様々な分野の女性人材や女性問題等の専門家に関するデータベースを管理運営し、依頼によって照会に応じる。

＜既存データの更新＞ 年 1 回

＜人材情報を提供した情報相談件数＞ 計 6 7 件

(3) ドーンセンターホームページの管理運営

ドーンセンターホームページ (<http://www.dawncenter.or.jp/>) の管理運営に係る統括者として、センターで実施される事業案内・トピックス等をホームページで情報提供する。

トップページへのアクセス数	平成 25 年度 (H26. 3. 31 現在)	平成 24 年度 (H25. 3. 31 現在)	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)
	436, 075	316, 643	296, 854

＜メニュー別アクセス数＞

メニュー名称	平成 25 年度 (H26. 3. 31 現在)	平成 24 年度 (H25. 3. 31 現在)	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)
事業案内	30, 607	33, 386	43, 133
施設案内	238, 975	244, 203	250, 509
講座・イベント	59, 109	95, 629	113, 971
情報ライブラリー	94, 225	589, 091	679, 477
女性情報ステーション	27, 866	62, 225	68, 946
出版物	676, 203	53, 447	70, 487
事業統計	76, 907	20, 550	22, 982
リンク集	5, 857	6, 819	8, 844
Introduction in English	66, 899	66, 051	58, 667
携帯電話による施設利用状況アクセス	2, 354	3, 308	5, 235
合 計	1, 279, 002	1, 174, 709	1, 322, 251

＜ドーンセンターホームページのリニューアルを実施＞

施設利用者の利用方法に応じてわかりやすいホームページにリニューアルした。

The screenshot shows the DawnCenter homepage with a navigation bar at the top containing links like 'アクセス', '施設案内', '施設利用申込', '講座とイベント', '情報ライブラリー', 'サポートグループ', and '就労支援コーナー'. Below the navigation bar, there is a large image of the DawnCenter building. To the right of the image, there is a section for '開館時間' (Opening Hours) and '休館日' (Closed Days). The '開館時間' is listed as 午前9:00～午後9:30. The '休館日' includes 毎週月曜日, 年末年始, and 祝日及び振替休日. Below this, there is a '開館日カレンダー' (Opening Day Calendar) for July and August. At the bottom, there is a section for '買しホール・会議室をご利用の方' (For those who use the shopping hall/conference room) and 'ドーンセンターが実施している事業について' (About the programs implemented by DawnCenter). The '買しホール・会議室' section includes a link to '7月の催し物' and '8月の催し物'. The '事業について' section includes a link to '講座とイベント' and a list of programs like '平成26年度 不妊・不育にまつわる電話相談' and 'サポートグループへのおさそい「子どものいない人生のこと、話してみませんか」'.

(4) 情報配信サービス

①メールマガジン『e-DAWN』の発行

ドーンセンターの最新ニュースを伝えるメールマガジンを月2回発行。

登録者数（人）	平成25年度 (H26.3.31現在)	平成24年度 (H25.3.31現在)	平成23年度 (H24.3.31現在)
	1,152	1,179	1,217

②情報メールサービスの配信

インターネット上で発信された情報から、男女共同参画に関わる活動や学習に活かせるものをピックアップし、月1回メールで配信。

登録者数（人）	平成25年度 (H26.3.31現在)	平成24年度 (H25.3.31現在)	平成23年度 (H24.3.31現在)
	232	221	219

(5) 視察・体験学習・フィールドワーク等の受入れ

情報ライブラリーの所蔵資料を活用し、学びの機会を提供した。

	月 日	内 容	参加者数
1	5月11日（土）	ライブラリーツアー（「はなみずき塾 自分発見ワークショップ」受講者）	1名
2	5月17日（金）	ライブラリーツアー（ソウル女性家族財団）	3名
3	5月23日（木）	ライブラリーツアー（「男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム」受講者）	50名
4	5月25日（土）	ライブラリーツアー（「母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練」5月開講コース受講生）	17名
5	6月20日（木） ～22日（土）	職場体験（JOBプラザ OSAKA）	1名
6	6月21日（金）	ライブラリーツアー（京都看護大学）	1名
7	6月26日（水） ～28日（金）	職場体験（JOBプラザ OSAKA）	1名
8	7月12日（金）	ライブラリーツアー（「母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練」7月開講コース受講生）	11名
9	7月17日（水） 、18日（木）	職場体験（JOBプラザ OSAKA）	1名
10	7月23日（火） ～26日（金）	職場体験（JOBプラザ OSAKA）	1名
11	7月24日（水）	ライブラリーツアー（新任教員研修）	10名
12	7月25日（木）	ライブラリーツアー（大阪府教育センター）	1名
13	7月25日（木）	ライブラリーツアー（門真市沖小学校・中学校教員）	12名
14	7月27日（土）	フィールドワーク（宝塚大学看護学部）	27名
15	8月21日（水）	ライブラリーツアー（インターンシップ）	8名
16	8月23日（金）	ライブラリーツアー（デートDV 学校教員のための研修プログラム）	12名
17	8月28日（水）	フィールドワーク（千葉経済大学）	13名
18	9月 5日（木）	フィールドワーク（大阪市立助産師学院）	22名

19	9月 6日(金)	ライブラリーツアー（「母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練」9月開講コース受講生）	15名
20	9月 8日(日)	ライブラリー見学（ライブラリーマネジメントゼミナール）	20名
21	9月14日(土)	ライブラリー見学（日本図書館研究会）	4名
22	9月21日(土)	視察（女性と経済学研究会）	6名
23	10月10日(木)	ライブラリー見学（大阪府教育センター研修）	70名
24	10月19日(土)	ライブラリーツアー（一般利用者）	1名
25	10月24日(木) ～25日(金)	ライブラリーツアー（大阪女学院大学「人権教育講座」）	18名
26	11月 1日(金)	ライブラリーツアー（「母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練」11月開講コース受講生）	15名
27	11月 9日(土)	ライブラリーツアー（「はなみずき塾 自分発見ワークショップ」受講者）	1名
28	11月15日(金)	フィールドワーク（大阪教育大学）	25名
29	11月15日(金)	ライブラリーツアー（岡山県備前市の女性団体）	21名
30	11月27日(水) ～12月14日(土)	同志社大学図書館司書課程実習	2名
31	12月20日(金)	ライブラリーツアー（韓国 富川市役所 海外研修団）	8名
32	12月25日(水)	ライブラリー見学（青山学院大学教員）	1名
33	1月10日(金)	ライブラリーツアー（「母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練」1月開講コース受講生）	11名
34	3月25日(火) ～28日(金)	職場体験（株式会社コスモス）	1名
			合計 413名

（6）情報ライブラリー所蔵資料のテーマ展示

ドーンセンターで開催する大阪府および当財団主催の関連事業に合わせて選書し、展示した。

月	テーマ	展示資料数	配布リスト数
4月	2012年度貸出ランキング 追悼 大橋鎮子さん	138 20	300 -----
5月	男女共同参画施策に関わる職員のための参考資料	121	500
8月	よりよい関係をつくるために 交際相手からの暴力防止 Women Pioneers—女性先駆者たち—	140 20	500 -----
9月	不妊相談センターサポート・グループ関連資料—妊娠・出産・不妊のいま—	53	200
10月	働く女性のココロとカラダ	80	200
11月	女性に対する暴力をなくす運動 2013 しごと子育ても自然体で—資料のなかのイクメンたち—	94 52	500 200
12月	シングルライフは自分らしく—おひとりさまを楽しむ—	52	200
1月	文学特集	30	-----
2月	追悼 小林カツ代さん 女性と子どもと貧困問題 特集 防災 国際女性デー	7 89 82 22	----- 200 300 -----

(7) 女性就労支援コーナー

情報ライブラリーにおいて、結婚や出産などで仕事を中断した後に再就職を希望している女性の方を対象に、就職・再就職活動を円滑にスタートさせることを応援する。

<提供しているサービス>

- ・しごとに役立つ図書等を集めた資料コーナー 展示資料数（194点）
- ・就職・再就職情報を入手できる機関の紹介
- ・しごとに関する相談ができる行政窓口や民間機関の紹介
- ・就労に役立つウェブサイトの紹介
- ・就労のための研修・職業訓練等の紹介（検索用専用PC使用可）
- ・ジョブ・カードの発行（予約制）
- ・キャリアカウンセリング（予約制）

(8) 女性のためのキャリア支援「キャリアカウンセリングを受けてみませんか？」

- ①目 的 「女性就労支援コーナー」の一環である「キャリアカウンセリング」について、キャリア・コンサルタント資格を持った女性カウンセラーが、相談者に一对一の個別カウンセリングを実施することで、
- ・求職中や休職中の女性等が、自分の価値観や適性、就業条件の優先順位、労働市場などへの理解を深め、早期に就職することを支援する。
 - ・就業中で今後のキャリア形成に悩みを持つ女性等が、自分自身を振り返り、新たな目標を持ってより意欲を高めて仕事ができるようになることを、支援する。
- ②日 時 平成25年6月～平成26年3月
11:00～11:50、14:00～14:50
- ③場 所 ドーンセンター情報ライブラリー グループブース（2F）
- ④対 象 大阪府在住・在勤の女性（予約制）
- ⑤費 用 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：40名、申込者数：47名、参加者数：36名

(9) 情報ライブラリー上映会

①目 的 情報ライブラリー所蔵の視聴覚資料の中から、女性監督のドキュメンタリー作品や、ジェンダー問題を取り上げた作品あるいは女性グループの活動を追ったドキュメンタリーなどを上映することで、当ライブラリーが所蔵する充実した資料をアピールし、来館者数並びに利用率向上に繋がることを目指す。

②期 間 平成25年6月～平成26年2月

③場 所 ドーンセンター情報ライブラリー グループブース（2F）

④参加費 無料

⑤内容・参加実績 定員：20名

	月 日	上映作品	申込者数	参加者数
1	6月29日(土)	『韓国発 映画をつくる女たち』 ＜2001年/韓国/40分/監督：イム・スルレ＞	7名	4名
2	8月29日(土)	『Women Pioneers ③市川房枝と婦人参政権のあゆみ』 ＜2011年/日本/32分 /DVD編集・制作：(財)大阪府男女共同参画推進財団＞	7名	6名
3	10月26日(土)	『布ー結びあう女たち』 ＜2004年/台湾/56分/監督：チェン・ウェイスー＞	3名	3名
4	12月21日(土)	『おひとりさまを生きる』 ＜2009年/日本/37分/制作：ビデオ工房 AKAME＞	23名	16名
5	2月22日(土)	『近くて遠い、遠くて近い貧困問題』 ＜2010年/日本/36分/制作：アジア太平洋資料センター＞	7名	4名
			(延)47名	(延)33名

2 大阪府（府民文化部）受託事業

女性の抱える問題に関する相談事業

【事業概要】

- (1) 目 的 女性の直面しているさまざまな問題について、相談カウンセリングを通じ、女性の自立と主体的な生き方に向け、必要な援助と解決のためのサポートを行う。
- (2) 期 間 平成25年4月1日～平成26年3月31日
- (3) 場 所 ドーンセンター サポート・カウンセリングルーム（3F）

【事業内容・実績】

(1) 女性のための面接相談

- ①日 時 火～金曜日 17:00～21:00
土・日曜日 10:00～18:00
- ②相談員 専門の女性カウンセラー
- ③相談件数

<主訴・年代別相談件数>

		平成25年度										平成24年度	
主訴／年代		～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明	合計	(%)	合計	(%)
生き方		0	34	78	105	80	11	6	1	315	23.7	275	20.7
こころ		0	15	37	66	10	10	6	3	147	11.1	147	11.0
からだ		0	0	0	7	0	0	1	0	8	0.6	13	1.0
仕事上の問題		0	5	9	12	9	0	0	0	35	2.6	36	2.7
パートナー関係		1	3	42	31	30	18	1	0	126	9.5	161	12.1
親子・家庭の悩み		2	24	47	67	39	18	5	0	202	15.2	213	16.0
人間関係の悩み		1	7	37	29	13	2	2	0	91	6.9	100	7.5
性・暴力被害		3	27	163	129	43	29	3	1	398	30.0	379	28.5
暮らし		0	0	0	1	2	0	0	0	3	0.2	6	0.5
その他		0	0	1	1	0	0	1	0	3	0.2	1	0.1
H25年度	合計	7	115	414	448	226	88	25	5	1,328	100.0	1,331	100.0
	(%)	0.5	8.7	31.2	33.7	17.0	6.6	1.9	0.4	100.0			
H24年度	合計	11	105	476	446	170	96	17	10	1,331			
	(%)	0.8	7.9	35.8	33.5	12.8	7.2	1.3	0.8	100.0			

<月別相談件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25年度	105	110	128	113	116	110	118	108	107	104	108	101	1,328
H24年度	117	114	115	104	118	111	116	109	104	99	109	115	1,331
H23年度	122	120	114	127	114	107	120	121	111	111	105	119	1,391

(2) 女性の悩み電話相談

①日 時 火～金曜日 17:00～20:00

土・日曜日 10:00～16:00

②相談員 女性相談員

③相談件数

<主訴・年代別相談件数>

		平成 2 5 年度										平成 2 4 年度	
主訴／年代		～10代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70代～	不明	合計	(%)	合計	(%)
生き方		0	3	33	38	142	8	1	8	233	9.9	268	12.8
こころ		0	16	153	699	152	19	1	24	1,064	45.3	533	25.5
からだ		0	0	18	25	73	5	0	5	126	5.4	92	4.4
仕事上の問題		0	1	12	5	4	0	0	2	24	1.0	36	1.7
パートナー関係		0	0	10	21	11	14	0	2	58	2.5	153	7.3
親子・家庭の悩み		0	4	12	45	75	16	2	6	160	6.8	190	9.1
人間関係の悩み		0	8	45	51	30	10	1	14	159	6.8	224	10.7
性・暴力被害		1	7	35	30	17	6	1	25	122	5.2	126	6.0
暮らし		0	0	29	71	59	6	0	8	173	7.4	105	5.0
その他		0	0	1	23	6	0	0	201	231	9.8	361	17.3
H25 年度	合計	1	39	348	1,008	569	84	6	295	2,350	100.0	2,091	100.0
	(%)	0.0	1.7	14.8	42.9	24.2	3.6	0.3	12.6	100.0			
H24 年度	合計	2	48	489	418	533	119	9	473	2,091			
	(%)	0.1	2.3	23.4	20.0	25.5	5.7	0.4	22.6	100.0			

<月別相談件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25年度	201	188	213	197	217	167	196	196	180	172	211	212	2,350
H24年度	204	201	193	190	167	156	160	144	158	155	164	199	2,091
H23年度	182	166	173	202	172	160	194	156	169	159	174	198	2,105

<留守電件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25年度	390	595	605	475	433	453	480	438	366	419	379	407	5,440
H24年度	370	514	421	394	462	615	526	473	320	383	385	502	5,365
H23年度	465	527	402	369	413	532	445	480	399	489	550	395	5,466

（３）相談事務局の運営

①目 的 相談に関する問い合わせや面接相談の予約受付業務及び相談来訪者対応を行うとともに、より適切な相談機関につなぐためのインテークや情報提供業務を行う。

②日 時 火～金曜日 １３：３０～１８：００ １８：４５～２１：００
土・日曜日 ９：３０～１３：００ １３：４５～１８：００

③対応件数

<問い合わせ・予約受付等件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成25年度	平成24年度
相談予約等	148	135	127	125	149	141	140	129	106	111	108	138	1,557	1,770
インテーク	24	36	51	35	34	21	33	25	18	15	28	34	354	309
事務電話	36	24	7	15	25	18	10	14	17	22	30	29	247	474
来訪者対応	111	116	132	116	119	112	110	111	108	104	110	105	1,354	1,374
H25年度	319	311	317	291	327	292	293	279	249	252	276	306	3,512	3,927
H24年度	381	349	359	314	345	340	326	306	265	306	292	344	3,927	

<留守電件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25年度	86	106	76	113	71	119	111	101	87	108	73	85	1,136
H24年度	94	102	115	119	84	135	107	113	67	114	77	88	1,215
H23年度	102	148	111	84	111	110	97	81	19	57	129	110	1,159

（４）相談員会議の開催

①目 的 相談事業に関わる相談員及び事務局スタッフが定期的に集まり、相談事業運営会議およびケース検討会を実施することで、相談事業の質と専門性の維持・向上を図る。

②日 時 原則第1火曜日 １４：００～１６：００ ※休館日にあたる場合は翌週に振替え

③出席者 電話・面接相談員、相談事務局、統括ディレクター、事務局長
※その他、議題に応じて関係者が出席

④内容・出席者数

	月 日	議 題	出席者数
1	4月16日（火）	平成25年度大阪府受託事業について／相談事業の運営について	13名
2	5月21日（火）	相談に関する今年度の新規事業について	10名
3	6月4日（火）	今年度秋以降の新規事業について／所属グループからの連絡	9名
4	7月2日（火）	平成24年度被災地における相談事業報告	11名
5	9月3日（火）	筆談でのカウンセリング確認等／所属グループからの連絡	9名
6	10月1日（火）	再委託の報道について	13名
7	11月19日（火）	相談関係事業の報告	8名
8	12月17日（火）	電話相談におけるハードユーザー対応についての報告	10名
9	2月4日（火）	今年度相談関係事業の実施報告	8名
10	3月4日（火）	来年度事業の報告・確認	11名

（５）相談員研修の実施

①目 的 電話・面接相談を担当する相談員を対象に、スーパービジョンの機会をつくることで、相談事業の質と専門性の維持・向上を図る。また、新たに相談員を雇用した場合は、一定期間の研修を行う。

②日 時 随時

③対 象 電話・面接相談員、相談事務局スタッフ

④内 容

＜スタッフ研修＞

	月 日	内 容	参加者数
1	9 月 10 日（火）	DV対応研修	1 名
2	10 月 2 日（水）	DV対応研修	1 名

＜相談員研修＞

1	5 月 21 日（火）	子どもの頃の被虐待経験
2	6 月 4 日（火）	親権・監護権
3	7 月 2 日（火）	セクハラ対応
4	9 月 3 日（火）	カウンセラーとクライアントの境界線
5	10 月 1 日（火）	カップルカウンセリングと個人カウンセリング
6	11 月 19 日（火）	電話相談のハードユーザー対応
7	12 月 17 日（火）	自虐行為
8	2 月 4 日（火）	被虐待経験からの回復
9	3 月 4 日（火）	独身女性の孤独と社会背景

（６）大阪府内市町村における相談員及び相談事業担当者のためのブロック別情報交換・事例検討会の開催

①目 的 大阪府内市町村の女性のための相談窓口や男女共同参画センターの女性相談を充実させていくために、府内 7 ブロックの相談員及び相談事業担当者と情報交換や事例検討を行う。各ブロックの相談員及び相談事業関係者が抱える課題を解決し力量を上げていくことで、大阪府全体の女性相談の技術向上、府民サービスを高めることをめざす。

また、当事業の実施による事例から浮かび上がる相談に係る課題は、今後ドーンセンターで行う研修事業等の企画やテーマ等に反映させ、一層の解決を図っていく。

②期 間 平成 2 5 年 7 月～ 1 0 月

③場 所 大阪府内各ブロックの男女共同参画センター等

④出席者 各ブロックの自治体・男女共同参画センターの相談員及び相談事業担当者

⑤スーパーバイザー （一財）大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー、
大阪府女性相談センターケースワーカー

⑥オブザーバー 大阪府女性相談センター 地域担当ケースワーカー
大阪府（男女参画・府民協働課、家庭支援課） 他

⑦参加費 無料

⑧内容・参加実績

地域	対象市町村	開催日/場所	スーパーバイザー	参加人数
三島	吹田市、高槻市、 茨木市、摂津市、 島本町	7月10日(水) 10:00～12:00 茨木市立男女共生センター・ローズWAM	・杉本志津佳 (一財)大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー ・増井香名子 (大阪府女性相談センターケースワーカー)	18名
豊能	豊中市、池田市、箕面市、 豊能町、能勢町	7月30日(火) 14:00～16:00 とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ	・竹之下雅代 (一財)大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー ・増井香名子 (大阪府女性相談センターケースワーカー)	18名
泉北	堺市、泉大津市、和泉市、 高石市、忠岡町	10月3日(木) 14:00～16:00 和泉市男女共同参画センター	・宮本由起代 (一財)大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー ・増井香奈子 (大阪府女性相談センターケースワーカー)	16名
泉南	岸和田市、貝塚市、泉佐 野市、熊取町、田尻町、 岬町、阪南市	10月9日(水) 13:00～15:30 泉佐野市生涯学習センター	・川喜田好恵 (一財)大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー ・増井香奈子 (大阪府女性相談センターケースワーカー)	17名
南河内	富田林市、河内長野市、 松原市、羽曳野市、藤井 寺市、大阪狭山市、太子 町、河南町、千早赤阪村	8月1日(木) 13:00～15:00 河内長野市男女共同参画センター	・宮本由起代 (一財)大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー ・増井香名子 (大阪府女性相談センターケースワーカー)	14名
大阪市 中河内	大阪市、八尾市、柏原市、 東大阪市	7月4日(火) 14:00～16:00 東大阪市立男女共同参画センターイコラム	・川喜田好恵 (一財)大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー ・増井香名子 (大阪府女性相談センターケースワーカー)	14名
北河内	守口市、枚方市、寝屋川 市、大東市、門真市、四 条畷市、交野市	7月11日(木) 14:00～16:00 寝屋川市立男女共同参画推進センター・ふらっとねやがわ	・宮本由起代 (一財)大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー ・増井香名子 (大阪府女性相談センターケースワーカー)	19名
				延 116 名

(7) 広報

①リーフレットの関係機関への配布等

4月：約3,000部

②ホームページ・メールマガジンなどを活用したWEB発信

4月：ドーンセンターホームページ更新

③関係機関が発行する相談先一覧への掲載

月	媒 体
4月	堺市自殺対策事業リーフレット
5月	豊中市人権白書
6月	茨木市「ひとり親家庭施策案内」
12月	枚方市「すくすく子育て手帖」 枚方市「暴力に悩むあなたのための相談案内」 豊中市HP「相談の窓口」

④研修・講座受講生への案内

月	研修・講座名
5月	男女共同参画施策に関わる担当者のための研修プログラム 約50部 不妊サポートグループ参加者 約10部
6月	女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム 約50部 新任教員研修 約10部 不育症セミナー 約50部
7月	大阪府内7ブロック情報交換・事例検討会 約70部 宝塚看護大学実習 約40部 春日丘高校人権学習フィールドワーク 約50部
8月	大阪府内7ブロック情報交換・事例検討会 約20部
9月	キャリア支援セミナー 約30部
10月	大阪府内7ブロック情報交換・事例検討会 約60部 大阪府被害者支援会議 約50部
11月	フェミニストカウンセリング専門講座 約20部 スーパービジョン講座 約20部
12月	京都府女性リーダー養成講座 約50部 甲賀市市民リーダー養成講座 約50部
1月	スーパービジョン講座 約20部 不妊サポートグループ 約20部 大阪府被害者支援会議 約50部

(8) カウンセラー派遣

①目 的 配偶者からの暴力による被害者を保護している民間シェルターに対し、被害者の心理的援助を行う女性カウンセラーを派遣し、被害者の自立に資する。

②派遣・相談件数

<月別件数>

平成25年度													
派遣先／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
シェルター（I）	2	3	3	2	2	2	3	1	3	2	2	2	28
	2	3	3	2	2	2	3	1	3	2	2	2	28
シェルター（S）	2	1	2	1	2	2	2	2	2	2	1	2	20
	2	1	2	1	2	2	2	2	2	2	1	2	20
シェルター（R）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シェルター（Y）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シェルター（A）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	4	5	3	4	4	5	3	5	4	3	4	48
	4	4	5	3	4	4	5	3	5	4	3	4	48

シェルター名については保護の必要上、頭文字等で表す。上段は訪問回数、下段は相談者数

<前年度比較>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成25年度	4	4	5	3	4	4	5	3	5	4	3	4	48
	4	4	5	3	4	4	5	3	5	4	3	4	48
平成24年度	8	8	8	8	9	8	7	9	8	8	7	8	96
	8	8	8	8	9	8	7	9	8	8	7	8	96
平成23年度	7	7	7	9	7	8	8	8	8	9	9	9	96
	7	7	7	9	7	8	8	8	8	9	9	9	96

(9) その他

①啓発講座事業において相談員が講師を務め、女性相談の知識と技術を提供

月	研修・講座名
5月	男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム
6月	女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム
7～10月	大阪府内7ブロック情報交換・事例検討会
1月	大阪府内7ブロック情報交換・事例検討会から見えてきた課題を施策・事業に活かすために

②通所証明書の発行及び個人情報開示件数

月	内容	件数
6月	個人情報開示	1件
	通所証明	1件
8月	個人情報開示	1件
10月	個人情報開示	1件
3月	個人情報開示	1件

③関係機関との連絡会議への出席

	月 日	内 容
1	10月7日(月)	大阪府被害者連絡会議 実務担当者会議
2	1月21日(火)	大阪府被害者連絡会議 代表者会議

3 大阪府（府民文化部）受託事業

男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業

【事業概要】

- (1) 目 的 男女共同参画に対する正しい理解と認識を深めるため、男女共同参画社会基本法、大阪府男女共同参画推進条例並びに改定おおさか男女共同参画プランの趣旨を踏まえ、大阪府域における男女共同参画施策の課題を分析し、実践的かつ効果的な講座やワークショップ、学習会等を実施する。
- (2) 期 間 平成25年4月1日～平成26年3月31日

【事業内容・実績】

(1) 男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム（基礎編1）

- ①目 的 初めて男女共同参画施策に関わる職員が、社会動向を見ながら、さまざまな課題を男女共同参画の視点でとらえ、男女共同参画社会を推進していくための総合的な力量を形成することをめざす。
- ②期 間 平成25年5月23日（木）、30日（木） 全4回
- ③場 所 ドーンセンター大会議室1（4F）
- ④対 象 配属年数が1年未満の男女共同参画施策担当の行政職員、関係機関及び関連施設の職員
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：63名



	日時	テーマ／講師	参加者数
	5月23日（木） 10:00～10:30	オリエンテーション	-
1	5月23日（木） 10:30～12:30	世界の流れ・日本の動き、現代社会のさまざまな課題を知る 桜井陽子（NPO 法人全国女性会館協議会理事長、 世田谷区立男女共同参画センター館長）	49名
2	5月23日（木） 13:30～15:30	女性をエンパワメントする相談のあり方を理解する 井上摩耶子（NPO 法人日本フェミニストカウンセリング学会 代表理事）	46名
	5月23日（木） 15:30～16:15	ドーンセンター情報ライブラリーツアー 木下みゆき（（一財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）	-
3	5月30日（木） 10:30～12:30	男女共同参画に係る基礎的な法律について学ぶ 段林和江（弁護士、（一財）大阪府男女共同参画推進財団理事）	46名
4	5月30日（木） 13:30～15:30	災害と男女共同参画について考える 田端八重子（NPO 法人参画プランニング・いわて副理事長）	45名
			(延) 186名

(2) 男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム（基礎編2）

- ①目 的 初めて男女共同参画施策に関わる職員が、男女共同参画の視点をもってプログラムの企画・立案することを実践的に学び、事業を推進していく力量の形成をめざす。
- ②日 時 平成25年6月20日（木）、27日（木）
- ③場 所 ドーンセンター大会議室1（4F）
- ④対 象 配属年数が1年程度の男女共同参画施策担当の行政職員、関係機関及び関連施設の職員
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：29名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	6月20日(木) 10:00～12:00	担当者のための情報活用ノウハウ：女性情報、メディア、著作権 木下みゆき（（一財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）	26名
2	6月20日(木) 13:00～15:30	講座の企画・広報・運営－1 仁科あゆ美（（一財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）	25名
3	6月27日(木) 13:30～16:00	講座の企画・広報・運営－2 仁科あゆ美（（一財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）	23名
			(延)74名

(3) 女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム

- ①目 的 女性を対象とした相談事業に携わる職員が、女性の悩みの背景にあるジェンダー問題を理解するとともに、男女共同参画社会づくりの視点から、女性相談のあり方について具体的に学び、男女共同参画施設や担当課における相談事業の運営に役立ててもらうことを目的とする。
- ②日 時 平成25年6月6日（木）10:00～12:00
- ③場 所 ドーンセンター大会議室1（4F）
- ④対 象 女性を対象とした相談に携わる事業担当者及び相談員、関係機関及び関連施設の職員
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：44名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	6月6日(木) 10:00～12:00	男女共同参画社会をめざす相談事業のあり方：自立とエンパワメントのための相談事業とは 川喜田好恵（日本フェミニストカウンセラー協会代表理事、 （一財）大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー）	40名

(4) 学校教職員のためのプログラム

「デートDV！ 生徒を加害者にも被害者にもしないために」

①目 的 (1)学校教職員が、デートDVの背景やその実態と影響、DVとの関係性を知り、ワークショップを体験することで、自校に適した授業プログラムを作成・実施できるようにする。

(2)学校教職員がデートDV・DVの被害者保護や相談の現場にいる担当者からの声を聴くことで、デートDV被害者への対応を知る。

(3)学校教職員が(1)のプログラムを実施するだけでなく、日常的に、児童・生徒が暴力によらない人間関係を育んでいける土壌作りができるよう、ドーンセンターの情報ライブラリー機能を含めた知的資源・人的資源の存在や利用法を知る場とする。

②日 時 平成25年8月23日(金) 13:00～17:00

③場 所 ドーンセンター特別会議室(5F)

④対 象 大阪府内の中学校・高等学校・支援学校教職員

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員:50名、申込者数:95名、受講決定:76名

	日時	テーマ/講師	参加者数
1	8月23日(金) 13:00～17:00	デートDV！生徒を加害者にも被害者にもしないために 増井香名子(大阪府女性相談センター相談支援課 企画調整総括主査) 川西寿美子(大阪私立学校人権教育研究会 指導員・相談員)	66名



(5) 男性講座「育児も仕事も楽しむ 男性版多角的人生のススメ」

①目 的 育児参加のロールモデルとなる男性を講師として、講師の経験、特に自分が考える生き方を実現するにあたって何が障害になり、それをどのように変えてきたかを話していただくことで、以下の効果を期待できる。

- ・育児参加を希望している男性には、それを阻んでいる環境要因や自分の価値観に気づき、行動変容していくことを促す。
- ・職場において管理的立場を担っている人が多い中高年男性には、男性の育児参加の阻害要因を理解していただき、職場で影響力を発揮して、若年層男性の育児参加を側面から支援してもらおう。

②日 時 平成25年11月27日(水) 19:00～21:00

③場 所 ドーンセンター大会議室1(4F)

④対 象 テーマに関心のある男性

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員:50名、申込者数:22名、受講決定:22名

	日時	テーマ/講師	参加者数
1	11月27日(水) 19:00～21:00	育児も仕事も楽しむ 男性版多角的人生のススメ 榎 英直(NPO法人ファザーリング・ジャパン関西副代表理事)	22名



（６）男女共同参画施策に関わる職員、女性相談に関わる相談員のための研修プログラム

「大阪府内７ブロック情報交換・事例検討会から見えてきた課題を施策・事業に活かすために」

①目 的 大阪府内市町村の男女共同参画関係課及び男女共同参画センター等では、女性相談やDV相談が実施されている。各所においては、それぞれの地域性をふまえ、庁内各課や地域の関係機関等との連携を構築しながら対応しているところであり、これらのさまざまな課題が府内７ブロック情報交換・事例検討会により浮かび上がってきた。当研修では、多くの担当者が抱えている課題解決のための講義を行い、大阪府内の相談事業関係者及び相談員が抱える課題を解決し力量を上げていくことで、大阪府全体の女性相談の技術向上、府民サービスを高めることをめざす。

②日 時 平成２６年１月１６日（木）１０：００～１２：００

③場 所 ドーンセンター大会議室１（４Ｆ）

④対 象 大阪府内男女共同参画施策に関わる職員、女性相談に関わる相談員等

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：３０名、申込者数：３８名、受講決定：３８名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	1月26日（木） 10:00～12:00	「女性相談・DV相談の対応の視点とヒント」 増井香名子（大阪府女性相談センターケースワーカー） 「女性のエンパワメントのための相談事業のあり方：女性／男女 共同参画センターでできること」 宮本由起代（（一財）大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー）	35名

(7) 企業向け啓発講座

「ただいま『女性活躍推進』実践中！～わが社の工夫、ぜ～んぶお話しします～」

- ①目 的
- ・女性の活躍促進に取り組む企業の実践報告により、自社への活用のヒントを得る。
 - ・発表者、参加者同士が問題意識を交流する中で、とりくむにあたっての自社の課題を明確にする。
 - ・参加者同士が相互にアドバイスをできるゆるやかなネットワークを形成するきっかけとする。

②日 時 平成26年2月21日（金）13:00～17:00

③場 所 ドーンセンター大会議室3（4F）

④対 象 企業の経営者、人事担当者、管理職他テーマに関心のある人

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：28名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	2月21日（金） 13:00～17:00	①行政施策の動向について 森實久美子（大阪労働局雇用均等室室長） 平田省司（経済産業省地域経済産業局人材政策課課長補佐） 柿本光美（大阪府府民文化部男女参画・府民協働課副主査） ② 事例発表4社 中本久美（㈱インターフォワードシステムズ 代表取締役社長） 吉崎広江（㈱ニコニココム 代表取締役） 道端文子（㈱日本政策金融公庫 近畿ブロック女性活躍推進担当） 宮道祐子（㈱モトックス 管理部人事グループマネジャー）	26名

(8) 府民向け啓発講座

「ネットの闇から女性・子どもを守る！～ストーカー事件、出会い系サイト、リベンジポルノ～」

- ①目 的 ・ SNSやリベンジポルノ、ネット犯罪の背景、実態を知り、被害者にも加害者にもならない知識を身に付けることで、自分自身や身近な人の生活を守る。
- ・ 親子や恋人とネットの利用方法について話し合うきっかけとし、若年層がネット、SNSの利用方法を改めて考える機会とする。
 - ・ 府民が「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」及び「ストーカー行為等の規制等に関する法律」の改正について知ること、女性に対する暴力の現状を理解する。



②日 時 平成26年2月9日（日）14：00～16：00

③場 所 ドーンセンター大会議室3（4F）

④対 象 テーマに関心のある人

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：66名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	2月9日（日） 14:00～16:00	ネットの闇から女性・子どもを守る！：ストーカー事件、出会い系サイト、リベンジポルノ 岡本真（アカデミック・リソース・ガイド株式会社 代表取締役／プロデューサー）	53名

(9) 女子学生就労支援講座「私、ゼッタイ就職します。」

『キャリア支援セミナー&男女いきいき事業者・学生マッチング交流会』

①目 的 「男女いきいき・元気宣言登録事業者」と女子学生のマッチング交流会の場を設定することで、女子学生の就労を支援し、事業者へは、女性も男性も働きやすい職場改善への働きかけとする。

②日 時 平成25年9月27日(金) 13:00～17:40

③場 所 ドーンセンターパフォーマンススペース (1F)

④対 象 平成26年春卒業予定者、卒業後3年以内の既卒者

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：57名、参加者数：35名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	9月27日(金) 13:00～17:40	●キャリア支援セミナー(13:00～13:45) ～4回生で内定、現在社会人1年目の先輩からの就活体験談～ ・岡本 鈴佳 (㈱マイナビ勤務) ・栗津小百合 (㈱マザーネット勤務) ●「男女いきいき・元気宣言」事業者など 学生・事業者マッチング交流会 (1)全参加事業者のプレゼンテーション (14:00～15:00) <参加事業者 12> ・㈱アイティ・コミュニケーションズ ・㈱アイティ・プランニング ・伊部㈱ ・(特活)大阪NPOセンター ・(一財)大阪府男女共同参画推進財団 ・㈱Swing Kids ・㈱大国フーズ ・㈱ビケンテクノ ・(特活)ヘルパーステーションぴよぴよ会 ・㈱北海鉄工所 ・丸二倉庫㈱ ・㈱ロイヤルクラウスハンセン・ジャパン (50音順) (2)各ブースでの説明会(15:00～17:00) 参加事業者交流会(17:00～17:40)	35名

(10) 男女いきいき・元気宣言事業者に係る情報発信

①目 的 ・男女いきいき・元気宣言登録事業者のポスター展示をすることで、この制度の存在を府民に広く周知する。

・登録事業者としての取り組みを広報することで本事業への登録者を募る。

②日 時 平成25年9月3日(火)～平成25年9月27日(金)

③場 所 ドーンセンターロビー(1F)

④対 象 来館者全員

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 参加事業者：21事業者

<参加事業者>

株式会社アイティ・コミュニケーションズ／株式会社アイティプランニング／株式会社イズミヤ／株式会社インターフォワードシステムズ／株式会社エバオン／株式会社大阪ガス／(特活)大阪NPOセンター／(一財)大阪府男女共同参画推進財団／(公大)大阪府立大学／株式会社クボタ／新教育総合研究株式会社／積水ハウス株式会社／株式会社ダスキン／帝人株式会社／株式会社天彦産業／(一財)とよなか男女共同参画推進財団／株式会社日本政策金融公庫／株式会社ビケンテクノ／株式会社プロアシスト／株式会社北海鉄工所／株式会社りそな銀行

1 在日米商工会議所（ACCI）関西支部助成事業・はなみずき基金充当事業

はなみずき塾Ⅱ

【事業概要】

- （１）目 的 働く女性の「仕事」と「生活」の充実をテーマに、あらゆる女性が、自身の生き方・働き方を選び取り、生涯にわたってキャリアを創造していくための力量形成を目的としたセミナーを開催する。

*第１部 元気に働く

スピーカーは、関西のさまざまな分野で働く女性の先輩。先輩の話を伺うことで、困難の乗り越え方、仕事と家庭の両立、リーダーシップなどの具体的な考え方を知り、参加者自身が働き続けていくためにモチベーションを上げ、悩みや不安を解消する。

*ティーブレイク

東北（岩手県、宮城県、福島県）から取り寄せたスイーツとお茶を提供。参加者同士の交流をはかる。

*第２部 生活を楽しむ

さまざまな分野のレクチャーやワークショップを行う。五感で体験し、楽しく生活するきっかけをつかむ。

【事業内容・実績】

（１）はなみずき塾Ⅱ

- ①期 間 平成２５年５月２５日（土）～平成２６年３月１５日（土）
 ②場 所 ドーンセンター視聴覚スタジオ（５Ｆ）他
 ③対 象 女性
 ④参加費 各日２，０００円、全８，０００円
 ⑤内容・参加実績 定員：各回３０名、申込者数９４名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	5月25日（土） 13：30～16：30	第1部 働き続けるわたしの歩み① スピーカー：伊藤みどり（積水ハウス㈱経営企画部 女性活躍推進グループリーダー理事） 聞き手：和田麻実子（ラジオ大阪アナウンサー） 第2部 日本の伝統芸を感じる 八房心香（日本南京玉すだれ協会 A 級指導者）	10 名
2	7月27日（土） 13：30～16：30	第1部 働き続けるわたしの歩み② スピーカー：白井 文（前尼崎市長、グンゼ株式会社取締役、 （一財）大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事） 聞き手：橋本佐与子（毎日放送報道局記者） 第2部 写真を楽しむ 垣本泰美（写真家）	17 名

3	9月28日(土) 13:30～16:30	第1部 働き続けるわたしの歩み③ スピーカー：広野郁子（株式会社アイ・キューブ代表取締役） 聞き手：仁科あゆ美（（一財）大阪府男女共同参画推進財団 統括ディレクター）	9名
		第2部 自然と遊ぶ 竹内靖子（NPO 法人キャンピズ 理事、桃山学院大学 講師）	
4	1月25日(土) 13:30～16:30	第1部 働き続けるわたしの歩み④ スピーカー：竹之下雅代（フェミニストカウンセラー、ウィメンズカ ウンセリング京都所属） 聞き手：和田麻実子（ラジオ大阪アナウンサー）	15名
		第2部 暮らしに茶の湯を！ 筒井ゆう子（茶の湯 朱雀庵 表千家講師）	
5	3月15日(土) 13:30～16:30	第1部 働き続けるわたしの歩み⑤ スピーカー：小島幸保（弁護士、小島法律事務所代表） 聞き手：新川和賀子（株式会社アイパーク ラジオディレクター）	10名
		第2部 コミュニケーションワークショップ 熊谷恵利子（NPO 法人日本クリニックラウン協会事務局長補佐 ／認定クリニックラウン（臨床道化師））	
			(延)61名

2 在日米国商工会議所（ACGJ）関西支部助成事業・はなみずき基金充当事業

はなみずきキャリア塾：ポッドキャストプロジェクト

【事業概要】

(1) 目的 「はなみずき塾」では、働き続けてきた軌跡、仕事と家庭・子育ての両立、リーダーシップ、仕事内容の紹介、後輩たちへの助言などをロールモデルとしてのスピーカーが、自身の体験を提示し参加者と共に課題を共有することで好評を得ている。この「はなみずき塾」をセミナー限りで終わらせず、諸事情により参加できない女性たち、また将来のキャリアを考える若い世代に広く伝えていくために、インターネット（ポッドキャスト）を活用した情報発信を行う。制作に当財団インターンシップ生も参画し、業務を通して長期的な視点でキャリアプランを考えるきっかけとする。

(2) 配信日 9、10、11、1、2月（原則第4火曜日 計5回）

【事業内容・実績】

①内 容 はなみずき塾に登壇したスピーカーに、各テーマに沿って取材。録音・編集後、当財団ホームページのポッドキャストにて公開。

②音 楽 「風の通る街」（企画・演奏：平岡洋子、作曲：奥村悦子）



	配信日	テーマ／スピーカー
第31回	9月22日	公務員の仕事 坂田泰子（大阪府府民文化部府民文化総務課長）
第32回	10月22日	新聞記者の仕事 反橋希美（毎日新聞学芸部記者）
第33回	11月24日	これからの暮らし・地域・社会を考える仕事 弘本由香里（大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所特任研究員）
第34回	1月28日	商品開発の仕事 後藤直子（グンゼ株式会社アパレルカンパニーインナーウェア事業本部MD部レディス担当部長）
第35回	2月25日	食文化を教える仕事 田中俊子（フードディレクター・ヴィーガンカフェ北北東シェフ、吹田歴史文化まちづくり協会理事）

3 在日米国商工会議所（ACGJ）関西支部助成事業・はなみずき基金充当事業

はなみずき塾：心理学ワークショップ編

【事業概要】

（１）目的 女性が、職場や家庭、地域等の課題やストレス等を解決し、自己尊重を高めるためのスキルを、＜自分発見＞＜自己表現＞に関する心理学の講義とワークショップを通して獲得し、セルフケアの方法を学ぶ。

自分にとって大切なものや自分らしさ、納得のいく生き方、対人関係の傾向などを、同じ悩みをもつ参加者同士の率直な話し合いや気づきを助けるワークを通して、発見・確認することをめざす。

【事業内容・実績】

（１）はなみずき塾：自分発見ワークショップ

- ①期 間 平成25年5月11日（土）～平成25年10月12日（土）
②場 所 ドーンセンター視聴覚スタジオ（5F）、大会議室1（4F）
③対 象 女性
④参加費 全5回 10,000円
⑤講 師 安田香珠子（女性問題専門心理カウンセラー、「こころの相談室Woman」主宰）
⑥内容・参加実績 定員：25名、申込者数：110名



	日時	テーマ	参加者数
1	5月11日（土）	もっと自分らしく生きるためにー！	21名
2	6月8日（土）	充たされない対人関係 なぜかしら？	20名
3	7月13日（土）	「強制選択」＋「エゴグラム」 どんなく私＞が見えますか？	15名
4	9月14日（土）	納得の人生に向けて、私の課題	16名
5	10月12日（土）	「死」という補助線を引いて生き方を考えてみよう	16名
			(延)88名

（２）はなみずき塾：自己表現ワークショップ

- ①期 間 平成25年11月9日（土）～平成26年3月8日（土）
②場 所 ドーンセンター視聴覚スタジオ（5F）
③対 象 女性
④参加費 各日2,000円、全8,000円
⑤講 師 安田香珠子（女性問題専門心理カウンセラー、「こころの相談室Woman」主宰）
⑥内容・参加実績 定員：30名、申込者数：186名



	日時	テーマ	参加者数
1	11月9日（土）	何が「自己表現」を妨げているんだろう？	33名
2	12月14日（土）	後味爽やかな「頼み上手」「断り上手」をめざそう。	25名
3	1月11日（土）	関係を壊さない「怒りの伝え方」をしよう。	29名
4	2月8日（土）	好感度をUPする「褒め上手、叱り上手」になろう。	30名
5	3月8日（土）	信頼関係を作る「聴き上手」をめざそう。	31名
			(延)148名

4 在日米国商工会議所（ACGJ）関西支部助成事業・はなみずき基金充当事業

シングルマザーのためのはなみずきセミナー

【事業概要】

- (1) 目的 シングルマザーが抱える悩みを具体的に取り上げ、解決へのヒントを獲得する。同様な環境を生き抜いてきた先輩女性からの講義やワークショップを受講・体験することなどで、シングルマザーがエンパワメントされ、生涯にわたってキャリア形成できる力量をつける。

【事業内容・実績】

- ①期 間 平成25年6月1日（土）～2月1日（土）
②対 象 女性
③参加費 無料
④内容・参加実績 定員：各回30名、申込者数：115名、参加者数：95名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	6月1日（土） 14:00～16:00	仕事と子育ての両立～子どもとの関係を考える～ 神原文子（神戸学院大学人文学部教員）	22名
2	9月7日（土） 14:00～16:00	もっと輝くわたしに変身！！～私に似合うメイクアップ術～ 遠藤瑞穂（P&G グループマックスファクタービューティーイノベーショングループエグゼクティブマネージャー）	30名
3	11月2日（土） 14:00～16:00	いきいきシングルマザーに出会う！ 枝村たつ江（しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西理事） 社納葉子（しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西理事）	19名
4	2月1日（土） 14:00～16:00	働き続けるために必要な知識・知恵を手に入れよう！ 川西寿美子（大阪私立学校人権教育研究会相談員）	24名
			(延)95名

5 自主事業

はなみずきツアー

【事業概要】

- (1) 目的 働く先輩女性と共に旅をし、古典芸能を楽しむことで、女性同士の交流・ネットワークを形成することを目的として開催する。

【事業内容・実績】

- (1) 第3回 毎日新聞専門編集委員 畑律江さんで行く 出石永楽館大歌舞伎
①日 程 平成25年11月10日（日）
②参加費 23,000円（交通費、大歌舞伎鑑賞料10,000円、軽食・昼食付き、国内旅行保険込み）
③対 象 女性、または男女ペア17名
④内容・参加実績 定員：17名、申込者数：17名、参加者数：17名



	日程	内容
1	11月10日（日）	古典芸能を楽しむ「第六回 永楽館大歌舞伎」 旅先の美味しいものを食べる・楽しむ 「出石皿そば」など 城下町を散策するー但馬の小京都“出石”を歩く

6 大阪府（商工労働部）受託事業

母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練

【事業概要】

- (1) 目的 企業で幅広く使用されている、Word、Excelなどの基本を学び、仕事の探し方や履歴書・職務経歴書の書き方、面接の受け方など、就職活動に役立つ情報やスキルを提供する。
- (2) 場所 ドーンセンター セミナー室2 他
- (3) 対象 就職を希望する母子家庭のお母さんなど
- (4) 定員 20名（最小催行人数11名）
- (5) 受講料 無料（ただし、テキスト代3,000円）
- (6) 主催 大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課
- (7) 協力 ハローワーク、マザーズハローワーク、JOB プラザ OSAKA 他

【事業内容・実績】

(1) 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練（パソコン実務習得科（2ヶ月）） 5月開講

- ①申込期間 平成25年3月5日（火）～3月26日（火）
- ②訓練期間 平成25年5月1日（水）～6月28日（金）10:00～16:25
- ③参加実績 定員：20名、申込者数：18名、修了者数：17名（延べ646名）

(2) 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練（パソコン実務習得科（2ヶ月）） 7月開講

- ①申込期間 平成25年5月1日（水）～5月24日（金）
- ②訓練期間 平成25年7月2日（火）～8月30日（金）10:00～16:25
- ③参加実績 定員：20名、申込者数：13名、修了者数：11名（延べ418名）

(3) 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練（パソコン実務習得科（2ヶ月）） 9月開講

- ①申込期間 平成25年7月3日（水）～7月24日（水）
- ②訓練期間 平成25年9月3日（火）～11月1日（金）10:00～16:25
- ③参加実績 定員：20名、申込者数：18名、修了者数：15名（延べ570名）

(4) 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練（パソコン実務習得科（2ヶ月）） 11月開講

- ①申込期間 平成25年9月3日（月）～9月25日（水）
- ②訓練期間 平成25年10月31日（木）～12月27日（金）10:00～16:25
- ③参加実績 定員：20名、申込者数：15名、修了者数：14名（延べ532名）

(5) 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練（パソコン実務習得科（2ヶ月）） 1月開講

- ①申込期間 平成25年10月30日（水）～11月26日（火）
- ②訓練期間 平成26年1月7日（火）～3月6日（木）10:00～16:25
- ③参加実績 定員：20名、申込者数：13名、修了者数：7名（延べ266名）

④内容 * 5月・7月・9月・11月・1月共通

パソコン実務	時間	しごと準備	時間
文書作成ソフト入門	35h	自己紹介、仕事に活かすアサーション	10h
文書作成ソフト応用	20h	家族・子どもとの関係づくり術	4h
表計算ソフト入門	37h	自分の強みさがし	2h
表計算ソフト応用	28h	仕事の探し方	2h
ファイル管理ソフト入門	3h	働くときの法律基礎知識	4h
プレゼンテーションソフト入門	8h	求人状況の現状などについて、	6h
インターネット入門	4h	様々な働き方、働く女性を取り巻く状況	4h
パソコン活用実践	15h	先輩の体験談	2h
実践練習	8h	キャリアプランの立て方・発表	9h
		履歴書・職務経歴書の書き方、面接のコツ	8h
		VDT 安全衛生	3h
		からだところのセルフケア	4h
合計			216h

7 厚生労働省雇用均等・児童家庭局受託事業

ポジティブ・アクション展開事業

【事業概要】

- (1) 目的 女性労働者が企業内で将来のキャリアプランを描きつつ、就業を継続していけるような環境づくりを促進するため、メンター（後輩から相談を受け、その問題の解消に向けてサポートする人物）制度の導入及びロールモデル（豊富な職務経験を持ち模範となる人物）の育成を目指し、若い女性が将来のビジョンを描けるための支援を行うための事業を実施する。
- (2) 主催 厚生労働省

【事業内容・実績】

(1) 定例勉強会

- ①目的 メンターネットワークに参加する中小企業等に勤務する女性労働者（以下「ネットワーク参加者」という。）同士の交流、相互研鑽等を目的とした定例勉強会を開催する。
- ②場所 ドーンセンター中会議室2（4F）
- ③対象 ネットワーク参加者 18名
- ④日時 平成25年7月4日（木）、10月3日（木）、平成26年2月6日（木）
- ⑤内容・参加実績 参加者数：延べ46名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	7月4日（木） 13:30～16:30	・講義「働く女性を取り巻く状況」 講師 三山雅子（同志社大学大学院社会学研究科准教授） ・自己紹介 ・グループディスカッション	18名
2	10月3日（木） 13:30～16:30	・講義「働くことを主体的に選ぶ：ワークもライフも大切にする働き方」 講師 上田理恵子（株式会社マザーネット代表取締役社長） ・事例報告「完璧をめざさない」 報告者 梶原冬江（株式会社クロスキンキ企画・開発課長） ・グループディスカッション	14名
3	26年 2月6日（木） 13:30～16:30	・講義「女性の力が社会を変える：21世紀は男女共同参画の時代」 講師 白井 文（グンゼ株式会社取締役・ （一財）大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事） ・事例報告「組織に女性の力を活かす」 報告者 鳥淵朋子（アクト研究室主宰） ・グループディスカッション コメンテーター 白井 文	14名
			(延)46名

(2) 公開勉強会

①目 的 地域の中小企業においてポジティブ・アクション導入を促進するため、ポジティブ・アクション推進の意義や女性社員の戦力化及び活躍推進の方法等について広く関係者に周知する公開勉強会を開催する。

②場 所 ドーンセンター大会議室3（4F）

③対 象 地域の企業の人事労務担当者、ネットワーク参加者 等 33名

④日 時 平成25年12月6日（金） 13:30～17:00

⑤内容・参加実績 定員：50名、申込者数：33名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	第一部 13:30～14:30	講演「ポジティブ・アクション推進の意義と課題」 講師 川口 章（同志社大学政策学部教授）	33名
2	第二部 14:40～15:20	事例報告 報告者 中本久美（㈱インターフォワードシステムズ 代表取締役社長） 小林 太（ホリアキ㈱ 管理本部総務部長）	
3	第三部 15:50～17:00	パネルディスカッション パネラー 川口 章 小林 太 中本久美 ネットワーク参加者1～2名 コーディネーター 矢島洋子（三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱ 経済・社会政策部主任研究員）	

1 はなみずき基金充当事業

ドーン・シネマクラブ

【事業概要】

- (1) 目的 女性の視点、オルタナティブな視点によって作られた作品等の上映を通して、映像文化の発展をめざす。
- (2) 日時 平成25年5月28日(火)
- (3) 場所 ドーンセンターホール(7F)
- (4) チケット 前売り1,000円(当日1,300円)
- (5) 広報協力 大阪映画センター

【事業内容・実績】

	日時	上映作品等	参加者数
第47回	5月28日(火) 10:30～ 14:00～ 18:30～	『人生、いろどり』 <2012年/日本/112分/監督:御法川修/プロデューサー・脚本:西口典子> 徳島県・上勝町は、過疎化、不況に苦しむ町であった。 山で採れる葉っぱを料理のくつまもの>として販売し、70～80代の女性たちを主戦力にしたビジネスは、年商2億円以上を稼ぎだし、町や人々は潤いを取り戻した一。 長い人生の中で、一度も主役になったことがない3人の女性たちが、料理の脇役であるくつまもの>との出会いを通じていきいきと輝き出す姿は、何歳になっても夢は追いかけられる、人生に遅すぎることはない、と、観る者に優しく語りかける。	280名



1 自主事業

はなみずきスタディツアー『アメリカのNGOに学ぶ』

【事業概要】

- (1) 目的 海外の女性に関するさまざまな機関等を訪問し、先進的な政策や関連の各種事業、支援体制、活動等の実例を見て、学ぶことで、日本の実情に合わせた男女共同参画の取り組みについて考える機会をもつ。また海外の女性リーダーや団体・NGO等との交流を促進するとともに、ツアー参加者同士のネットワークを図る。

【事業内容・実績】

(1) 「アメリカのNGOに学ぶ」

- ① 目的 シングルマザーや移民女性など、困難な状況にある女性たちを勇気づけ、自立支援しているNGOを訪問し、就労支援の仕組みやエンパワメントのさまざまなプログラムについて知る。また社会的弱者を支援するNGOの組織運営、ファンドレイジングや地域の協力者・賛同者のネットワーク構築等について学ぶ。ツアー参加者同士の交流を図り、帰国後のそれぞれの活動の発展をめざす。

- ② 日程 平成25年9月2日(月)～9月8日(日)

- ③ 参加費 1人あたり298,000円 +燃料・サーチャージ別

- ⑥ 内容・参加実績 参加者数：12名



	日時	場所	行程
1	9月2日(月)	関西空港 デンバー	関空出発(16:55発 UA886) → サンフランシスコ(10:45着) サンフランシスコ(12:50発 UA1582) → デンバー(16:23着) (デンバー泊)
2	9月3日(火)	デンバー	10:00 Work Options for Women シングルマザーが職業訓練として料理技術を学ぶ。訓練修了生はオフィス街のカフェの勤務経験後、ホテルやレストラン等のプロの料理人として働き自立していく。 昼食 Cafe Options 職業訓練修了生が働くカフェ 14:00 Dress for Success Denver 本部はニューヨーク。全米各地に支部があり他欧州や南米にも展開。様々な困難を抱えながら再就職をめざす女性に服装をトータルコーディネートしながら、自信をもって就職試験や面接を乗り切れるよう、さまざまなトレーニングを行い、就職までを支援する体制を確立している。 ※企業からNGOに提供された商品(バッグ等)を購入するかたちで、NGOへの寄付に参加。 (デンバー泊)

3	9月4日(水)	デンバー	10:00 Project WISE 1995年創設。トラウマを抱えている虐待やDVのサバイバー、生活が困難な女性をサポートしている。スタッフと特別な研修を受けたボランティアなどが女性のエンパワメントをサポート。女性たちは個人面接やサポートグループを重ねていくことで、自信を回復していく。同じミッションのNGOと連携しながら就労支援も行い、経済的自立までをサポートする。 14:00 Women's Bean Project 1989年創設。更生保護女性の自立を支援する。豆スープセットなどの商品のブランド化に成功。年商200万ドル超。女性たちが生活スキルを学びながら就労訓練し自立していくことを支援する。併設のショップで豆スープセットやクッキーミックス、アクセサリーなどを買い物 (デンバー泊)
4	9月5日(木)	デンバー	自由行動：市内観光、ロッキーマウンテン観光、アメリカンフットボール観戦 等 (デンバー泊)
5	9月6日(金)	デンバー サンフランシスコ	デンバー (10:20 発 UA1277) → サンフランシスコ (12:02 着) 午後 自由行動 市内観光、振り返り会 など
6	9月7日(土)	サンフランシスコ	空港へ移動 サンフランシスコ (11:30 発 UA885) →
7	9月8日(日)	関西空港	関空到着 (15:15 着) 解散

※ツアー企画：(一財) 大阪府男女共同参画推進財団

※旅行手配：トップツアー株式会社

2 関西アメリカン・センター共催事業

講演会「最高のリーダーシップ 女性のより一層の活躍を目指して！」

【事業概要】

- (1) 目的 2012年に世界経済フォーラムが発表したジェンダー指数（GGI）では、日本は135カ国中101位であった。その報告には、日本の女性議員や企業幹部の少なさが指摘されている。女性の活躍を推進していくために必要なリーダーシップスキルを開発していくことの必要性を知る。

【事業内容・実績】

(1) 「最高のリーダーシップ 女性のより一層の活躍を目指して！」

- ① 目的 リーダーを目指す方々、次のレベルへのステップアップを目指す意欲溢れる女性、男性の方々が、豊かな経験を持ち、国際的に著名なリーダーシップ・ディベロップメント・コーチ、そしてジャーナリストでもある講師との対話・交流型セッションを通して、女性が最大限にリーダーシップを発揮する戦略やそのアプローチの方法を学ぶ。

- ② 日時 平成25年10月25日（金）
③ 場所 ドーンセンター視聴覚スタジオ（5F）
④ 対象 テーマに興味のある方

- ⑤ 参加費 無料

- ⑥ 内容・参加実績 定員：50名、申込者数：42名、参加者数：40名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	10月25日(金) 14:00～16:00	「最高のリーダーシップ 女性のより一層の活躍を目指して！」 講師 イヴォーン・デーヴィス (デーヴィスコミュニケーションズ代表取締役 兼 CEO) 司会 白井 文 (一財)大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、 グンゼ株式会社取締役、前尼崎市長)	40名

3 関西アメリカン・センター共催事業

講演会「女性宇宙飛行士が語る—無限大の可能性—」

【事業概要】

- (1) 目的 現在、日本では女性の活躍があらゆる分野で必要とされ、推進されている。そのような中、「リケ女」とよばれる理系女子が注目と期待を集めている。全米女性史月間に因み、アメリカから女性宇宙飛行士を招聘し、女性の活躍を推進していくために必要なスキルを知り、特に科学分野への女性の進出を促進する機会とする。

【事業内容・実績】

(1)「女性宇宙飛行士が語る—無限大の可能性—」

- ①目的 講師のトレーシー・ダイソン博士は、女性宇宙飛行士として計188日間宇宙に滞在し、3度の宇宙遊泳を体験、また、化学者でもある。どのような経緯で宇宙飛行士になったのか、国際宇宙ステーションでは、どのような宇宙体験をしたのか、彼女のライフストーリーを中心に、働く女性の有り方、科学技術の習得がもたらす可能性などを学ぶ。

- ②日時 平成26年3月25日(火)

- ③場所 ドーンセンター特別会議室(5F)

- ④対象 テーマに興味のある方

- ⑤参加費 無料

- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：52名、参加者数：47名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	3月25日(火) 18:30~20:30	「女性宇宙飛行士が語る—無限大の可能性—」 講師 トレーシー・ダイソン博士 (アメリカ航空宇宙局(NASA)宇宙飛行士、化学者) 司会 キース・ロメル (駐大阪・神戸米国総領事館広報担当領事 兼 関西アメリカン・センター館長)	47名

- ⑦協力 大阪府立大学女性研究者支援センター



4 (一財)アジア・太平洋人権情報センター、大阪府立大学女性学研究センター等共催事業

講演会「“女性人権”の井戸を掘り続けて ー韓国女性ホットラインの活動がめざすところー」

【事業概要】

- (1) 目的 韓国における女性運動のパワーとその成果は目覚ましいものがある。中でも韓国女性ホットラインは、性暴力反対運動をはじめとして女性人権の実現のための精力的な活動により、性暴力禁止法をはじめ様々な関連法令や政策を実現してきた。韓国女性ホットラインの活動を通じて、女性人権促進のための活動の今後を展望する。

【事業内容・実績】

(1) 「“女性人権”の井戸を掘り続けてー韓国女性ホットラインの活動がめざすところー」

- ① 目的 韓国女性ホットラインを中心になって担ってきた朴仁恵さんをメイン・スピーカーに迎え、韓国女性ホットラインの活動を通じて、女性人権促進のための活動の今後を伺う。さらに、離婚熟慮制反対運動、伝統的家族主義との対峙、女性省の在り方をめぐる議論など、最近の具体的な課題の中からも朴仁恵さんの視点を学び、意見交換を行う。

- ② 日時 平成26年1月11日(土)
③ 場所 ドーンセンター特別会議室(5F)
④ 対象 テーマに興味のある方
⑤ 参加費 500円(資料代)
⑥ 内容・参加実績 定員：80名、参加者数：71名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	1月11日(土) 13:30~16:45	「“女性人権”の井戸を掘り続けて ー韓国女性ホットラインの活動がめざすところー」 講師：朴仁恵（韓国国民党女性リーダーシップセンター所長、 韓神大学校非常勤講師） コメンテーター：山下英愛（立命館大学非常勤講師） コーディネーター：伊田久美子（大阪府立大学教授） 通訳：（韓国語→日本語）金友子、（日本語→韓国語）朴君愛	71名

- ⑦ 主催（共催） (一財)アジア・太平洋人権情報センター、大阪府立大学女性学研究センター、立命館大学国際言語文化研究所ジェンダー研究会

1 大阪府（健康医療部）受託事業

大阪府不妊専門相談センター事業

【事業概要】

(1) 目 的 不妊・不育に悩む人々の身体的・精神的負担の軽減と、出産を望む人々への支援を図るとともに、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの観点から女性の心身の健康促進に資する。

(2) 場 所 ドーンセンター相談室・会議室

【事業内容・実績】

(1) 不妊・不育にまつわる電話相談

①目 的 不妊・不育にまつわるさまざまな相談を専門の相談員が受けるとともに、必要な情報提供を行う。なお、2013年4月より「不妊にまつわる電話相談」から名称変更を行った。

②日 時 毎週水曜日 10:00～16:00

※第5週、祝日・年末年始を除く

第4土曜日 13:00～16:00

※4月、8月、12月を除く

③相談員 助産師（第4土曜日の14:00～16:00は、原則として産婦人科医師も同席）

④相談件数

<月別主訴件数>



項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	%
情報提供	4	4	9	6	3	1	2	5	5	7	10	11	67	24.7
不妊への不安・検査や治療を受けたほうがよいか	5	5	6	3	2	4	4	3	1	4	1	0	38	14.0
今の治療の内容と妊娠の可能性	2	3	2	5	3	4	5	2	1	1	6	4	38	14.0
他の治療内容・方法など	1	2	0	0	1	0	0	0	2	0	1	1	8	3.0
二人目不妊	5	0	5	7	1	5	2	8	0	2	5	0	40	14.8
医療機関に対する不満	0	0	3	0	1	0	2	1	0	1	2	0	10	3.7
パートナーとの関係	2	0	0	1	1	2	1	0	0	0	2	0	9	3.3
周囲の人間関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
自分自身のこと	1	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	1	8	3.0
子どものいない人生	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0.7
仕事との両立	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1.1
不育症	0	0	1	0	1	2	1	0	1	1	1	2	10	3.7
その他	2	4	1	2	4	0	2	4	2	2	8	7	38	14.0
合 計	24	18	29	24	18	18	20	23	13	18	39	27	271	100.0

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
H25年度	24	18	29	24	18	18	20	23	13	18	39	27	271	103.4
H24年度	16	23	23	21	14	30	14	32	21	20	30	18	262	

<留守電件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25年度	13	24	27	14	23	11	22	17	10	9	39	10	213
H24年度	12	4	17	7	3	13	7	5	4	2	6	14	94

(2) サポート・グループ「不妊治療後の妊娠・出産・子育て」

- ①目的 不妊にまつわる悩みを抱えた女性が、経験や悩みを分かち合える場を提供する。同じ立場の人同士が交流することを通して自身の状況を整理し、心理的負担の軽減を図る。
- ②期間 平成25年5月23日(木)～7月18日(木)
- ③場所 ドーンセンター 和室(4F)
- ④ファシリテーター 内田和枝、金美江(助産師)
- ⑤内容・参加者数 定員：15名、申込者数：9名、参加者数：8名



	日時	テーマ	参加者数
1	5月23日(木) 10:00～12:00	ルール確認／自己紹介／フリートーク	3名
2	6月6日(木) 10:00～12:00	不妊治療を子どもにどう伝えるか／体外受精での出生への偏見	4名
3	6月20日(木) 10:00～12:00	不妊治療への偏見／体外受精による子どもへの影響／二人目を持つと思った理由／不妊治療を活かして	6名
4	7月4日(木) 10:00～12:00	不妊治療中と後での夫との関係／出生前診断／里親制度について	4名
5	7月18日(木) 10:00～12:00	自分をいたわること／子どもへの愛情	5名
			(延)22名

(3) サポート・グループ「35歳からの妊娠・出産」

- ①目的 不妊にまつわる悩みを抱えた女性が、経験や悩みを分かち合える場を提供する。同じ立場の人同士が交流することを通して自身の状況を整理し、心理的負担の軽減を図る。
- ②期間 平成25年9月12日(木)～11月7日(木)
- ③場所 ドーンセンター 和室(4F)
- ④ファシリテーター 内田和枝、金美江(助産師)
- ⑤内容・参加者数 定員：15名、申込者数：13名、参加者数：6名



	日時	テーマ	参加者数
1	9月12日(木) 10:00～12:00	自己紹介・参加動機／今後のグループのテーマ設定	5名
2	9月26日(木) 10:00～12:00	妊娠・出産に伴うリスクについて	5名
3	10月10日(木) 10:00～12:00	不妊治療における悩み／周囲との人間関係	5名
4	10月24日(木) 10:00～12:00	子育てに対する不安／出生前診断	5名
5	11月7日(木) 10:00～12:00	「家族」について思うこと／私の思う「これからの家族像」について	2名
			(延)22名

(4) サポート・グループ「子どものいない人生こと、話し合ってみませんか」

- ①目的 不妊にまつわる悩みを抱えた女性が、経験や悩みを分かち合える場を提供する。同じ立場の人同士が交流することを通して自身の状況を整理し、心理的負担の軽減を図る。
- ②期間 平成26年1月18日(土)～3月15日(土)
- ③場所 ドーンセンター 和室(4F)
- ④ファシリテーター 田中佳織、矢野恵子、内田和枝(助産師)
- ⑤内容・参加者数 定員：15名、申込者数：20名、参加者数：15名



	日時	テーマ	参加者数
1	1月18日(土) 10:00～12:00	自己紹介・ルール確認／子どものいない人生を受け入れること／今後の会の内容について	11名
2	2月1日(土) 10:00～12:00	周囲との関わりについて／価値観について(社会の見方・見られ方)／これからの人生計画	11名
3	2月15日(土) 10:00～12:00	誰に相談しているか(相談してよかった人、悪かった人)／自分の価値観・社会の価値観	10名
4	3月1日(土) 10:00～12:00	治療のやめどきについて／子どもがいないことでどんな未来を想像していますか	7名
5	3月15日(土) 10:00～12:00	子どものいない人生について／近況報告	9名
			(延)48名

（５）不育に関する情報提供セミナー「不育症の基礎知識」

- ①目 的 厚生労働省研究班の研究結果をうけ、不妊専門相談センターに不育症に悩む方の相談窓口機能が期待されている。

大阪府不妊専門相談センターでは、これまで「不妊にまつわる電話相談」において不育症に悩む方の相談を受けてきたが、平成25年度より相談名称を「不妊・不育にまつわる電話相談」に改め、不育症に悩む方のニーズを掘り起こし、適切な情報提供と心理面の相談に対応していくこととしている。

不育症に関する相談先としての不妊専門相談センターの機能をPRするとともに、不育症に悩む方々への正しい情報提供を目的として、不育症の専門医を招き、不育症の検査・治療等について情報提供するセミナーを開催する。

- ②日 時 平成25年6月29日（土）13：30～15：00

- ③場 所 ドーンセンター 大会議室1（4F）

- ④対 象 テーマに関心のある方

- ⑤内容・参加者数 定員：60名、申込者数：53名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	6月29日（土） 13:30～15:00	不育症の基礎知識 中塚幹也（岡山大学大学院保健学研究科教授）	40名



（６）不妊治療セミナー「子どもを望むカップルのための 不妊治療とのつきあい方」

- ①目 的 不妊治療中のカップルが、現在の自身の状況を見つめ、不妊体験を通じたプラスの側面を見出すきっかけを提供する。「生殖性」（次世代養育）を広く捉える視点を提供し、治療やライフスタイルのコントロール（自律的決定）力を高める。

- ②日 時 平成25年11月9日（土）14：00～16：00

- ③場 所 ドーンセンター 大会議室1（4F）

- ④対 象 子どもを望み、不妊治療を受けているカップル

- ⑤内容・参加者数 定員：30名（15組）程度、
申込者数：45名（女性28名、男性17名）



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	11月9日（土） 14:00～16:00	子どもを望むカップルのための 不妊治療とのつきあい方 割田修平（専門健康心理士、不妊カウンセラー） 割田節子（出張専門助産師、不妊カウンセラー）	35名 女性21名 男性14名

(7) 不育相談に関わる相談員研修「不育症検査・治療の最新知識—医療職者向け—」

①目 的 厚生労働省研究班の研究結果をうけ、不妊専門相談センターに不育症に悩む方の相談窓口機能が期待されている。

大阪府不妊専門相談センターでは、これまで「不妊にまつわる電話相談」において不育症に悩む方の相談を受けてきたが、平成25年度より相談名称を「不妊・不育にまつわる電話相談」に改め、不育症に悩む方のニーズを掘り起こし、適切な情報提供と心理面の相談に対応していくこととしている。

不育症に関する相談を受ける相談員にも不育症の検査・治療等についての最新知識がより求められることから、「不妊・不育にまつわる電話相談」を担当している（社）大阪府助産師会に所属する助産師をはじめ、府内市町村・近隣都道府県の不妊専門相談センター相談員を対象に、医療職者（支援者）向けの研修を開催する。



②日 時 平成25年6月29日（土）10：30～12：00

③場 所 ドーンセンター 大会議室1（4F） ※申込者多数により、中会議室2から変更

④対 象 不妊専門相談センター等で、不育症相談にたずさわる機会のある医療職者

⑤内容・参加者数 定員：30名、申込者数：51名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	6月29日(土) 10:30～12:00	不育症検査・治療の最新知識—医療職者向け— 中塚幹也（岡山大学大学院保健学研究科教授）	47名

(8) ホームページ (<http://www.ogef.jp/funin-osaka>) の管理・運営

①目 的 インターネットを活用して、不妊に悩む人々に役立つ情報を発信するとともに、不妊専門相談センター事業を広くPRする

②アクセス数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25年度	1,096	973	1,157	1,344	1,600	1,252	1,669	1,332	1,137	1,587	1,623	2,516	17,286
H24年度	829	868	827	548	622	561	674	926	453	719	627	804	8,458
H23年度	634	648	935	773	673	845	641	745	741	759	793	805	8,992
H22年度	1,100	1,126	1,251	1,287	1,224	1,268	1,530	1,015	809	761	733	868	12,972

（９）基礎情報等提供ページの企画・制作

- ①目 的 電話相談の実施時間帯が限られており、利用できない方の存在が考えられること、情報提供を求める相談が約２４％（H24年度）と最も多いことから、インターネットを通じて必要な情報を気軽に入手できる環境を整備するため、ホームページに不妊や不育に関する基礎的な情報をまとめ掲載した。

②内 容

	テーマ	コンテンツ	掲載日
1	不妊の基礎知識	不妊とは？／不妊の頻度／不妊の原因／不妊の検査／不妊の治療／詳しい情報の入手先	8月1日（木）
2	不育の基礎知識	不育症とは／不育症の頻度／不育症のリスク因子（原因）／不育症の検査／不育症の治療／詳しい情報の入手先	8月1日（木）
3	からだの基礎知識	女性のからだ／男性のからだ／性分化の過程	26年 3月4日（火）
4	妊娠をさまたげる病気	排卵障害をおこす疾患／卵管障害をおこす疾患／着床障害をおこす疾患／子宮頸管に関連する疾患／造精機能障害をおこす疾患／精路通過障害をおこす疾患／性機能障害の主な疾患／免疫因子	26年 3月4日（火）
5	妊娠をさまたげる要因とその予防	加齢と不妊／食生活と不妊／喫煙・アルコール・薬物と不妊／性感染症と不妊／月経異常と不妊／卵子・精子の保存／ストレスへの対処／セックスレスへの対応／社会的な予防対策	26年 3月4日（火）
6	二人目不妊について	「二人目不妊」の相談が増加傾向／二人目が欲しいのになかなかできない…二人目不妊とは／二人目不妊の悩み／二人目不妊の原因／二人目不妊の治療	26年 3月25日（火）
7	男性のみなさまへ	不妊の原因は男女半々…二人で受診を／不妊と向き合うには、二人の協力が欠かせません／二人で治療に向き合えない場合も…／男性の悩み	26年 3月25日（火）

（１０）不妊関連情報フェアの開催

- ①目 的 不妊に悩む人々に役立つ情報を提供するため、不妊関連事業の開催にあわせて、各種資料を選定・収集し、関連情報コーナーを設置した。

②期 間 平成２５年９月～平成２６年３月

③その他 展示資料リストを作成・印刷し、無料配布した。

	テーマ	展示資料数	リスト作成数
1	サポート・グループ関連資料「妊娠・出産・不妊のいま」	53	500

（１１）関係者の研修・連絡会議の開催

①目 的 不妊・不育にまつわる電話相談を担当する相談員が、不妊治療の最新情報や不妊に悩む方々への相談スキルを高める。

今年度は、「不育相談に関わる相談員研修」を開催するとともに、その開催に合わせて、講師を囲んで懇話会を企画し、現場の課題や不育症治療の現状等について理解を深める機会を設けた。また、２つの看護系学会において不妊専門相談センター事業や電話相談統計の分析結果の発表を行った。

②日 時 平成２５年６月２９日（土）１２：２０～１３：２０

③場 所 ドーンセンター 中会議室２（４Ｆ）

④対 象 不妊・不育にまつわる電話相談を担当する相談員

⑤内容・参加者数

	日時	テーマ	参加者数
1	6月29日（土） 12:00～13:30	不育症に関する懇話会 講師 中塚幹也（岡山大学大学院保健学研究科教授）	13名
2	9月1日（日）	第11回日本生殖看護学会学術集会 ポスター「不妊専門相談センター活動の実際 ：電話相談の内容と対応の現状と課題」 シンポジウム「不妊専門相談センター活動における 職種間連携と看護職への期待」	3名
3	10月5日（土） 6日（日）	第53回日本母性衛生学会学術集会 講演「大阪府不妊専門相談センターにおける電話相談の内容分析」	5名

1 自主事業

夏期インターンシップ・プログラム

【事業概要】

- (1) 目的 男女共同参画社会の実現に向けて活躍する次世代を育成することを目的に、大学・大学院生をインターンシップ生として受け入れる。

【事業内容・実績】

①受入期間 平成25年8月20日（火）～9月13日（金）

②実習生

	学部・学科・学年	実習生数
1	龍谷大学 社会学部 地域福祉学科 3年	1名
2	同志社大学 政策学部 政策学科 2年	1名
3	近畿大学 経営学部 経営学科 3年	1名
4	近畿大学 経済学部 経済学科 3年	1名
5	神戸学院大学 人文学部 人間心理学科 3年	1名
6	神戸女子大学 文学部 日本語日本文学科 3年	1名
7	神戸女子大学 文学部 史学科 3年	1名
8	神戸女子大学 健康福祉学部 健康スポーツ栄養学科 3年	1名
		計8名

③特別講義「ライブセミナー：ドーンセンターの仕事」

目的Ⅰ：ドーンセンターの現場からみえる現代社会を知る

目的Ⅱ：ドーンセンターでの仕事を知るとともに、さまざまな職員のキャリア・仕事観にふれる

	月日	テーマ／担当
1	8月20日（火）	『男女共同参画』が日本を救う～財団運営を通して考える 時岡禎一郎（理事長）
2	8月20日（火）	「ドーンセンターの概要」 木下みゆき（統括ディレクター）
3	8月20日（火）	「財団・共同体の概要」 金光哲司（事務局長）
4	8月21日（水）	「相談事務局の仕事」 近藤裕子（相談担当スタッフ）
5	8月21日（水）	「情報ライブラリーの仕事」 木下みゆき（統括ディレクター）
6	8月21日（水）	「女性のリーダーシップ」 白井 文（業務執行理事）
7	8月22日（木）	「ドーンセンター受付の仕事」 植田宏美（受付責任者）
8	8月22日（木）	「事業についての説明」 仁科あゆ美（統括ディレクター）

④日常業務体験、講座・イベント運営

目的Ⅰ：事業運営の裏側を知る

目的Ⅱ：小さな仕事を責任をもってやり遂げる経験をする

	業務名	詳細
1	はなみずき塾「ポッドキャスト」関連業務	出演者の情報収集／台本制作／収録（出演者対応、インタビュー等）
2	講座関連事業	学校教員のための研修プログラム「デートＤＶ！生徒を加害者にも被害者にもしないために」「母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練」「はなみずき塾自分発見ワークショップ」講座運営補助
3	イコーラム関連業務	「希来里ファミリーまつり」運営
4	ドーンセンター情報ライブラリー関連業務	ライブラリー運営補助／資料装備準備
5	インターンシップ成果報告会関連業務	ミーティング／役割分担／当日運営（会場準備、司会進行等）

2 自主事業

研修・実習・職場体験等の受入れ

【事業概要】

- (1) 目的 若い世代を対象とした研修や職場体験の実習先としてプログラムを提供することで、次世代のキャリア形成に資する。

【事業内容・実績】

(1) 大阪府立学校初任者研修の受入

- ①目的 大阪府教育センターが実施する高等学校、支援学校の初任者研修「社会体験研修」先として研修プログラムを提供する。
- ②受入期間 平成25年7月24日(水)～7月25日(木)
- ③研修生数 10名 所属校：大阪府立視覚支援学校、大阪府立咲州高等学校、大阪府立たまたがわ高等支援学校、だいせん聴覚高等支援学校(4校)
- ④研修内容 講義：オリエンテーションと施設案内、男女共同参画と財団について、情報ライブラリーの紹介、女性「相談事業」の概要について、女性の政治参画について
実習：男女共同参画に関する教案作り

(2) 宝塚大学看護学部看護学科臨地実習受入

- ①目的 宝塚大学看護学部4年生総合実習の一環として、女性センターの設立目的・活動の歴史・女性のライフサイクルと健康問題・子育て支援事業についてドーンセンターで学ぶ。
- ②受入日時 平成25年7月27日(土)
- ③実習生数 24名、教員3名
- ④内容 講義：ドーンセンター設立目的、事業内容、利用状況や事業の特色について
不妊女性支援やDV被害者への対応について
実習：館内と情報ライブラリーツアー

(3) 大阪市立助産師学院「助産学実習」の受入れ

- ①目的 助産師として仕事をする上で求められる男女共同参画関連知識を取得する。
- ②日時 平成25年9月5日(木) 13:00～17:00
- ③実習生数 学生20名、教員2名
- ④実習内容 男女共同参画関連問題についての講義
情報ライブラリーにおける情報活用 等

(4) 同志社大学図書館司書課程実習生の受入れ

- ①目的 司書資格取得に必要な図書館実習を行う。
- ②受入期間 平成25年11月27日(水)～12月14日(土) うち7日間
- ③実習生数 2名
- ④実習内容 ドーンセンター情報ライブラリー業務(蔵書点検/ミーティング参加/カウンター業務/資料の分類/資料装備/資料配架/製本対象雑誌の抽出)
厚生労働省受託事業運営補助 等

3 近畿大学受託事業

近畿大学キャリアサポートセミナー

【事業概要】

- (1) 目的 当財団が長年にわたって働く女性や若年女性、あるいは男性を対象に実施してきたプログラムや人的ネットワークを駆使し、本格的な就職活動を目前に控えた近畿大学総合社会学部現役大学生のキャリア形成を支援する連続講座を企画および実施する。

【事業内容・実績】

(1) 近畿大学総合社会学部「キャリアサポートセミナー」

- ①期 間 平成25年5月13日(月)～平成25年12月2日(月)
②会 場 近畿大学総合社会学部
③対 象 近畿大学総合社会学部の3回生
④内容・参加実績 受講者数：延べ506名

	日時	テーマ
1	5月13日(月) 14:50～16:20	「エントリーシート攻略法(1)自己分析1」 細谷晴美(㈲スリーシーシーパートナーコンサルタント)
2	6月10日(月) 14:50～16:20	「エントリーシート攻略法(2)自己分析2」 細谷晴美(㈲スリーシーシーパートナーコンサルタント)
3	7月8日(月) 14:50～16:20	「先輩に聴く」 栗津小百合(㈱マザーネット)、永田佑介(㈱宣成社)
4	10月21日(月) 14:50～16:20	「好感度をアップするマナーとは」 合田誠子(キャリアコンサルタント)
5	11月11日(月) 14:50～16:20	「実践：エントリーシート作成(1)」 細谷晴美(㈲スリーシーシーパートナーコンサルタント)
6	12月2日(月) 14:50～16:20	「実践：エントリーシート作成(2)」 細谷晴美(㈲スリーシーシーパートナーコンサルタント)

1 自主事業

「ウィメン・パイオニアズ」DVD&ブックレット販売

【事業概要】

- (1) 目的 渡辺晴子氏（HKW代表、社団法人日本外国特派員協会監事）が、下記のオリジナル素材を当財団に寄贈くださった。全国の女性関連施設、大学、各専門機関などで活用できるよう、DVD・ブックレット化した教材を販売する。



【事業内容・実績】

(1) 『Women Pioneers－女性先駆者たち』販売

<DVD販売実績>

	作品名	制作年	価格	販売数
1	はじめに 日本女性の地位 縫田暉子（放送ジャーナリスト）	2011	5,000	0
2	高田ユリと消費者運動 高田ユリ（消費者運動家）	2011	5,000	2
3	市川房枝と婦人参政権のあゆみ 市川房枝（政治家、社会運動家）	2011	5,000	0
4	三淵嘉子 法曹界の扉を開く 三淵嘉子（弁護士、裁判官）	2011	5,000	0
5	加藤シヅエと家族計画 加藤シヅエ（家族計画運動家、政治家）	2011	5,000	1
6	阿武喜美子 科学の世界に挑む 阿武喜美子（科学者、農学博士）	2011	5,000	0
7	浅賀ふさと医療社会事業 浅賀ふさ（医療ソーシャルワーカー）	2011	5,000	1
8	江上フジと子ども、婦人番組 江上フジ（放送ジャーナリスト、婦人問題研究家）	2011	5,000	0
9	山高しげりと母子福祉 山高しげり（女性運動家、政治家）	2011	5,000	0
10	野上弥生子 小説と婦人運動家たち 野上弥生子（小説家）	2011	5,000	0
11	全巻セット	2011	40,000	1セット(10)
				計 14

<ブックレット販売実績>

	書籍名	発行年	価格	販売数
1	ブックレット『Women Pioneers－女性先駆者たち』	2011	1,800	6

2 自主事業

海外女性監督ドキュメンタリー作品等の収集・加工・販売

日本で未公開の海外女性監督ドキュメンタリー作品等を独自に収集、日本語に翻訳加工して販売する。

<販売実績>

－DVD－

	作品名	制作年	価格	販売数
1	故郷を失った人々 Caught in Between (DVD)	2004	5,000	0
	故郷を失った人々 Caught in Between (DVD) 上映権付		10,000	0
2	Fashion Resistance ～暴力を着る～ (DVD)	2006	5,000	0
	Fashion Resistance ～暴力を着る～ (DVD) 上映権付		10,000	0
3	稟愛（ビンアイ）～三峡ダム建設に挑む農民の闘い～ (DVD)	2007	5,000	0
4	Labor Women～アメリカ社会を変える 働くアジア女性の闘い～ (DVD)	2003	5,000	0
5	お母さん（UMMA） ～お母さんを探して～ (DVD)	2005	18,000	0
6	恋人からの暴力～死にいたる愛～ (DVD)	1999	12,000	6
7	不適切な行動：高校生間のセクシュアル・ハラスメント (DVD)	1997	15,000	0
8	自分らしく生きる～やわらかい家族のかたち～ (DVD)	2001	10,000	2
9	心の旅路～わたしの家族の物語～ (DVD)	2003	15,000	0
10	壺～イスラム社会を生きる女たち～ (DVD)	2005	8,000	0
11	医師クローデットの場合～アフリカの大地で～ (DVD)	2001	18,000	1
12	韓国発 映画をつくる女たち (DVD)	2001	18,000	0
				計 9

－VHS－

	作品名	制作年	価格	販売数
1	家族プロジェクト：父の家 (VHS)	2002	18,000	0
2	響き合うところ～歌に生き 仲間と生きる～ (VHS)	2001	15,000	0
3	ドラッグの恐怖～むしばまれる若者たち～ (VHS)	2000	15,000	0
4	ウォッチングTV (VHS)	1994	5,000	0
5	わたしの心はわたしの証～イスラム女性のドキュメント～ (VHS)	1996	18,000	0
6	戦場のレイプ (VHS)	1996	18,000	0
7	子どもの権利（中高生編）(VHS)	1998	12,000	0
				計 0

※DVD化した作品については、VHSでの販売を終了。

3 自主事業

オリジナルビデオ&DVD、ハンドブック等の販売

(1) オリジナルビデオ&DVDの販売

独自の調査研究、主催講座に基づいて企画・制作したオリジナルビデオを販売した。平成25年度は、「3歳児神話をこえて」Part1～5の5本をDVD化して販売。

<販売実績>

－DVD－

	作品名	制作年	価格	販売数
1	働く女性の60年（日本語版・DVD）	2005	5,000	0
2	3歳児神話をこえて Part1 岩堂美智子（DVD）	1999	4,500	0
3	3歳児神話をこえて Part2 村本 邦子（DVD）	1999	4,500	0
4	3歳児神話をこえて Part3 赤松 彰子（DVD）	1999	4,500	0
5	3歳児神話をこえて Part4 村田 和子（DVD）	1999	4,500	0
6	3歳児神話をこえて Part5 汐見 稔幸（DVD）	1999	4,500	0
7	3歳児神話をこえて 全5巻セット（DVD）	1999	20,000	1セット(5)
				計 5

－VHS－

	作品名	制作年	価格	販売数
1	働く女性の60年（英語字幕版・VHS）	2005	5,000	0
2	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 1 竹中恵美子（VHS）	1998	5,000	0
3	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 2 佐々木静子（VHS）	1998	5,000	0
4	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 3 岡部伊都子（VHS）	1998	5,000	0
5	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 4 大川恵美子（VHS）	1998	5,000	0
6	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 5 豊後レイコ（VHS）	1998	5,000	0
7	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 6 横井和子（VHS）	1998	5,000	0
8	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 7 桂 信子（VHS）	1998	5,000	0
9	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 8 飯田しづえ（VHS）	1998	5,000	0
				計 0

※DVD化した作品については、VHSでの販売を終了。

(2) ドーン・ハンドブック等の販売

当財団が実施してきた事業のノウハウを盛り込んだハンドブックを販売した。

<ドーン・ハンドブック販売実績>

	ハンドブック名	発行年	価格	販売数
1	Dawn Hand Book① 女性のための相談事業ハンドブック	1999	600	90
2	Dawn Hand Book② 女性情報とライブラリー活動	1999	600	7
3	Dawn Hand Book③ メディア・リテラシーとジェンダー	2000	600	6
4	Dawn Hand Book④ 女性のグループ・ネットワークのための組織開発ハンドブック	2001	600	1
5	Dawn Hand Book⑤ 人と情報を結ぶ 情報相談ハンドブック	2001	600	0
6	Dawn Hand Book⑥ 相談現場から見える現代社会と女性センターの役割	2006	800	0
				計 104

1 講師派遣・委員等応嘱・大学の講義受託

【事業概要】

- (1) 目的 主催者の要請により当財団職員を講師として派遣するほか、委員委嘱等を受けることを通じて、男女共同参画社会の推進に資する。

【事業内容・実績】

(1) 講師派遣

<講師派遣実績>

	月日	内容・テーマ	主催者
1	6月13日(木)	平成25年度「女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研究」 コース別ワークショップⅠ「事例に学ぶ：男女共同参画の視点で地域課題を解決する組織の在り方」 <女性関連施設管理職コース>テーマ「危機を乗り越えるために必要な組織マネジメント力」	独立行政法人国立女性教育会館
2	7月10日(水)	DV・デートDVとは？：窓口でどう対応するか	岸和田市
3	7月11日(木)	生活指導ロングホームルーム「素敵なパートナーシップ」	大阪教育大学付属高等学校池田校舎
4	7月12日(金)	平成25年度専門図書館協議会全国研究集会 第3分科会「図書館の新機軸」	専門図書館協議会
5	8月1日(木)	箕面市夏期合同一日研究会 分科会「共生の教育専門部会」	箕面市
6	8月8日(木)	2013年度青山文化センター人権開放講座「メディアと人権：新聞・TVは真実を伝えているか」	青山文化センター
7	8月21日(水)	平成25年度男女共同参画推進講座リーダー養成コース 行政関係者講座「ニーズに合った企画運営と効果的な広報の仕方」	福井県生活学習館
8	9月1日(日)	枚方市男女共同参画社会づくり支援講座「私が歩んできた道」	特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター
9	9月1日(日)	第11回日本生殖看護学会学術集会シンポジウム「不妊専門相談センター活動における職種間連携と看護職への期待」	日本生殖看護学会
10	9月8日(日)	ライブラリーマネジメント・ゼミナール2013「つながりあう、連携・共同のライブラリーマネジメント」	人と情報を結ぶWE プロデュース
11	9月12日(木)	和泉市「男女共同参画で新しい輪をひろげよう」	和泉市
12	9月12日(木)	「デートDV」の防止に向けて	大阪府立四条畷高等学校

13	10月10日(木)	講演とワークショップ「ドーンセンター情報ライブラリーの活用と教材づくり」	大阪府教育センター
14	11月14日(木)	枚方市多文化共生教育研究会 第5回研究会	枚方市多文化共生教育研究会
15	11月19日(火)	平成25年度広島県公共図書館協会及び専門図書館中国地区協議会による管理職研修・特別研修「図書館の新機軸：組織運営に情報ライブラリーを活かす」	広島県立図書館
16	11月19日(火) 22日(金)	第2学年男女平等教育学習会 「～女らしさ・男らしさではなく『自分らしさを大切に！』」	交野市立第二中学校
17	11月27日(水)	平成25年度京都府地域女性リーダー研修講座 「女性の視点から考える“新しいコミュニティ”づくり：被災地の女性の声をもとに」	京都府教育委員会
18	12月12日(木)	平成25年度さんかく協働講座 時代とともに変わる地域づくりに対応「今までの地域づくりに＋（プラス）できる新たな支援を伝授」	滋賀県立男女共同参画センター
19	26年 1月20日(月) 21日(火)	男女共同参画に関する職員研修	交野市
20	26年 1月21日(火)	人権セミナー「対等な人間関係とは？：自分も相手も大切にするために」	箕面市
21	26年 2月17日(月)	第10回レファレンス協同データベース事業フォーラム	国立国会図書館関西館
22	26年 2月19日(水) 26日(水) 3月5日(水) 12日(水) 19日(水)	平成25年度社会参加促進支援講座「想いを講座にしてみよう：日常の小さな気づきが社会を変える」	吹田市
23	26年 3月8日(土) 15日(土) 22日(土)	男女共同参画人材養成講座	大東市

(2) 委員等応募

<委員等実績>

	月日	内 容	主催者
1	7 月 23 日	門真市男女共同参画審議会委員	門真市
2	24 年 7 月 1 日 ～ 26 年 6 月 30 日	レファレンス協同データベース事業の企画協力員	国立国会図書館
3	委嘱日～2 年間	枚方市指定管理者選定委員会委員	枚方市
4	7 月 9 日～ 26 年 1 月 14 日	平成 2 5 年度「女性関連施設に関する調査研究」研究協力委員	独立行政法人国立女性教育会館
5	委嘱日～ 26 年 3 月 31 日	平成 2 5 年度「女性情報レファレンス事例集」サポートメンバー	独立行政法人国立女性教育会館

(3) 原稿執筆

	月日	内 容	主催者
1	～26 年 1 月 31 日	「日本生殖看護学会誌」 第 11 回日本生殖看護学会学術集会シンポジウム「不妊専門相談センター活動における職種間連携と看護職への期待」講演録	日本生殖看護学会
		女性情報レファレンス事例集執筆業務	国立女性教育会館
		女性関連施設に関する調査研究事例執筆業務	国立女性教育会館

(4) 大学の講義受託

<同志社大学>

	月日	テーマ
1	4 月 1 日 (月) ～26 年 3 月 31 日 (月)	同志社大学社会学部「図書館情報資源概論」「図書館情報資源特論」

<大阪女学院大学・短期大学>

	月日	テーマ
1	10 月 24 日 (木) 25 日 (金)	人権教育講座「メディア・リテラシー」「女性に対する暴力」

<滋賀県立大学>

	月日	テーマ
1	12 月 16 日 (月)	開講科目「性を考える」

<大阪教育大学>

	月日	テーマ
1	26 年 1 月 14 日 (月)	社会教育課題研究 C

2 三重県伊賀市受託事業

三重県伊賀市クローバーカレッジⅢ

【事業概要】

(1) 目的 第2次伊賀市男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画社会を推進していくために、政策・方針決定過程及び各種役職に登用するなど、あらゆる場面で参画できるリーダー的役割を担う人材育成を目指し、平成23年度から5年間で延べ100名の女性リーダーを養成する。

平成23・24年度「クローバーカレッジⅠ・Ⅱ」修了生が「Ⅲ」の運営等に関わることで、さらなるエンパワメントと伊賀市女性のネットワーク構築をめざす。

【事業内容・実績】

(1) 三重県伊賀市クローバーカレッジⅢ「女性リーダー養成講座」

- ①期 間 平成25年8月2日（金）～平成26年2月7日（金）
- ②会 場 伊賀市男女共同参画センター
- ③対 象 リーダーになってさまざまな分野で活躍したいという意欲のある女性
- ④参加費 無料
- ⑤内容・参加実績 定員：20名、受講者数：18名

	日時	テーマ／講師
1	8月2日（金） 18:30～21:00	【開講式】オリエンテーション 伊賀市挨拶 伊賀市職員、クローバーカレッジⅠ・Ⅱ修了生
		女性の力で地域を変える：21世紀は男女共同参画の時代 白井 文（（一財）大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、 元尼崎市長、グンゼ株式会社取締役）
2	9月6日（金） 19:00～21:00	現代社会と私たち①：男女共同参画を学ぶ 木下みゆき（（一財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）
3	10月4日（金） 19:00～21:00	現代社会と私たち②：メディアを読み解き、発信する 時岡禎一郎（（一財）大阪府男女共同参画推進財団理事長）
4	11月1日（金） 19:00～21:00	現代社会と私たち③：カウンセリングの現場から社会をみる 宮本由起代（NPO 法人心のサポート・ステーション代表理事）
5	11月29日（金） 19:00～21:00	さわやかな自己表現：女性リーダーとしての人間関係づくり、自己主張のポイントを知る 杉本志津佳（フェミニストカウンセリング堺カウンセラー）
6	12月13日（金） 19:00～21:00	ワークショップ：私たちの伊賀市① 伊賀市の現状報告：伊賀市職員 ファシリテーター：川中大輔（シチズンシップ共育企画代表、立命館大学共通教育推進機構サービスラーニング担当嘱託講師、（一財）大阪府男女共同参画推進財団理事）
7	1月10日（金） 19:00～21:00	ワークショップ：私たちの伊賀市② ファシリテーター：伊賀市職員 補助：木下みゆき（（一財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）
8	2月7日（金） 19:00～21:00	【閉講式】「私たちが考える男女共同参画と伊賀市」について発表とコメント コメンテーター：木下みゆき（（一財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター） ファシリテーター：伊賀市職員

3 泉大津市受託事業

泉大津市男女共同参画セミナー

【事業概要】

- (1) 目的 男女共同参画の概念を理解し、その社会を自ら推進しようとするリーダーを養成する。
初級編 1～4回で1セットとし、全講座修了生に修了証を渡す。

【事業内容・実績】

(1) 泉大津市男女共同参画セミナー「にんじんカレッジ 初級編」

- ①期 間 平成25年6月20日(木)～平成25年7月11日(木)
②会 場 いずみおおつ男女共同参画交流サロン(にんじんサロン)(泉大津市民会館1階)
③対 象 泉大津市民
④参加費 無料
⑤内容・参加実績 定員：24名、受講者数：延べ75名

	日時	テーマ／講師
1	6月20日(木) 10:00～11:30	私の歩んできた道：全国で最年少の女性市長として 白井 文((一財)大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、元尼崎市長、 グンゼ株式会社取締役)
2	6月27日(木) 10:00～11:30	情報を読み解く：メディアと女性の人権 木下みゆき((一財)大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター)
3	7月4日(木) 10:00～11:30	素敵なパートナーシップ 萬田久美子((一財)大阪府男女共同参画推進財団ディレクター)
4	7月11日(木) 10:00～11:30	DVD 観賞「おひとりさまを生きる～あなたは老後をどのように暮らしますか～」 仁科あゆ美((一財)大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター)

1 共催事業・後援事業

【事業概要】

- (1) 目的 男女共同参画社会の実現のために企画された事業で、当財団が共催することにより、啓発効果や事業効果の発展が期待できる事業について共催する。また、男女共同参画社会の実現のための積極的に寄与する事業について、後援を行う。

【事業内容・実績】

(1) 共催事業

＜内容・参加実績＞

	月 日	内 容	主催者	参加者数
1	4月20日(土) ～26年 3月15日(土)	「わたしの政経塾Ⅳ」 於：特別会議室	「わたしの政経塾」企画委員会	(延)392名
2	6月22日(土) ～26年 3月15日(土)	避難女性のピア・サポートグループ 於：調理室他	～つながりを紡ぐ～イス ケアもりのこばこ	(延)72名
3	10月19日(土)	映画『レオニー』の上映と松井久子監督トーク の集い 於：ホール	株式会社エッセン・コミュニ ケーションズ	369名
4	11月30日(土)	セクシュアル・マイノリティの医療・福祉現場 でのサポートを考える講座 於：中会議室	特定非営利活動法人ここ ろネット KANSAI	20名
6	26年 3月9日(日)	心のサポート・ステーション10周年記念イベ ント 女性の人生と「女縁」のチカラ 於：特別会議室	特定非営利活動法人心の サポート・ステーション	89名
7	26年 3月29日(土)	【仕事と子育て】両立応援セミナー&カウンセ リング 於：中会議室、小会議室	特定非営利活動法人仕事 と子育てカウンセリング センター	13名

(2) 後援事業

＜内容・参加実績＞

	月 日	内 容	主催者
1	10月26日(土)	ピンクリボンチャリティ フェスティバル 2013 in 大阪 Vol.4 於：大阪市中央公会堂	ピンクリボンチャリティフェスティバ ル in 大阪 実行委員会

1 内閣府男女共同参画局受託事業

女性に対する暴力被害者支援のための

官官・官民連携促進ワークショップ事業

【事業概要】

- (1) 目的 全国の配偶者暴力相談支援センターにおける配偶者からの暴力に関する相談件数は、支援センターの運用が開始された平成 14 年度から年々増加している。こうした状況から、内閣府では、第 3 次男女共同参画基本計画において、配偶者暴力防止法により設置の努力義務が規定されている市のセンターについて、平成 27 年までに 100 か所にするこ

とを成果目標としている。

当事業はこの目標達成のため、全国の支援センターや今後支援センターの設置を検討している市町村において運営・管理に責任を持つ方、関連事業の企画・運営等を担当する行政担当者の方、また、支援センターの相談員や連携先である民間支援団体の相談員を対象としたワークショップを開催するものである。さらに、今後、全国各地で支援センターの設置を検討している市町村の参考にしていただくため、ヒアリング等により収集した先駆的な取組事例をまとめる。また、支援センター設置を検討している市町村に対し、既に設置している市町村等の担当者又は有識者をアドバイザーとして派遣するなどの集中的かつきめ細やかなバックアップを提供する。

- (2) 主 催 内閣府

【事業内容・実績】

(1) 支援センター長を対象としたワークショップの企画および運営・実施

＊平成 25 年 8 月 1 日（木）～ 2 日（金）：大阪開催

(2) 企画行政職員を対象としたワークショップの企画および運営・実施

＊平成 25 年 8 月 26 日（月）～ 27 日（火）：東京開催

(3) 相談員を対象としたワークショップの企画および運営・実施

＊平成 25 年 10 月 3 日（木）～ 4 日（金）：埼玉開催（北海道・東北・関東・甲信越ブロック）

＊平成 25 年 10 月 17 日（木）～ 18 日（金）：福岡開催（中国・九州・沖縄ブロック）

＊平成 25 年 10 月 31 日（木）～ 11 月 1 日（金）：大阪開催（中部・近畿・四国ブロック）

(4) アドバイザー派遣事業

＊平成 25 年 9 月 26 日（木）

＊平成 25 年 11 月 27 日（水）

(5) 支援センター運営自治体の好事例・先駆的事例の調査と取りまとめ

＊10 自治体の選定、アンケートおよびヒアリング調査

(6) 各種報告書の作成

2 内閣府男女共同参画局受託事業

性犯罪被害者支援に関する地方公共団体の

男女共同参画部門における地域連携のあり方に関する調査研究

【事業概要】

(1) 目的 平成 22 年 12 月に閣議決定された第 3 次男女共同参画基本計画においては、「成果目標」として、平成 27 年までに「性犯罪被害に関する相談を受けていることを明示して相談を行っている男女共同参画センター」を「各都道府県に最低 1 か所」とされている。

一方、地方公共団体が設置している男女共同参画センター等において、性犯罪被害に関する相談を受けていることを明示している男女共同参画センター等が 1 つでもある都道府県は、平成 22 年度に内閣府が調査した結果、22 都道府県にとどまっている。明示していない理由として、性犯罪被害に対応できる相談員がいない、地域の関係機関との連携がとれていない、性犯罪被害者支援の体制を構築するためのノウハウがないとの回答が多かった。

そこで、地方公共団体の男女共同参画部門において、性犯罪被害者が被害を訴えることを躊躇せずに必要な支援を受けられるような体制整備のあり方について検討する。具体的には、検討委員会を設置し、地方公共団体の男女共同参画部門における性犯罪被害者支援に関する地域連携のあり方について検討するとともに、地方公共団体の好事例を収集し、報告書に記載する。

また、第 3 次男女共同参画基本計画において、「男女共同参画センターにおける中長期的なカウンセリング等の性犯罪被害者支援の取組が促進されるよう、先進的な好事例の収集・提供に努める」とされているところ、中長期的なカウンセリング等を実施している男女共同参画センターを持つ地方公共団体の取組についても調査し、報告書に記載する。

さらに、地方公共団体等において性犯罪被害者支援体制の整備を推進するために効果的な研修プログラムについて検討し、平成 26 年度の性犯罪被害者支援体制構築のための研修事業に反映させていくほか、性犯罪被害者支援に関して本事業以外に国として取り組むべき課題があれば、それらを整理し、報告書に記載する。

(2) 主 催 内閣府

【事業内容・実績】

(1) 検討委員会（全 5 回）の運営・実施

(2) 「地方公共団体における性犯罪被害者支援に関する調査」（対象：全自治体）

(3) ヒアリング及び現地調査の企画、実施

(4) 調査報告書の作成

検討委員会での検討内容及び現地調査、ヒアリングの結果等を取りまとめた調査報告書を作成

3 内閣府男女共同参画局受託事業

性犯罪被害者支援体制整備促進事業

【事業概要】

(1) 目的 内閣府が平成 23 年度に実施した「男女間における暴力に関する調査」によると、異性から無理やり性交された経験をもつ 20 歳以上の女性は 7.7%だった。そのうち、加害者と面識があった被害者は 76.9%、被害をどこ（だれ）にも相談しなかった被害者女性は 67.9%だったことが明らかになっている。

平成 22 年 12 月に閣議決定された第 3 次男女共同参画基本計画においては、性犯罪被害者が被害を訴えることを躊躇せずに必要な相談を受けられるような相談体制及び被害申告の有無に関わらず被害者の心身回復のための被害直後及び中長期の支援が受けられる体制を整備するとされている。

一方で、地方自治体における性犯罪被害者等の支援に対する取組は進んでおらず、例えば、性犯罪被害者に係る総合的な支援体制を構築している地方公共団体は 4 か所（うち 1 か所は県警）にとどまっており、その理由として性犯罪被害に対応できる支援員等がいない、関係機関との連携体制が構築できていない等があげられている。

そこで、性犯罪被害者が、被害を訴えることを躊躇せずに必要な相談を受けられるような相談体制を整備することを目的として、地域の身近な相談窓口等で性犯罪被害の相談が安心して受けられるよう、地方公共団体等で性犯罪被害者支援を担当する行政職員等を対象に、性犯罪被害者を支援するために必要な体制整備等にかかる知識を学ぶ研修及び、性犯罪被害者の支援を行っている、又は行う予定のある支援員等を対象に、性犯罪の被害直後から中長期まで切れ目ない支援を行うために必要な技術を習得するための研修を実施する。

また、性犯罪被害者に対する支援を促進することを目的として、内閣府が平成 24 年度に作成した「性犯罪被害者支援機関・団体一覧」について更新及び追加を行い、「性犯罪被害者支援機関・団体一覧（平成 25 年度版）」を作成するとともに、公開可能な情報を将来的に男女共同参画局ホームページに掲載するための性犯罪被害者支援リストを作成する。

(2) 主 催 内閣府

【事業内容・実績】

(1) 研修の実施

○地方公共団体行政職員等対象研修

地方公共団体等で性犯罪被害者支援を担当する行政職員等を対象に、性犯罪被害者の相談を受けるために必要な体制整備等にかかる知識を学ぶ研修を実施した。

と き 平成 26 年 1 月 23 日（木）11:00～18:00、1 月 24 日（金）9:30～15:00

ところ ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

○支援員等対象研修

性犯罪被害者の支援を行っている、又は行う予定のある支援員等を対象に、性犯罪被害者の相談を受けるために必要な技術を習得するための研修を実施した。

と き 平成 26 年 1 月 30 日（木）11:00～18:30、1 月 31 日（金）9:30～15:00

ところ 都市センターホテル（東京都千代田区平河町 2-4-1）

（２）性犯罪被害者支援機関・団体等一覧の作成

国や地方公共団体、ＮＰＯ等が実施している性犯罪被害者支援の取組に関する情報収集し、「性犯罪被害者支援機関・団体等一覧（平成２５年度版）」として取りまとめた。

1 内閣府男女共同参画局受託事業

東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業

【事業概要】

- (1) 目的 東日本大震災の被災地においては、長引く仮設住宅での暮らしや生活不安などの影響によるストレスの高まりなどから、女性が様々な不安や悩みを抱えることや、女性に対する暴力が生じることなどが懸念されることから、平成 23 年 5 月 10 日から岩手県において、また同年 9 月 1 日から宮城県において、更には平成 24 年 2 月 11 日から福島県を加えた計 3 県で、地方公共団体及び民間団体等と共同で、全国の専門性の高い相談員の協力を得て、女性の悩み・暴力相談窓口を開設し、電話及び面接等により相談を受け付けるとともに、相談員が仮設住宅等を訪問し、女性から直接相談を受け付けることなどにより、被災地において女性が安心して相談できる相談事業を実施中である。

発災から約 1 年 10 か月が経過した現在においても、毎月 400 件を超える相談が寄せられており、依然として女性が悩みを抱える状況が見られ、その相談内容もより複雑化してきていることから、引き続き内閣府において、地方公共団体や民間団体等と共同し、女性の悩み・暴力相談事業を実施し、相談者の状況に応じた支援の窓口につなぐことにより、具体的な問題解決につなげることとする。

また、相談窓口に寄せられた相談をもとに事例集を作成し、今後の被災者支援の取組に活かすこととする。

(2) 開設場所

岩手県内、宮城県内及び福島県内

(3) 相談受付期間

平成 25 年 4 月 1 日（月）から平成 26 年 3 月 31 日（月）

(4) 相談の対象

震災に関連する女性の悩み全般に関する相談

配偶者等からの暴力や性暴力などに関する相談

(5) 相談対応の種類

電話相談、窓口相談、訪問相談等

(6) 電話の名称及び番号

○岩手県

名称：「女性の心のケア ホットライン・いわて」

番号：0120-240-261（岩手県内限定フリーコール）

○宮城県

名称：「東日本大震災 心の相談 ホットライン・みやぎ」

番号：0120-933-887（宮城県内限定フリーコール）

○福島県

名称：「女性のための電話相談 ふくしま」

番号：0120-207-440（全国フリーコール）

(7) 相談受付曜日・時間

県名	曜日・時間
岩手県	月～日（祝含む） 午前１０時～午後５時
宮城県	月～金 午前８時３０分～午後４時４５分
福島県	月～金（祝除く） 午前１０時～午後５時

(8) 事業の運営体制

主 催 内閣府

共 催 岩手県・宮城県・福島県

協 力 NPO 法人参画プランニング・いわて、もりおか女性センター、盛岡市、NPO 法人
ハーティ仙台、気仙沼市、NPO 法人ウィメンズスペースふくしま、郡山市

協力団体 NPO 法人全国女性シェルターネット、NPO 法人日本フェミニストカウンセリング
学会、NPO 法人全国女性会館協議会

事務局 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団

2 自主事業

東北女性の手仕事物産展・物産品の販売

第2回「どーんと東北！いわて、みやぎ、ふくしまから」

【事業内容・実績】

(1) 東北女性の手仕事物産展「どーんと東北！いわて、みやぎ、ふくしまから」

- ①目 的 当財団は平成23年度から内閣府「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」を受託し、東北3県を訪問する機会が増え、地元女性団体や自治体等とネットワークを構築してきた。東北（被災地）では、女性たちがさまざまな農産物・加工品、手仕事品などを生産している。ネットワークを活かして、女性がつくった農産物や加工品、手仕事品等を収集し、生産品等を販売、女性の経済的自立を応援する。「大阪で応援できること＝買い物すること」をPRし、持続可能な販路の開拓に努める。物品は基本的に買い取り方式とする。

第2回は「食べて応援しよう」というテーマを付加し、東北で採れた野菜等を使った食べ物を提供するカフェや東北のスイーツを作るワークショップを実施する。

- ②日 時 平成25年6月8日（土）・9日（日）
10:00～17:00
- ③場 所 ドーンセンターロビー（1F）、調理室（4F）
- ④参加費 無料
- ⑤来場者数 2日間で約800名
- ⑥出展者一覧



県名	団体名	商品名
岩手県	被災地 NGO 協働センター (つくり手応援団：岩手県被災者の女性たち)	まけないぞう
	愛編む宮古	マフラー、帽子等
	(一社) SAVE IWATE	復興雑巾
	横田町女性会	上向き地藏
	再生の里ヤルキタウン	アームカバー、瓦 Re:KEYHOLDER
	ちーむ麻の葉	ドレスタオル
	阿部恵子	手ぬぐい
	宇部京子	ポストカード
	手作り工房きくばん	ベーグル
	天然野草茶の店 クックハーブ	野草茶
	りんご工房きただ	りんごジュース、ジャム
	松本りんご園	りんごジュース、ジュレ
	まるき水産	漁師のふりかけ、わかめ
	田老町漁業協同組合	磯とろろ
	石井商店	即席みそ汁
	岩手缶詰(株)	缶詰
	農家の吉長	米 (ひとめぼれ)

県名	団体名	商品名
宮城県	(一社)気仙沼復興協会「港町の縫いっ娘ぶらぐ」	ランチョンマット、バッグ等
	RQ 被災地女性支援センター	気仙沼のバラたわし、編んだもんだらたわし
	東北大学「災害科学国際研究所」	減災風呂敷「結」
	WATALIS	巾着、いちごストラップ
	チーム福幸のわ	ククイナッツ・ストラップ
	宮城県漁業女性部連絡協議会	貝殻アクセサリネックレス等
	南三陸はまゆり会	南三陸復興三地蔵
	石巻へい輪プロジェクト	ミサンガ櫛
	名振マザーミサンガ	マザーミサンガ
	小野駅前郷プロジェクト	おのくん
	特定非営利活動法人ピースジャム	ジャム、ジュジュ、巾着等
	社会福祉法人はらから福祉会登米大地	油麴井
	㈱阿部長商店	さかな煮物
	のり工房矢本	焼き海苔、塩のり等
	渡部菓子店	いちごのマシュマロ
福島県	酒井道子	ビーズアクセサリ
	しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島	布草履、エコたわし等
	浪江花の会	刺子布巾・刺子台布巾等
	peach heart	柄付きマスク
	富岡町社会福祉協議会おだがいさまセンター サマンサ・マミー	エコたわし、バッグ
	かーちゃんの力プロジェクト	豆みそ、漬け物等
	(一社)チームむかご	にこまるクッキー

⑦カフェ 岩手県、宮城県、福島県の素材、レシピを使用したメニューを提供

カフェ メニュー	東北おべんとう
	ベーグルサンド（お食事系&スイーツ系）
	ハーブシロップのフルーツみつめ

⑧ワークショップ 定員：各12名 参加費：2,000円

	日時	テーマ／内容	参加者数
1	6月8日（土） 9日（日） 13:30～15:00	「東北スイーツ“ずんだ”をつくろう！」 メニュー：ずんだ雑穀おはぎ、車麴パンケーキ豆乳クリームとずんだ添え 講師 田中俊子（カフェ北北東店主、 日本野菜ソムリエ協会認定料理教室主宰）	15名

⑨販売総額 1,510,606円

⑩協力 岩手県、盛岡市、もりおか女性センター、NPO法人参画プランニング・いわて、宮古市男女共生推進センター、WWB／ジャパン、宮城県、気仙沼市、福島県男女共生センター、NPO法人ウィメンズスペースふくしま、大阪府、三菱電機ビルテクノサービス株式会社関西支社、大阪キャッスルホテル

⑪後援 NHK大阪放送局、朝日新聞社、産経新聞社、毎日新聞社、読売新聞大阪本社、日本経済新聞社大阪本社

⑫共 催 ドーン運営共同体

⑬その他

当企画が広がり、以下のイベントへ委託販売等を行った（販売総額：227,265 円）。

- ・ いけばなインターナショナル大阪支部 第 22 回フェスティバル（平成 25 年 4 月 28 日）
- ・ 神戸市看護大学（平成 26 年 6 月）
- ・ 東北 mono×photo Re:think～現在から未来をみる～ リンクスギャラリー（平成 25 年 6 月 30 日～7 月 3 日）
- ・ 大阪青山大学（平成 25 年 11 月 10 日）
- ・ イコーラムフェスタ 東大阪市立男女共同参画センター（平成 26 年 2 月 22 日・23 日）
- ・ P&G ジャパン 社内東北復興支援イベント（平成 26 年 3 月 7 日）

1 ドーンセンターの概要

(1) 運営の基本理念と目的（平成16年3月改定）

「男女が対等な立場で、あらゆる分野へ参加・参画することができる社会の創造」を基本理念とし、社会的・経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための総合的な支援施設としての役割を果たしていくことを目的とする。

(2) 沿革

ドーンセンターの建設計画は、各界の専門家や女性団体、グループの方々など幅広い府民の参画を得て進められた。センターの事業や施設内容についてもドーンセンター推進会議やクリエイティブフォーラムなどを開催して、府民の方々とともに検討し、方針が決められた。

ドーンセンターの施設管理・事業運営については、大阪府からの委託を受けて、財団法人大阪府男女共同参画推進財団がその全てを担ってきたが、平成18年4月、ハード部門（利用促進・施設管理）に指定管理者制度が導入された。これに伴い、ハード部門は財団とNPO法人による事業共同体が指定管理者として運営を受託（5年契約）、ソフト部門（事業）は従来通り財団が受託した。

平成21年度には、大阪府によって多機能化が図られて、青少年を加えた施設名称に変更、また、府女性相談センターが転入した。

昭和61年度	4月	「21世紀をめざす大阪府女性プラン」策定 (昭和61年度～平成2年度)
	9月	建設予定地（元大手前会館跡地）を決定
	1月	第1回婦人団体、グループアンケート実施
昭和62年度	6月	基本構想公表
	1月	第2回婦人団体、グループアンケート実施
昭和63年度	9月	婦人総合センター（仮称）推進会議の設置 (平成3年7月、ドーンセンター推進会議に改称)
	12月	クリエイティブフォーラム開催 府政モニターアンケート調査実施
	1月	元大手前会館撤去完了
平成元年度		基本設計、文化財発掘調査（第1期）
平成2年度		実施設計、文化財発掘調査（第2期）
	12月	クリエイティブフォーラム開催
	2月	愛称「ドーンセンター」に決定
平成3年度	9月	「女と男のジャンププラン」策定（平成3年度～12年度まで） 文化財発掘調査（第3期）
	12月	クリエイティブフォーラム開催
	3月	建設工事着工（工期28か月）
平成4年度	12月	クリエイティブフォーラム開催
	1月	シンボルマーク決定

平成5年度	11月	プレイベント「女性映像フォーラム」開催
平成6年度	11月	ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）開館
平成13年度		大阪府における「NPOとの協働モデル施設」に位置付け
	3月	ウェルネスのフロア（地下1階）の廃止
平成14年度	4月	休館日を水曜日から月曜日に変更
	10月	NPO協働フロア（地下1階）のリニューアルオープン
平成16年度	11月	開館10周年記念行事開催
平成18年度	4月	ハード部門に指定管理者制度導入
		「NPOとの協働モデル施設」「女性のチャレンジ支援のための拠点施設」に位置付け（「改定おおさか男女共同参画プラン」）
	11月	ソウル女性プラザ（韓国）と友好協約締結
平成19年度	9月	情報ライブラリー（2階）開室時間変更
平成20年度	8月	情報ライブラリー（2階）開室日・開室時間変更
平成21年度	4月	大阪府立男女共同参画・青少年センターへ名称変更
	10月	大阪府女性相談センター転入（3階）
平成23年度	4月	第2期指定管理業務がスタート

（3）建物概要

①所在地	大阪府中央区大手前1丁目3番49号
②敷地面積	3, 170 m ²
③構造	鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
④階数	地上10階地下1階
⑤高さ	52m
⑥建築面積	1, 971 m ²
⑦延床面積	12, 761 m ²
⑧立体駐車場	92台

（4）運営	事業：一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 利用促進・施設管理：ドーン運営共同体
-------	--

（5）歴代館長	津村 明子	平成6年4月～平成9年12月
	上田 忍	平成10年1月～平成13年3月
	竹中 恵美子	平成13年4月～平成19年6月
	清野 博子	平成19年7月～平成22年3月
		※平成22年3月、館長職廃止

（6）利用について

①開館時間	9：00～21：30
②利用時間	9：30～21：30
③休館日	毎週月曜日、祝日及び振替休日（ただし、その日が土・日曜日の場合は開館し、翌週火曜日が休館。またその日が月曜日の場合は、翌火曜日も休館）、 年末年始
④ホール・会議室等の利用申込	

- ア 予約・受付 9:00～20:00
- イ 抽選会日時 <ホール、パフォーマンススペース>
 12ヶ月前の第1水曜日(※) 受付:14:00～14:30
 <会議室等>
 6ヶ月前の第1水曜日(※) 受付: 9:30～10:00
 ※ 第1水曜日が休館日の場合は、次の平日開館日に行う。
 1月に限っては第2水曜日に行う。
- ウ 電話・窓口受付 抽選会翌日の9:30から先着順で受け付け

⑤こどものへや

- 定期保育 毎週木曜日 午前の部 9:30～12:30
 午後の部 13:00～17:00
 対 象: 0歳6ヶ月以上小学校2年まで
 保育料: 午前の部 1000円・午後の部 1000円
 定 員: 20名 ただし1歳6ヶ月未満の幼児は若干名

⑥サポート・カウンセリングルーム

- ア 問い合わせ・予約受付 火～金曜日 13:30～18:00
 18:45～21:00
 土・日曜日 9:30～13:00
 13:45～18:00
- イ 女性の悩み電話相談 火～金曜日 17:00～20:00
 土・日曜日 10:00～16:00
- ウ 女性のための面接相談 火～金曜日 17:00～21:00
 土・日曜日 10:00～18:00

⑦情報ライブラリー

- ア 開室時間 火・水・木・土曜日 9:30～17:30
 (貸出、情報相談は17:20まで)
 金曜日 9:30～20:00 (貸出、情報相談は19:50まで)
- イ 休室日 休館日、日曜日、毎月最終火曜日(火曜日が休館の場合は、翌日の水曜日)及び特別資料整理期間

⑧駐車場(タワーパーキング)

- 8:45～21:45
 最初の1時間 400円(以降30分ごとに200円) 上限2,400円
 普通車のみ
 (車高・車幅等制限あり。車高1m55cm 車幅1m80cm 車長5m30cm)
 ※障害者手帳等の提示により、料金を免除

2 ドーン運営共同体の概要

(1) 設立目的

男女財団、青少年財団、施設管理会社、文化関係NPOの4団体による事業共同体として指定管理者に名乗りをあげ、個々の団体の特色を活かし、利用サイドに立った柔軟できめ細かい発想を生かすことで、指定管理者制度の趣旨である利用者サービスの向上と施設の効率的運用の両立を図り、大阪府における男女共同参画社会づくりの拠点施設及び青少年センターとしてのドーンセンターの利用促進を継続発展させる。

(2) 構成員

- 名 称 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団
代表者 理事長 時岡禎一郎
所在地 大阪市北区西天満3丁目11番8号

- 名 称 一般財団法人大阪府青少年活動財団
代表者 理事長 鈴木 孝三
所在地 大阪市浪速区幸町2丁目7-3 りそな・アルテ桜川ビル4階

- 名 称 三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社
代表者 常務取締役支社長 瀬尾 孝夫
住 所 大阪市北区天満橋1丁目8番30号

- 名 称 NPO法人大阪現代舞台芸術協会
代表者 理事長 岩崎 正裕
住 所 大阪市中央区東心斎橋2丁目1番27号 周防町ウイングス5階

※共同体代表者は、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団理事長

(3) 指定管理者指定年月日

平成23年3月16日

(4) 指定期間

平成23年4月1日～平成28年3月31日（5年間）

(5) 共同体の事務所

大阪市中央区大手前1丁目3番49号

(6) 主要事業

- (1) ホール・会議室等の利用受付及び使用料の徴収業務
- (2) 施設、設備等の維持管理業務（日常清掃業務を除く）

(3) 一時保育事業

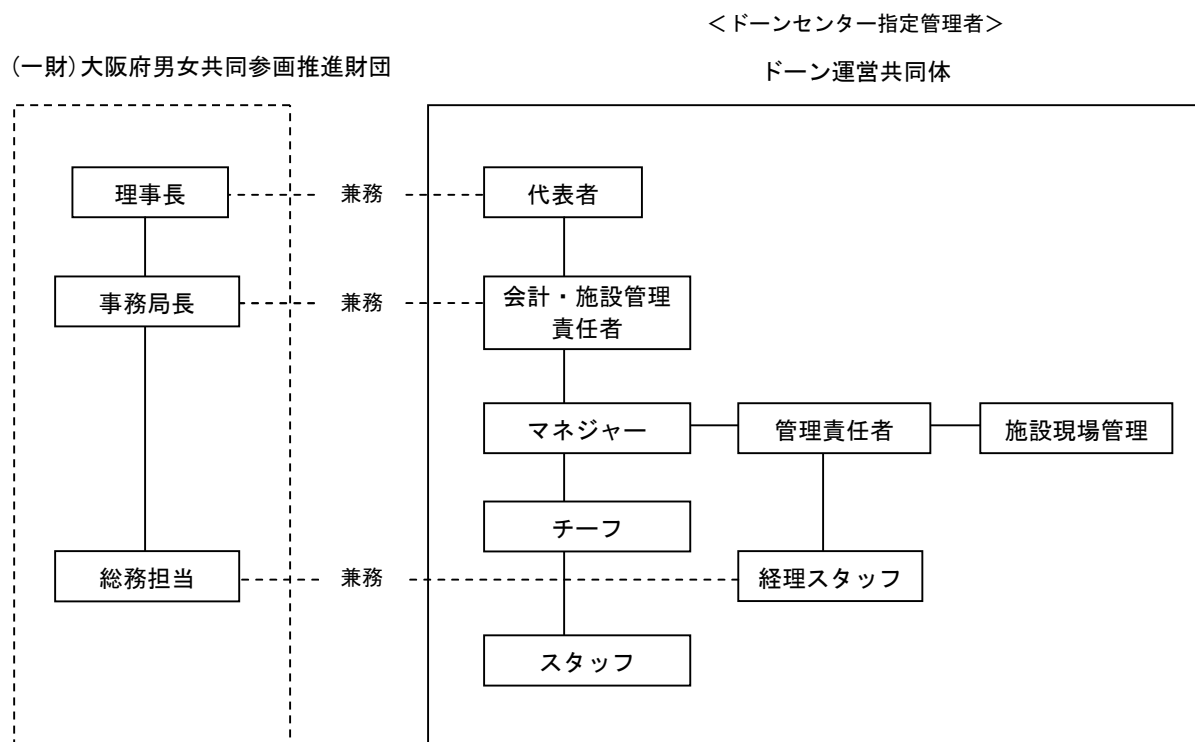
(7) 共同体のあゆみ

平成22年12月9日「ドーン運営共同体」発足

平成23年3月16日大阪府より指定管理者に指定

平成23年4月1日指定管理業務開始

(8) 組織体制



3 大阪府（府民文化部）受託事業

指定管理業務

大阪府から指定管理者として指定されたドーンセンターの管理運営を行うとともに、府民にホールや会議室の貸出を行った。

（１）来館者数

（単位：人）

	会議室等	ホール等	ライブラリー	視 察	その他	合 計	1 日平均
4 月	13,593	8,994	1,398	0	688	24,673	(24 日) 1,028
5 月	13,970	9,560	2,003	3	1,137	26,673	(24 日) 1,111
6 月	16,453	13,154	2,346	0	1,840	33,793	(26 日) 1,300
7 月	15,697	10,328	2,143	0	817	28,985	(25 日) 1,159
8 月	11,835	9,177	2,491	0	772	24,275	(27 日) 899
9 月	13,421	8,050	2,152	0	847	24,470	(23 日) 1,064
10 月	13,855	11,635	2,258	0	1,233	28,981	(26 日) 1,115
11 月	14,760	12,463	2,265	28	934	30,450	(24 日) 1,269
12 月	11,568	10,295	1,529	11	821	24,224	(23 日) 1,053
1 月	12,017	7,260	1,760	0	825	21,862	(23 日) 951
2 月	14,720	10,330	1,726	0	718	27,494	(23 日) 1,195
3 月	16,714	11,090	1,675	0	683	30,162	(25 日) 1,206
25 年度計	168,603	122,336	23,746	42	11,315	326,042	(293 日) 1,113
24 年度計	171,997	118,983	23,836	111	12,764	327,691	(294 日) 1,115

(2) 会議室・ホール等の貸出

男女の自立と対等な参加・参画に基づく男女共同参画社会の実現、並びに青少年活動の促進や青少年の健全育成に資する目的をもって行う学習活動等の開催場所として、ドーンセンターの会議室やホールなどを貸出した。

なお、センターの設置目的に支障のない範囲において、府民の健全で文化的な集会及び催物等の実施に対しても会議室等を貸出した。

①会議室・ホール等の利用状況

<会議室等の利用率>

	会 議 室 等 (%)				ホール (%)	パフォーマンス・ スペース (%)	合計 (%)
	会議室	和 室	調理室等	小 計			
4 月	72.5	41.0	45.0	62.5	54.5	72.2	62.6
5 月	62.6	34.7	41.9	54.7	54.5	51.4	54.5
6 月	65.7	44.2	50.5	59.7	69.4	59.0	60.1
7 月	63.7	48.7	48.8	58.5	73.9	44.0	58.5
8 月	50.4	28.4	40.0	45.6	62.7	44.4	46.3
9 月	62.1	44.9	46.4	56.4	58.7	60.9	56.7
10 月	58.6	44.9	44.4	53.7	81.9	50.0	54.7
11 月	64.5	47.2	47.8	58.6	84.8	70.8	60.3
12 月	52.7	42.0	42.9	49.2	61.7	81.2	51.2
1 月	55.5	49.3	39.7	50.9	49.2	42.0	50.5
2 月	68.1	49.3	49.9	61.7	68.3	55.1	61.6
3 月	72.8	49.3	51.5	65.1	69.6	64.0	65.3
25 年度計	62.4	43.5	45.7	56.3	66.0	57.7	56.8
24 年度計	63.4	46.0	42.5	56.4	62.4	52.7	56.5

<利用目的別比率>

種 別	目 的 内 利 用 (%)					一般利用 (%)
	男女共同参画				青少年	
	財団主催講座等	登録団体	その他	合 計		
会議室等	6.5	16.1	15.9	38.5	10.9	50.6
ホール	1.3	4.5	6.2	12.0	14.3	73.7
パフォーマンス・スペース	1.2	6.9	9.3	17.4	12.0	70.6
25 年度計	6.0	15.1	15.1	36.2	11.1	52.7
24 年度計	5.4	16.5	18.6	40.4	8.8	50.8

<曜日別、時間帯別利用率>

種 別		午 前 (%) (9:30～12:00)	午 後 (%) (13:00～17:00)	夜 間 (%) (18:00～21:30)	計 (%)
会議室等	平日	51.0	70.4	37.7	53.0
	土曜	70.0	91.9	33.5	65.1
	日曜	69.8	90.4	18.8	59.7
	小計	57.7	77.7	33.6	56.3
ホール	平日	56.1	78.7	37.2	57.3
	土曜	86.5	96.2	69.2	84.0
	日曜	92.3	94.2	40.4	75.6
	小計	69.0	85.1	44.0	66.0
パフォーマンス・スペース	平日	45.2	55.3	52.7	51.1
	土曜	71.2	88.5	46.2	68.6
	日曜	98.1	98.1	19.2	71.8
	小計	59.2	68.8	45.5	57.9
合 計	平日	50.9	70.0	38.4	53.1
	土曜	70.8	92.0	35.7	66.1
	日曜	72.1	90.9	19.8	61.0
	小計	58.2	77.6	34.6	56.8

②駐車場の利用状況

当センター利用者の方の利便性を高めるため、普通車 92 台を収容できる立体駐車場を完備しており、平成 25 年度 13,002 台の利用が有った。また、障害者の方は、利用料金を免除しており、615 台の利用があった。

<駐車場利用状況>

区分	駐車台数		一日平均	
		内免除数		日数
4 月	1,147	55	48	24
5 月	984	41	41	24
6 月	1,218	64	47	26
7 月	1195	46	48	25
8 月	885	41	33	27
9 月	1,029	50	45	23
10 月	1,156	59	44	26
11 月	1,196	65	50	24
12 月	1,066	52	46	23
1 月	903	32	39	23
2 月	1,284	52	56	23
3 月	939	58	38	25
25 年度計	13,002	615	44	293
24 年度計	15,994	602	54	294

(3) グループ活動の支援

① グループロッカーの設置

ア 定期的にドーンセンターを利用するグループ・団体の使用物品の保管場所として、また、グループ相互の情報交換を通じ、グループ同士の交流を深めるために、グループロッカーを設置し、貸し出しを行う。

イ 自主的に結成・運営されているグループで、ドーンセンターを定期的に利用している団体等。申込み多数の場合は抽選

ウ 貸し出し期間 1年間（平成25年4月1日～平成26年3月25日）

エ 使用料金 無料とする。

オ ロッカー数

(ア) 大型(幅36cm×高さ77cm×奥行40cm) 36個

(イ) 小型(幅34cm×高さ28cm×奥行35cm) 80個

カ 貸し出し件数 68団体（登録団体：44、一般団体：24）

② NPO団体専用ちらしラックの設置

定期的にドーンセンターを利用するグループ・団体の活動に関する情報交換のためメールボックスを設置し、貸し出しを行ってきたが、貸し出し件数が少ないため、メールボックスを廃止した。

大阪府内の男女共同参画や青少年活動を目的とするNPO191団体に呼びかけ30団体のチラシを8月より専用ラックにて情報発信の場として活用を開始した。

③ ワークステーションの運営

ア チラシやミニコミ誌等の作成、催し物の準備に伴う各種の創作活動を通じて、ドーンセンターを活動の拠点とするグループ活動や、グループ相互の交流を促進するためのスペースとしてワークステーションを無料提供する。

イ 運営時間 午前9時から午後9時30分

ウ 設置機器 印刷機、紙折り機、裁断機、製本機、(コピー機は3階に設置)

エ 使用料

(1) 印刷機：製版代 1製版 50円

印刷代 1枚 0.5円（但し、10円単位での精算）

用紙は利用者持参

(2) コピー機：1枚 10円 カラーは 50円

(3) FAX：送受信ともA4まで1枚 20円 A3まで1枚 40円

(4) E-mailサービス：パソコン使用料 20分 100円

プリントアウト 1枚 10円

オ 急に用紙が必要になった場合の対応としてコピー用紙の販売を引き続き実施。

A4サイズ500枚 400円

B4サイズ500枚 600円

A3サイズ500枚 700円

<利用状況>

月 別	印刷機利用団体数	月 別	印刷機利用団体数
平成 25 年 4 月	94 件	平成 25 年 10 月	74 件
平成 25 年 5 月	102 件	平成 25 年 11 月	64 件
平成 25 年 6 月	100 件	平成 25 年 12 月	66 件
平成 25 年 7 月	78 件	平成 26 年 1 月	39 件
平成 25 年 8 月	72 件	平成 26 年 2 月	64 件
平成 25 年 9 月	74 件	平成 26 年 3 月	72 件
合 計		899 件	

④ ポスタープリントサービス

利用団体・NPO・団体等の活動支援の一環で、効果的な広報・PRのために、PDFデータを拡大するサービスを行う。

<販売実績>

	紙 質	サイズ	価 格	販売数
1	フォト光沢紙	A 1	3, 000	0
2		B 2	2, 000	3
3		A 2	1, 500	0
4	厚口コート紙	A 1	2, 000	1
5		B 2	1, 500	1
6		A 2	1, 000	3
7	プレミアム普通紙	A 1	600	31
8		B 2	500	114
9		A 2	400	9
	合 計			162 枚

⑤ 情報交換プラザの運営

センター内外で行われる各種行事の情報提供及びグループ活動の交流や情報の交換が行えるよう、1階の情報交換プラザにおいてグループ・団体、行政機関等のちらしやパンフレット等を配布した。

	府庁関係	国・他府県	市町村	他の女性センター	自主グループ	合計
25年度	385	206	993	900	1680	4168
24年度	412	185	1033	884	1520	4034

4 自主事業

一時保育事業

子育て中の人々の社会参加を促進・支援することを目的として、ドーンセンター利用者を対象に、「こどものへや」を活用した一時保育事業をドーン運営共同体の主催事業として実施した。

運営にあたっては、民間の保育運営手法を取り入れ、より一層の事業効果を高めるため、公募プロポーザルによって選定したNPO法人関西子ども文化協会との協働（委託）により事業の活性化に努めた。

（１）実施内容

①定期保育

情報ライブラリー等のセンター利用者を対象として、平成25年4月から平成26年3月まで毎週木曜日に実施した。

＜保育時間＞ 9：30～12：00 13：00～17：00

②「こどものへや」の貸し出し

センター施設を利用する団体・グループが保育を実施する場合に、「こどものへや」の貸出を行った。

③ 保育協力者 295名

（２）「こどものへや」の利用状況

	定期保育			保育サポート			貸出件数②	合計①+②
	開催 日数①	子ども 数	保育協 力者数	開催 日数①	子ども 数	保育協 力者数		
4月	0	0	0	0	0	0	7	7
5月	6	27	17	5	20	15	17	28
6月	4	29	18	4	16	12	24	32
7月	4	20	12	4	8	8	22	30
8月	4	10	8	6	16	12	24	34
9月	6	35	23	4	9	9	23	33
10月	5	37	22	5	11	11	24	34
11月	4	37	15	4	38	19	18	26
12月	4	30	12	4	31	17	17	25
1月	4	12	8	4	15	12	18	26
2月	4	29	17	5	10	9	18	27
3月	6	15	13	2	3	6	6	14
25年度計	51	281	165	47	177	130	218	316
24年度計	44	229	181				217	261

1 東大阪市立男女共同参画センターの概要

(1) 目 的

東大阪市立男女共同参画センターは「男女共同参画社会基本法」の基本理念を踏まえ、女性と男性が互いにその人権を尊重し、性別にとらわれることなく、一人ひとりの能力と個性が十分にいかされる社会の実現をめざすための活動を行う拠点施設として設置した。

(2) 業務内容

①情報に関する事業

情報の提供・発信（啓発）・収集、調査研究、機関紙の発行

②学習に関する事業

男女共同参画社会の実現に向けた講座、女性のエンパワーメントを促進するための講座、講演会、ビデオ上映会等の開催

③交流事業

交流の機会提供、利用者間の情報交流の促進、他都市との交流促進

④自主活動支援事業

諸活動の場の提供、センター利用者に対する一時保育

⑤相談事業

女性のための相談：女性相談員による電話相談、面接相談、多言語相談（英語、中国語、韓国・朝鮮語）、女性弁護士による法律相談、女性社会保険労務士による労働相談
男性のための相談：男性相談員による電話相談

(3) 所在地

東大阪市岩田町4丁目3番22-600号

近鉄奈良線若江岩田駅北側「希来里（きらり）」ビル 施設棟 6階

(4) 開館年月日

平成15年4月14日

(5) 愛称

「イコーラム」

(6) 愛称の由来

愛称を公募した結果、イコール（equal＝等しい、同じであること）とフォーラム（forum＝集会所、公共の広場）をあわせた造語である「イコーラム」に決定した。

(7) 建物概要

①構造等 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造、地上7階 地下1階

②施設占有面積 1,898.36 m²

(8) 利用案内

- ①開館時間 平日・土曜日 9:00～21:30
日曜日・祝日 9:00～18:00
- ②休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は開館し、その翌日が休館）
12月29日から1月4日
- ③利用申込 研修室・学習室は使用日の3ヶ月前の属する月の1日から、直接窓口にて申込み可能。
ホール・ギャラリーは使用日の6ヶ月前の属する月の1日から申込み可能。

(9) 運 営 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団

(10) 事業推進委員会

男女共同参画社会の実現をめざし、市と連携してセンターの自主事業企画の提案を行い、男女共同参画の推進を図る目的で設置。

①委員 13名（公募市民）、任期2年

②事業推進委員会議事内容

	月 日	議 題
1	6月21日(金)	委嘱上の交付、平成25年度事業について、委員会開催予定 ほか
2	7月25日(木)	男女共同参画週間記念のつどいについて（報告）、センターだよりについて、希来里ファミリーまつりについて、フェスタ会議開催について ほか
3	9月26日(木)	イコーラムフェスタについて、センターだよりについて ほか
4	10月31日(木)	イコーラムフェスタについて
5	11月28日(木)	イコーラムフェスタについて、センターだよりについて ほか
6	1月16日(木)	イコーラムフェスタについて、センターだよりについて ほか
7	2月13日(木)	イコーラムフェスタについて（最終打ち合わせ）
8	3月27日(木)	平成25年度イコーラムフェスタを振り返り

2 東大阪市受託事業

施設管理業務

指定管理者として指定された管理運営を行うとともに、市民にホールや研修室の貸出を行った。

(1) 利用者数

＜月別利用者数＞

(単位：人)

	ホール	ギャラリー	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	学習室	子ども室	合計
4月	2,590	0	1,224	1,236	679	589	609	12	6,939
5月	5,014	1,980	1,108	857	630	690	872	14	11,165
6月	5,186	2,884	1,139	1,100	695	852	1,045	16	12,917
7月	5,930	1,620	1,256	1,178	595	808	806	36	12,229
8月	4,434	976	1,026	831	551	623	810	15	9,266
9月	4,514	888	1,288	1,372	569	601	921	163	10,316
10月	6,480	2,240	2,088	1,478	659	735	1,020	140	14,840
11月	8,851	2,940	1,564	1,696	734	902	1,144	87	17,918
12月	8,068	1,816	1,484	1,268	577	637	766	99	14,715
1月	3,668	440	993	930	512	509	751	24	7,827
2月	4,884	3,160	1,328	1,171	655	680	1,028	49	12,955
3月	5,717	2,260	1,217	1,664	743	649	1,124	16	13,390
合計	65,336	21,204	15,715	14,781	7,599	8,275	10,896	671	144,477

＜利用種別＞

(単位：人)

	一般利用	団体登録	公用利用	合計
ホール	51,615	1,960	11,761	65,336
ギャラリー	4,877	0	16,327	21,204
第1研修室	10,843	1,729	3,143	15,715
第2研修室	10,938	1,035	2,808	14,781
第3研修室	5,319	1,444	836	7,599
第4研修室	5,544	2,069	662	8,275
学習室	7,736	1,961	1,199	10,896
子ども室	407	70	194	671
合計	97,279	10,268	36,930	144,477

＜性別＞

(単位：人)

	男性	女性	合計
ホール	29,504	35,832	65,336
ギャラリー	10,472	10,732	21,204
第1研修室	6,195	9,520	15,715
第2研修室	5,294	9,487	14,781
第3研修室	2,247	5,352	7,599
第4研修室	2,869	5,406	8,275
学習室	4,073	6,823	10,896
子ども室	297	374	671
合計	60,951	83,526	144,477

3 東大阪市受託事業

東大阪市主催事業

【事業概要】

- (1) 目 的 男女共同参画社会を推進するための講座や講演会等を開催する。
- (2) 期 間 平成25年4月1日～平成26年3月31日

【事業内容・実績】

(1) イコーラムカレッジ「現代社会を読み解く」①

- ①目 的 働く女性の現状から生き方に応じて多様な働き方を選ぶことができる社会の在り方を考える。
- ②日 時 平成25年5月19日（日）14：00～16：00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：17名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	5月19日(日) 14:00～16:00	多様な働き方を考える～働く女性の現状から～ 森田園子（大阪樟蔭女子大学学芸学部ライフプランニング学科教授）	15名

(2) イコーラムカレッジ「現代社会を読み解く」②

- ①目 的 女性、特に高齢女性や若い女性、シングルマザーが生活困難に陥りやすく、また子どもへと世代間連鎖が起こる社会構造をジェンダーの視点で学ぶ。
- ②日 時 平成25年6月15日（土）14：00～16：00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：19名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	6月15日(土) 14:00～16:00	女性も子どもも豊かに生きるために ～貧困問題から社会の不公平を考える～ 丸山里美（立命館大学産業社会学部現代社会学科准教授）	15名

(3) イコーラムカレッジ「現代社会を読み解く」③

- ①目 的 女性でも男性でも、人として身につけたい生きる力とはどういうことなのかを考える。
- ②日 時 平成25年7月20日(土) 14:00～16:00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：23名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	7月20日(土) 14:00～16:00	生活力・自立・生きる力～家庭科教育から考える～ 南野忠晴 (大阪府立八尾北高等学校家庭科教員)	16名

(4) イコーラムカレッジ「現代社会を読み解く」④

- ①目 的 法制度の中のジェンダーバイアスに気づき、身近な問題として日本の法制度の在り方について考える。
- ②日 時 平成25年9月29日(日) 14:00～16:00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：26名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	9月29日(土) 14:00～16:00	法の中の不公平～女性の視点で法制度を読み解く～ 松田總子 (桃山学院大学法学部法律学科教授)	21名

(5) イコーラムカレッジ「現代社会を読み解く」⑤

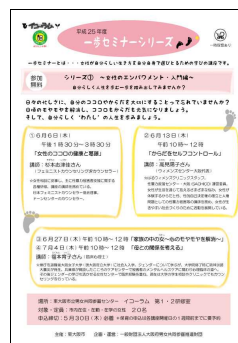
- ①目 的 摂食障害という切り口から、‘痩せている女性は美しい’といった価値規範が女性たちに及ぼす影響を考え、普段当たり前に行っている‘食べること’を見つめ直す。
- ②日 時 平成25年10月19日(土) 14:00～16:00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：29名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	10月19日(日) 14:00～16:00	食べることは生きること～摂食障害からみえるもの～ 中村このゆ (追手門学院大学心理学部心理学科教授)	22名

(6) 一歩セミナーシリーズ①～女性のエンパワメント・入門編～

- ①目 的 女性が直面する悩みや葛藤の背後にはジェンダー規範があることに気づき、その縛りをさまざまな面から解いていくことで、自分自身の人生を歩む一歩となるための講座とする。
- ②日 時 平成25年6月6日(木) 13:30～15:30、
6月13日(木)・27日(木)・7月4日(木)
10:00～12:00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：30名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	6月6日(木) 13:30～15:30	女性のココロの健康と葛藤 杉本志津佳 (フェミニストカウンセリング堺 カウンセラー)	21名
2	6月13日(木) 10:00～12:00	からだをセルフコントロール 高見陽子 (ウィメンズセンター大阪 代表)	18名
3	6月27日(木) 10:00～12:00	家族の中の女 ^{わたし} ～心のモヤモヤを解消～ 福本育子 (臨床心理士)	20名
4	7月4日(木) 10:00～12:00	母との関係を考える 福本育子 (臨床心理士)	21名
			(延)80名

(7) 一歩セミナーシリーズ②～女性のエンパワメント・実践編～

- ①目 的 グループワークを通して、女性自身が縛られてきたジェンダー規範を解いていき、自尊感情を獲得するための講座とする。
- ②日 時 平成25年8月8日(木)・8月22日(木)・29日(木)
10:00～12:00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：23名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	8月8日(木) 22日(木) 29日(木) 10:00～12:00	自己尊重トレーニング 窪田容子 (女性ライフサイクル研究所)	18名 18名 17名
			(延)53名

（８）一歩セミナーシリーズ③～女性のエンパワメント・実践編～

①目 的 女性自身が縛られてきたジェンダー規範を解くことで、自己表現の重要性に気づき、自分も相手も大切に自己表現方法を獲得するための講座とする。

②日 時 平成25年12月7日（土）・14日（土）・21日（土）
14:00～16:00

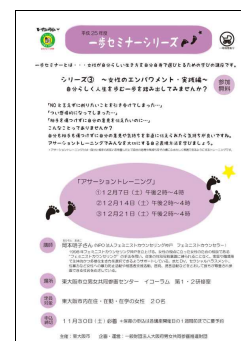
③場 所 イコーラム第1・2研修室

④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：48名（抽選により確定者36名）

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	12月7日（土）	アサーショントレーニング	31名
	14日（土）	岡本明子	26名
	21日（土）	（NPO法人フェミニストカウンセリング神戸 フェミニストカウンセラー）	26名
	14:00～16:00		
			(延)83名



（９）男性のための講座

①目 的 子育て世代の男性を対象に、今しかない子どもとの時間を作り出すタイムマネジメント術を得て、自身の働き方およびワークライフバランスを考える機会とする。シニア世代の男性には、定年後の十分な時間を、自分を活かしつつどう生きるかを探る機会とする。また、世代にかかわらず家族をはじめ周囲とのよりよい関係を築くコミュニケーション術を獲得する。

②日 時 平成26年3月1日（土）・8日（土）・15日（土）
10:00～12:00

③場 所 イコーラム第1・2研修室

④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の男性

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：各20名、申込者数：24名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	3月1日（土）	パパのためのタイムマネジメント術	6名
	10:00～12:00	天野勉（NPO法人ファザーリングジャパン関西メンバー）	
2	3月8日（土）	シニア世代の10万時間を豊かに	10名
	10:00～12:00	吉岡俊介（シニア産業カウンセラー、キャリアコンサルタント）	
3	3月15日（土）	家族がよろこぶ♪コミュニケーション術	9名
	10:00～12:00	坊隆史（臨床心理士、『男』悩みのホットライン）	
			(延)25名



(10) 地域女性リーダー養成講座：翔塾（はばたきじゅく）

「つくろう！誰もが暮らしやすいまち・東大阪～男女共同参画の視点から」

- ①目 的 まちづくりの際に欠かせない男女共同参画の視点を持ち、女性も男性も子どもも高齢者も全ての人が暮らしやすいまちはどういうものかを学び、実際のまちづくりに力を発揮できる人材を育成する。また、地域女性リーダー間のネットワーク構築をめざす。
- ②期 間 平成25年10月26日（土）～11月23日（土）
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：16名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	10月26日（土） 14:00～16:00	地域女性リーダー力で、みんなにやさしいまちづくり 中村順子（NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸 理事長）	11名
2	11月4日 （月・祝） 14:00～16:00	暮らしたいまち安心なまち～災害と向き合う、防災・減災編 相川康子（NPO法人NPO政策研究所 専務理事、主任研究員）	9名
3	11月9日（土） 14:00～16:00	暮らしたいまち安心なまち～ネットワーク編 西川香里（NPO法人ヘルパーステーションびよびよ会 理事長） 村井好野（NPO法人東大阪日本語教室 代表理事）	9名
4	11月16日（土） 9:30～12:30	地域課題から考えるまちづくり① 湯川まゆみ（NPO法人SEIN 代表）	9名
5	11月23日（土） 9:30～12:30	地域課題から考えるまちづくり② 湯川まゆみ（NPO法人SEIN 代表）	8名
			（延）46名

(11) 表現講座 絵ことば表現ワークショップ

- ①目 的 自分の中のジェンダーによる縛りに気づき、普段の生活で担っているジェンダー役割を一旦取り外した上で自分の心と向かい合い、ジェンダーの縛りから解放された自分自身を感じ、絵ことばで表現する。
- ②期 間 平成25年7月21日（日）・28日（日）
14:00～16:00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：28名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	7月21日（日） 7月28日（日） 14:00～16:00	心の中を自由に描く ～役割から自由になって自分自身を感じてみよう～ たかい たかこ（絵ことば作家）	20名 22名
			（延）42名

(12) 表現講座 教員ワークショップ

- ①目 的 学校教員を対象に、表現講座で作成したイコーラムカルタを活用して、児童・生徒に男女共同参画の視点を伝える教案づくりを考える。
- ②期 間 平成25年7月24日(水) 13:00～17:00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 市内の小学校・中学校・高等学校の教員
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：15名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	7月24日(水) 13:00～17:00	子どもたちと学びあう男女共生教育～イコーラムカルタを活用して～ 大畑真由美(大阪府立八尾高等学校教諭、学校心理士)	12名

(13) 仕事イキイキ講座「わたし働く！～ママのしごと応援セミナー～」

- ①目 的 子育て期の女性の再就職に向けた就業支援として、法制度をはじめ働くための正しい知識を得て、同じ境遇の女性と学び合う中で、自分らしいキャリアデザインを考える。
- ②期 間 平成26年1月30日(木)～2月20日(木)
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：16名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	1月30日(木) 10:00～12:00	働くための基礎知識～家族のこと、お金のこと、法制度のこと～ 松井一恵(社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー)	16名
2	2月6日(木) 10:00～12:00	ハッピーになるコミュニケーション～仕事と家事・育児との両立～ 森崎和代(女性ライフサイクル研究所)	13名
3	2月13日(木) 10:00～12:00	先輩の経験から学ぼう！支援情報を得よう！ 高石亜希子(㈱モトックス社員) 東大阪市社会福祉協議会職員、大阪マザーズハローワーク職員	7名
4	2月20日(木) 10:00～12:00	‘わたし’流キャリアデザイン 細谷晴美(キャリアコンサルタント)	10名
			(延)46名

(14) ちょこっとレクチャー「ビデオな1日」

- ①目 的 家族関係や、女性の生き方など、男女共同参画の視点のあるビデオやDVDなどを通して、男女共同参画について学び、気づきを得る。
- ②期 間 平成25年4月～平成25年1月
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：各40名

	日時	上映作品	参加者数
1	4月25日(日) 10:00～12:00 14:00～16:00	『隠された日記～母たち、娘たち～』 <2009年/フランス/104分/監督：ジュリー・ロペス＝クルヴァル> 偶然祖母の日記を発見した孫娘とその母親、そして過去に家出した祖母らが織り成す複雑な心模様を描き三世代にわたる女性の生き方を見つめた女性監督による人間ドラマ。	①29名 ②34名
2	7月6日(土) 10:00～12:00 14:00～16:00	『ウォーターボーイズ』 <2001年/日本/91分/監督：矢口史靖> 思いがけず、文化祭でシンクロイズドスイミングを発表することになってしまった男子高校生たちの奮闘と友情を描いた作品。	①11名 ②8名
3	8月18日(日) 10:00～12:00 14:00～16:00	『おじいさんと草原の小学校』 <2010年/イギリス/103分/監督：ジャスティン・チャドウィック> 過去を乗り越え、夢をつかんだ“84歳の小学生”の感動の実話。	①16名 ②14名
4	10月8日(火) 10:00～12:30 14:00～16:30	『余命』 <2008年/日本/131分/監督：生野慈朗> がんの治療と出産のはざままで葛藤する外科医と、その夫を描く人間ドラマ。	①22名 ②27名
5	12月3日(火) 10:00～12:00 14:00～16:00	『オレンジと太陽』 <2010年/イギリス/105分/監督：ジム・ローチ> 母と引き離され海を渡った13万人の子どもたち。幾千の家族を結びあわせた一人の女性の感動の実話。	①13名 ②24名
6	1月18日(土) 10:00～12:30 14:00～16:30	『ツレがうつになりまして。』 <2011年/日本/121分/監督：佐々部清> ベストセラーとなった同名エッセー漫画を映画化した作品。うつ病という病を通して成長していく夫婦の姿を描く。	①39名 ②37名
			(延)274名



(15) 男女共同参画週間 記念のつどい

①目 的 国の定める「男女共同参画週間」にちなみ、「男らしさ」「女らしさ」のイメージに縛られた慣習や制度などを問い直し、性別による固定的な役割分業ではなく一人ひとりがあるのままだに輝き、生き生きとできる社会の実現をめざすきっかけとなるよう、市民に呼びかける。

②日 時 平成25年6月29日(土) 13:30～16:00

③場 所 イコーラムホール

④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：244名、参加者数：215名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	6月29日(土) 13:30～16:00	笑顔広がる幸せ社会～みんなが安心の未来をめざして～ 東大阪市長あいさつ 「ひとことメッセージ」入選作品の紹介 東大阪市立枚岡中学校吹奏楽部演奏 【講演】 「こころとカラダの健康は“男女共同参画”から！」 石蔵文信(大阪樟蔭女子大学学芸学部健康栄養学科 教授)	215名 (女性181名 男性34名)
2	6月16日(土) ～6月30日(土)	【ギャラリー展示】 ・「ひとことメッセージ」各部門の優秀作および佳作 ・パネル『湖夢(こゆめ) ニュータウン』	

(16) 男女共同参画社会にむけて ひとことメッセージ

①目 的 6月23日～29日の「男女共同参画週間」にちなみ、男女共同参画に向けたメッセージを広く募集することにより、家庭や地域社会における男女共同参画への関心・気づき・取り組みなどを促し、東大阪市男女共同参画センター及び男女共同参画推進条例の周知を図る。

②募集期間 「小・中・高校生部門」

平成25年1月31日(木)まで

「一般部門」

平成25年5月10日(金)まで

③対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方

④内容・応募実績



	内 容	作品数
1	応募作品より「小学生の部」「中学生の部」「高校生の部」「一般の部」の各部門ごとに、優秀1点、佳作2点を選考し、そのうち最も優良なものを最優秀として表彰し、対象者には記念品(図書カード)を贈呈。	応募：1,235点 入選：8点

(17) 希来里ファミリーまつり

- ①目 的 希来里ビル全館で繰り広げられる希来里ファミリーまつりに
おいて、参加型の催しを実施し、より多くの市民にイコーラム
について知ってもらう機会とする。
- ②日 時 平成25年8月25日(日) 10:00～14:00
- ③場 所 希来里ビル6階イコーラム
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績



	内 容	参加者数
1	表現ワークショップと表現講座受講生の作品(絵ことば)展示、ワークショップ「しおりを作ろう!」、イコーラムカフェ、スタンプラリー	520名

(18) 女性に対する暴力をなくす運動のつどい

「暴力にNOを!～おとなができること～」

- ①目 的 若年者に対する性暴力をテーマに開催する。
性暴力に関する正しい知識と支援の流れを知り、若年者が暴力の
加害者にも被害者にもならないために、一人一人何ができるかを
考える。
- ②日 時 平成25年11月15日(金) 14:00～16:00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室、ギャラリー他
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員: 40名、申込者数: 33名



	日時	テーマ	参加者数
1	11月15日(金) 14:00～16:00	【講演】 あなたのところとからだはあなたのもの～サチッコの取り組みから～ 原田薫(ウィメンズセンター大阪スタッフ、サチッコ企画運営担当) 【DVD上映】 『あなたは悪くない』(上映時間30分)	29名
2	10:00～12:00	面接相談	
3	13:00～16:00	法律相談	
4	11月8日(金) ～24日(日) (ギャラリー)	パネル展示 パッチワークキルトの展示(平成23年度表現講座の作品) 「パープルリボン/暴力NO!へメッセージ」の展示	

(19) イコーラムフェスタ「心つながれば思いが伝わる、行こうよ イコーラム」

- ①目的 イコーラムの周知を図るとともに、登録団体と協働しつつ男女共同参画社会の実現のため、市民の意識を高める機会とする。
- ②日程 平成26年2月22日(土)・23日(日)
- ③場所 イコーラムホール・ギャラリー・研修室他
- ④対象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	2月22日(土) 13:00～	【オープニングセレモニー】 市長あいさつ、シンボルマークの表彰 オープニング演奏 東大阪立弥刀(みと)中学校器楽部 【登録団体紹介】 【講演】 世界がもし100人の村だったら～52人が女性、48人が男性です～ 池田香代子(作家・翻訳家) ・その他:折り紙教室、スタンプラリー、お茶席など	239名
2	2月23日(日) 10:00～	【DVD上映】 『ドルフィンブルー フジ、もういちど宙へ』 【ホール催し】 和太鼓、歌体操、フラダンス、よさこい、朗読、ゴスペル ・その他:子ども遊び、パソコンの模擬講座、相談、傾聴、東北被災者のお話を聞く会、パステルアート、イコーラムカフェなど	397名
3	2月22日(土) ～3月8日(土)	【ギャラリー展示】 イコーラム登録団体による活動報告展示 【10周年記念展示】 過去10回のフェスタのポスターと写真展	
			(延)636名

(20) 出張講座

- ①目 的 学校や地域の団体からの要望、依頼を受け、依頼元に出向いて男女共同参画に関する講座を開催し、地域に根差した啓発を行った。

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	8月28日(水) 13:30～15:00	五条老人センター（市民対象） 「男女共同参画でシニアライフをもっと楽しむ」	7名
2	12月10日(火) 9:40～12:20 (3限)	西堤小学校（6年生3クラス） 「男女共生ワークショップ」	114名
3	1月17日(金) 15:30～17:00	東大阪市社会福祉協議会（職員対象） 「楽しい職場づくり～アサーティブな関係～」	27名
4	1月29日(水) 9:40～11:30	玉美小学校（5年生2クラス） 「男女共生ワークショップ」	48名
5	2月25日(火) 17:00～18:00	枚岡中学校人権担当教員（3年生7クラス授業分） 「男女共同参画」「デートDV」	2名
6	3月14日(水) 9:45～12:00	東大阪市男女共同参画施策推進本部会議（幹事・実務担当者会議） 「男女共同参画社会をめざして」	30名
			(延)228名

(21) イコーラムと中保健センターのコラボ企画「女性のためのココロを元気にする講座」

- ①目 的 女性の健康週間（3月1日～8日）にちなみ、中保健センターと男女共同参画センターイコーラムとの協働事業による、女性のからだところの健康に関する講座を開催する。
- ②日 時 平成25年3月28日（金）13:30～15:00
- ③場 所 保健所 大会議室
- ④対 象 東大阪市民 30代～60代の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：40名、申込者数：17名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	3月28日(金) 13:30～15:00	「女性のライフサイクルとメンタルヘルスについて」 斎藤真喜子（小阪病院精神科医）	11名

4 東大阪市受託事業

情 報

【事業概要】

- (1) 目 的 男女共同参画関連の資料をそろえ、提供する。
- (2) 日 時 平成25年4月1日～平成26年3月31日

【事業内容・実績】

(1) 情報資料室の運営

- ①貸出時間 平日・土曜日 9:00～21:00
日曜日 9:00～17:00
- ②利用方法 利用者カードを発行し、1人につき図書・AV資料あわせて3点を上限として2週間貸し出しを行う。また、ドーンセンター情報ライブラリーの資料も、1人につき図書・雑誌・行政資料は15冊（3週間）、AV資料は3点（2週間）の貸し出しを行う。
- ③収集資料 蔵書数 3,396 点、AV資料数 240 点 総数 3,636 点
- ④利用件数 (冊)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25年度	41	37	67	56	59	47	48	42	74	49	49	24	593
H24年度	89	80	74	60	55	57	45	60	56	46	34	60	716

※別途ドーンセンター情報ライブラリー資料貸出冊数：51冊

(2) 情報紙「東大阪市立男女共同参画センターだより イコーラム」発行

- ①発行回数 年3回：8月、11月、3月
- ②発行部数 各2,500部
- ③内容等

No.	発行	内容
No. 30	8月	男女共同参画週間 記念のつどい、ひとことメッセージ入選作品、入選者にインタビュー、イコーラム利用者の声・登録団体イベント・講座のお知らせ、イコーラムこれからの予定
No. 31	11月	日本女性会議2013あなん、希来里ファミリーまつり、イコーラム利用者の声、登録団体のイベント・講座のお知らせ、イコーラムこれからの予定
No. 32	26年3月	イコーラムフェスタ2013、登録団体のイベント・講座のお知らせ、イコーラムのこれからの予定

- ④取材・編集・協力 男女共同参画センター事業推進委員会

(3) 情報紙「イコーラム情報資料室 図書つうしん」発行

①発行回数 年 4 回

②発行部数 200 部

③内容等

No.	発行月	内容
N0.09	平成 25 年 6 月	こころとカラダの健康を考えよう！
N0.10	平成 25 年 8 月	新着資料のご紹介
N0.11	平成 25 年 11 月	アサーションに関する図書
N0.12	平成 26 年 2 月	新着図書

5 東大阪市受託事業

登録団体支援

東大阪市内で活動する団体で、男女共同参画社会の形成の促進を図ることを目的の一つとして掲げている団体に対し、その活動の推進を図るための支援を行う。

(1) 支援の内容

ホール・ギャラリーは使用日の7ヶ月前の属する月の1日から、研修室・学習室は使用日の4ヶ月前の属する月の1日から申込みを受付けた。

(2) 登録団体の名称及び活動内容

	登 録 名	活 動 内 容
1	ココロほぐしの種まきサークル	墨遊びや筆遊びを通じ自分を見つめるなど、女性がエンパワーするための生涯学習を行い、男女共同参画社会の推進をめざしている。
2	手話教室 おててくらぶ	聴覚障害者とのコミュニケーションや会話ができるように、テキストを中心に日常会話などの手話の勉強をし、習得した手話を用いて男女共同参画社会の実現に向けた地域社会での社会貢献をめざしている。
3	H o b b y R o o m 縁 (ホビールーム エニシ)	絵画などを学びながら、男女共同参画社会への関心を深め、多様な生き方の気づきを得ることをめざしている。
4	特定非営利活動法人 東大阪日本語教室	男女共同参画の視点を持ちながら、東大阪市周辺に住んでいる外国人と市民が日本語学習の場を通じて支援を行い、また交流を深めている。
5	共生社会 プロジェクトWe (ウィ)	ジェンダーに敏感な視点で社会を見つめ直し、男女共同参画社会を推進するための調査、研究等の活動を行っている。
6	ふれあいおもちゃリサイクルの会	おもちゃの再利用や無料修理などを通じて、物を大切にすることを育み地域における子育て支援を行うことにより、男女共同参画社会の実現をめざしている。
7	社会資源開発研究会	高齢者・障がい者(児)への自立支援と介護の社会的支援に関わることで介護の社会化の促進と家庭・地域における男女共同参画の促進の実現を基本に活動している。
8	マカロン	男女共同参画の視点に立って、ジェンダーにとらわれない子育てをテーマに、子育てを通じて自身のジェンダー意識を問い直す活動を行っている。
9	《 I 愛 YOU 》 (アイ アイ ユー)	My新聞づくりを通して、生き活きとした男女共同参画社会をつくるための活動を行っている。
10	特定非営利活動法人 東大阪エイフボランティアネットワーク	健康で明るく住みよい地域社会の実現をめざして、女性の組織力を結集して地域の連帯を高めると共に、種々の広報活動、講演会を行い、女性の人権に対する理解を深め、地域社会の福祉の増進を図るなど広く公益に貢献している。

11	翔クラブ	男女共同参画社会に向け、肩書、立場にとらわれず、男女が共に地域で自由にコミュニケーションを図りながら、様々な生き方、考え方を学んでいる。
12	E I C (イーアイシー)	パソコンの技術習得と講師としての資質を高めるよう研鑽し、男女共同参画社会の推進に向けて活かしていく。
13	チャイルドラインひがしおおさか	「チャイルドライン」等の活動を通して、「子どもの権利」擁護活動と啓発活動を行うことにより、男女共同参画社会を推進している。
14	東大阪地区更生保護女性会	犯罪や非行のない明るい社会をめざし、立ち直り支援等の活動、また、子育て支援にかかわる地域活動を行い、次世代の健全育成に努め、男女共同参画社会の推進をめざしている。
15	くれよん	未就学児の子ども、親子を対象に子育て支援活動を行い、男女共同参画社会の実現をめざしている。
16	NPO 法人 シスターフッド 大阪	DVなど暴力被害女性の支援活動を中心に男女平等、女性の自立など幅広い活動を行っている。
17	希来里P Cクラブ	パソコンの技術習得を図る活動を通して得た情報や人とのつながりをよりよい男女共同参画社会の推進に向けて活かしている。
18	佐藤一正絵画教室	男女を問わず絵画を学ぶことで、自己表現の楽しさを見出すと共に技量・表現のスキルアップをめざしている。また、絵画を通して、自由な発想を得、自己啓発、社会参加の機会を持つ等、男女共同参画社会について考えるきっかけづくりをしている。
19	大阪コリアン音楽交流会	音楽を通じ男女共に活動することで、地域の文化交流の活動を行い、人権の尊重を学ぶネットワークづくりを推進している。
20	カラフル	男女共同参画社会をめざし、子育てや家族のことなど、女性ならではの悩みや日々感じることを分かち合い、エンパワメントする場として、活動を行っている。
21	ボランティアサークル老大東部フレンド	高齢者のための福祉を目的とした活動を中心に、男女共同参画推進のため男性の意識改革を中心に進めている。
22	親子のホッとスペース ひまわり	男女共同参画社会を実現するため、子どもも親もありのままの自分を受け入れ、自己成長できる社会の実現をめざし、活動を行っている。
23	ちづさん絵手紙 in イコーラム	毎月 2 回、絵手紙を学びながら、この教室が男女が共に対等に社会参加の実現に向けて集えるような場となることをめざしている。

※登録順

6 東大阪市受託事業

イコーラム相談事業

【事業概要】

(1) 目的 イコーラムでは男女共同参画社会をめざして、ドメスティック・バイオレンス（夫・恋人からの暴力）をはじめ女性が抱えるさまざまな問題について女性による女性のための相談窓口を設置。

また、男性が抱えるさまざまな悩みについて男性が応じる男性のための相談窓口も設置。

(2) 相談窓口（相談はすべて無料、秘密厳守）

＜女性のための相談＞

①電話相談 匿名で相談ができる。女性相談員と一緒に考えサポートする。

火曜日～日曜日 10:00～17:00

TEL 072-960-9206

②面接相談 要予約 火曜日～日曜日 10:00～17:00

TEL 072-960-9205

心理面接相談 専門の女性相談員が自立へのサポートを行う。

火・木・土曜日 10:00～12:00 13:00～16:00

第4火曜日 10:00～12:00 13:00～16:00

18:00～20:00（第5週の相談はない）

1人1回 50分

法律相談 法律上の問題に関して女性弁護士が相談を受ける。

毎月 原則第1水曜日 13:00～16:00

1人1回 30分（予約は相談日の2週間前から受付）

労働相談 労働の問題に関して女性の社会保険労務士が相談を受ける。

毎月 原則第2土曜日 13:30～16:20

1人1回 50分

多言語相談 日常生活の慣習、労働、人間関係などについて女性相談員が外国語（英語／中国語／韓国語・朝鮮語）の女性通訳をつけて相談に応じる。

（※日本語が話せない方の予約受付は

火曜日～金曜日 10:00～17:00

TEL 06-4309-3311 国際情報プラザ(市役所内)

火曜日～日曜日 10:00～17:00

1日1人 最長3時間まで

※面接相談については一時保育（1歳6ヶ月～就学前幼児）が利用できる（有料）。

＜男性のための相談＞

①電話相談 匿名で相談ができる。男性相談員と一緒に考えサポートする。

毎月第1土曜日 13:00～17:00

第3水曜日 19:00～21:00

TEL 072-966-5002

【事業内容・実績】

<女性のための相談>

(1) 相談業務の実績

平成25年度（4月～翌3月）の相談総件数は1,950件（電話相談1,311件、面接相談639件）

<月別電話相談件数>

(単位: 件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25年度	95	77	109	123	125	130	118	135	92	91	121	95	1,311
H24年度	106	95	120	111	144	141	106	111	145	124	92	144	1,439

<月別面接相談件数>（面接相談：心理面接相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

(単位: 件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25年度	52	55	62	58	62	48	49	57	46	43	55	52	639
H24年度	56	56	56	57	59	56	52	54	50	44	52	53	678

①相談窓口別集計

相談窓口別	H25年度(件)	%
電話相談	1,311	67.2
心理面接相談	557	28.6
法律相談	66	3.4
労働相談	16	0.8
多言語相談	0	0.0
計	1,950	100

②主訴別集計（面接相談：心理相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

	H25年度					
	電話相談		面接相談		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%
生き方	68	5.2	51	8.0	119	6.1
こころ	397	30.3	64	10.0	461	23.6
からだ	7	0.5	7	1.1	14	0.7
仕事上の問題	31	2.4	40	6.2	71	3.6
夫婦関係	248	18.9	212	33.2	460	23.6
親子関係	183	14.0	117	18.3	300	15.4
人間関係	158	12.1	72	11.3	230	11.8
性・性的被害	9	0.7	0	0.0	9	0.5
暮らし	78	5.9	4	0.6	82	4.2
法律	21	1.6	72	11.3	93	4.8
その他	111	8.4	0	0.0	111	5.7
計	1,311	100.0	639	100.0	1,950	100.0

③主訴別のうち「夫婦関係」内訳集計 （面接相談：心理相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

	H25 年度					
	電話相談		面接相談		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%
性格、生活上の不和・不満	17	6.9	77	36.3	94	20.4
別居、離婚	70	28.2	45	21.2	115	25.0
性的問題	0	0.0	1	0.5	1	0.2
暴力	141	56.9	76	35.9	217	47.2
家出、蒸発	0	0.0	0	0.0	0	0
婚外関係	5	2.0	1	0.5	6	1.3
経済的不安、金銭問題	9	3.6	9	4.2	18	3.9
その他	6	2.4	3	1.4	9	2.0
計	248	100.0	212	100.0	460	100.0

④相談者年代別集計 （面接相談：心理相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

	H25 年度			
	電話相談		面接相談	
	件数	%	件数	%
10 代以下	9	0.7	10	1.6
20 代	21	1.6	48	7.5
30 代	150	11.4	144	22.5
40 代	463	35.3	170	26.6
50 代	183	14.0	141	22.1
60 代	73	5.6	86	13.5
70 代以上	80	6.1	39	6.1
不明	332	25.3	1	0.2
計	1,311	100.0	639	100.0

⑤相談における対応別集計 （面接相談：心理相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

	H25 年度			
	電話相談		面接相談	
	件数	%	件数	%
継続	0	0.0	508	78.3
傾聴	944	72.0	20	3.1
助言	156	11.9	92	14.4
機関紹介	211	16.1	27	4.2
計	1,311	100.0	655	100.0

(2) DV相談の実績

<年間相談件数>

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
総相談件数	1,311	577	66	16	0	1,950
うちDV相談(件)	228	224	34	0	0	486
DVの占める割合(%)	17.4	40.2	51.5	0.0	0.0	24.9

<月別相談件数>

(単位: 件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
4月	21	18	0	0	0	39
5月	17	19	4	0	0	40
6月	16	26	1	0	0	43
7月	23	19	3	0	0	45
8月	19	22	7	0	0	48
9月	18	17	4	0	0	39
10月	16	21	3	0	0	40
11月	27	16	4	0	0	47
12月	14	13	2	0	0	29
1月	17	15	1	0	0	33
2月	25	22	4	0	0	51
3月	15	16	1	0	0	32
計	228	224	34	0	0	486

①DV加害者の内訳

(単位: 件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
夫	214	197	31	0	0	442
内夫	5	2	1	0	0	8
元夫	9	25	2	0	0	36
恋人	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
計	228	224	34	0	0	486

②DV被害者の年齢

(単位: 件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
10代以下	0	0	0	0	0	0
20代	5	13	2	0	0	20
30代	49	61	7	0	0	117
40代	72	48	10	0	0	130
50代	36	47	6	0	0	89
60代	21	34	7	0	0	62
70代以上	12	21	2	0	0	35
不明	33	0	0	0	0	33
計	228	224	34	0	0	486

③DVの種類

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
身体的	45	20	8	0	0	73
精神的	169	182	25	0	0	376
性的	3	6	1	0	0	10
経済的	11	16	0	0	0	27
社会的	0	0	0	0	0	0
計	228	224	34	0	0	486

④DV相談経路

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
センター広報	20	14	6	0	0	40
市政だより	42	6	17	0	0	65
福祉事務所	1	0	0	0	0	1
保健センター	0	1	0	0	0	1
知人友人	4	2	2	0	0	8
電話相談	0	7	3	0	0	10
大阪府女性相談センター	1	1	2	0	0	4
警察	8	1	1	0	0	10
他機関	12	3	0	0	0	15
その他	6	5	2	0	0	13
不明	28	13	0	0	0	41
再相談	106	171	1	0	0	278
計	228	224	34	0	0	486

⑤DV相談対応状況

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
相談継続	0	187	0	0	0	187
傾聴・助言	150	18	33	0	0	201
機関紹介	78	19	1	0	0	98
法律	2	2	0	0	0	4
福祉事務所	8	3	0	0	0	11
保健センター	0	0	0	0	0	0
家庭裁判所	1	2	1	0	0	4
警察	5	0	0	0	0	5
大阪府女性相談センター	4	2	0	0	0	6
東大阪子ども家庭センター	3	2	0	0	0	5
イコーラム心理面接	27	0	0	0	0	27
イコーラム法律	13	8	0	0	0	21
イコーラム労働	0	0	0	0	0	0
イコーラム多言語	0	0	0	0	0	0
その他	15	0	0	0	0	15
計	228	224	34	0	0	486

(3) 暴力相談の実績

<年間相談件数>

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
総相談件数	1,311	557	66	16	0	1,950
うち暴力相談（件）	74	48	2	0	0	124
暴力の占める割合（%）	5.6	8.6	3.0	0.0	0.0	6.4

<月別相談件数>

（単位：件）

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
4月	8	5	0	0	0	13
5月	7	8	1	0	0	16
6月	8	4	0	0	0	12
7月	4	3	1	0	0	8
8月	14	5	0	0	0	19
9月	5	6	0	0	0	11
10月	11	1	0	0	0	12
11月	2	4	0	0	0	6
12月	5	2	0	0	0	7
1月	4	3	0	0	0	7
2月	4	2	0	0	0	6
3月	2	5	0	0	0	7
計	74	48	2	0	0	124

①暴力加害者の内訳

（単位：件）

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
夫	0	0	0	0	0	0
内夫	0	0	0	0	0	0
元夫	0	0	0	0	0	0
恋人	14	6	1	0	0	21
その他	60	42	1	0	0	103
計	74	48	2	0	0	124

②暴力被害者の年齢

（単位：件）

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
10代以下	8	3	1	0	0	12
20代	9	3	1	0	0	13
30代	8	14	0	0	0	22
40代	10	4	0	0	0	14
50代	18	12	0	0	0	30
60代	4	12	0	0	0	16
70代以上	2	0	0	0	0	2
不明	15	0	0	0	0	15
計	74	48	2	0	0	124

③暴力の種類

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
身体的	16	11	2	0	0	29
精神的	51	37	0	0	0	88
性的	4	0	0	0	0	4
経済的	1	0	0	0	0	31
社会的	2	0	0	0	0	2
計	74	48	2	0	0	124

④暴力相談経路

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
センター広報	7	1	0	0	0	8
市政だより	18	0	0	0	0	18
福祉事務所	1	1	0	0	0	2
保健センター	0	1	0	0	0	1
知人友人	2	1	1	0	0	4
電話相談	0	2	0	0	0	2
大阪府女性相談センター	0	0	0	0	0	0
警察	1	0	0	0	0	1
他機関	5	0	0	0	0	5
その他	1	2	1	0	0	4
不明	15	1	0	0	0	16
再相談	24	39	0	0	0	63
計	74	48	2	0	0	124

⑤暴力相談対応状況

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
相談継続	0	43	0	0	0	43
傾聴・助言	48	4	2	0	0	54
機関紹介	26	1	0	0	0	27
法律	1	0	0	0	0	1
福祉事務所	5	0	0	0	0	5
保健センター	1	0	0	0	0	1
家庭裁判所	0	0	0	0	0	0
警察	3	0	0	0	0	3
大阪府女性相談センター	0	0	0	0	0	0
東大阪子ども家庭センター	1	0	0	0	0	1
イコーラム心理面接	2	0	0	0	0	2
イコーラム法律	3	0	0	0	0	3
イコーラム労働	3	0	0	0	0	3
イコーラム多言語	0	0	0	0	0	0
その他	7	1	0	0	0	8
計	74	48	2	0	0	124

<男性のための相談>

(1) 相談業務の実績

平成25年度(4月～翌3月)の相談総件数は19件(電話相談)

<月別相談件数>

(単位:件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24年度	2	1	2	3	1	2	1	1	1	0	2	3	19

①相談窓口別集計

相談窓口別	H25年度(件)
男性電話相談	19

②主訴別集計

	H25年度	
	電話相談	
	件数	%
生き方	0	0.0
こころ	1	5.3
からだ	1	5.3
仕事上の問題	1	5.3
夫婦関係	7	36.7
親子関係	4	21.0
人間関係	2	10.5
性・性的被害	1	5.3
暮らし	1	5.3
法律	1	5.3
その他	0	0.0
計	19	100.0

③主訴別のうち「夫婦関係」内訳集計

	H25年度	
	電話相談	
	件数	%
性格、生活上の不和・不満	0	0.0
別居、離婚	4	57.1
性的問題	0	0.0
暴力	1	14.3
家出、蒸発	1	14.3
婚外関係	0	0.0
経済的不安、金銭問題	1	14.3
その他	0	0.0
計	7	100.0

④相談者年代別集計

	H25年度	
	電話相談	
	件数	%
10代以下	0	0.0
20代	1	5.3
30代	5	26.3
40代	5	26.3
50代	3	15.8
60代	2	10.5
70代以上	3	15.8
不明	0	0.0
計	19	100.0

④相談における対応別集計

	H25年度	
	電話相談	
	件数	%
傾聴	14	73.7
助言	3	15.8
機関紹介	2	10.5
計	19	100.0

(2) DV相談の実績

<年間相談件数>

	電話
総相談件数	19
うちDV相談(件)	4
DVの占める割合(%)	21.0

<月別相談件数> (単位: 件)

	電話
4月	0
5月	1
6月	1
7月	2
8月	0
9月	0
10月	0
11月	0
12月	0
1月	0
2月	0
3月	0
計	4

①DV被害者の内訳 (単位: 件)

	電話
妻	2
内妻	0
元妻	0
恋人	0
その他(本人)	2
計	4

②DV被害者の年齢 (単位: 件)

	電話
10代以下	0
20代	0
30代	0
40代	3
50代	0
60代	1
70代以上	0
不明	0
計	4

③DVの種類 (単位: 件)

	電話
身体的	1
精神的	3
性的	0
経済的	0
社会的	0
計	4

④DV相談経路 (単位: 件)

	電話
センター広報	0
市政だより	1
福祉事務所	0
保健センター	0
知人友人	0
電話相談	0
大阪府女性相談センター	0
警察	0
他機関	1
その他	0
不明	2
再相談	0
計	4

⑤DV相談対応状況 (単位: 件)

	電話
傾聴	4
助言	0
機関紹介	0
法律	0
福祉事務所	0
保健センター	0
家庭裁判所	0
警察	0
大阪府女性相談センター	0
東大阪子ども家庭センター	0
その他	0
計	4

(3) 暴力相談の実績

＜年間相談件数＞

	電話
総相談件数	19
うち暴力相談（件）	1
暴力の占める割合（％）	5.3

＜月別相談件数＞（単位：件）

	電話
4月	0
5月	0
6月	0
7月	0
8月	0
9月	0
10月	0
11月	0
12月	0
1月	0
2月	0
3月	1
計	1

①暴力加害者の内訳（単位：件）

	電話
妻	0
内妻	0
元妻	0
恋人	1
その他（本人）	0
計	1

②暴力被害者の年齢（単位：件）

	電話
10代以下	0
20代	0
30代	1
40代	0
50代	0
60代	0
70代以上	0
不明	0
計	1

③暴力の種類（単位：件）

	電話
身体的	0
精神的	1
性的	0
経済的	0
社会的	0
計	1

④暴力相談経路（単位：件）

	電話
センター広報	0
市政だより	1
福祉事務所	0
保健センター	0
知人友人	0
電話相談	0
大阪府女性相談センター	0
警察	0
他機関	0
その他	0
不明	0
再相談	0
計	1

⑤暴力相談対応状況（単位：件）

	電話
傾聴	0
助言	1
機関紹介	0
法律	0
福祉事務所	0
保健センター	0
家庭裁判所	0
警察	0
大阪府女性相談センター	0
東大阪子ども家庭センター	0
その他	0
計	1

§ 6 平成25年度 事業実施一覽

公益目的事業

事業区分	連携・協働相手	事業名称	規模等	実施場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 相談員育成事業		1 相談担当者のためのグループ・スーパーバージョン	シリーズ2回	トーンセンター								22	12.19	16.30	6	
		2 2013フェミニストカウンセリング専門講座	理論・8コマ 研究・1コース	トーンセンター								3.9.16	1	18.25		
2 相談事業		1 DV被害・性暴力被害に悩む女性のための法律相談	6回	トーンセンター							17	21	19	16	20	20
		2 DV被害者のためのサポート・グループ	6回	トーンセンター							8	12	3	21	18	18

一般事業

事業区分	連携・協働相手	事業名称	規模等	実施場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 大阪府男女共同参画推進事業	大阪府(府民文化部)受託事業	1 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業 (トーンセンター情報ライブラリーの運営)	火～土	トーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 女性の抱える問題に関する相談事業 (カウンセラールーム運営/大阪府内ブロック会議・カウンセラー派遣)	火～日	トーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3 男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業 (市町村行政職員等研修/学校関係者研修/企業研修 他)	9講座	トーンセンター		23.30	6.20.27		23	27		27		26	9.21	
		1 はなみずき塾 II	5回	トーンセンター		25		27		28				25		15
2 女性の能力開発・ネットワーク事業	在日米商工会議所(AOCC)関西支部助成事業、はなみずき基金事業	2 はなみずき塾・ポッドキャストプロジェクト	第31～35回分 配信	財団HP						22	22	24		25	25	
		3 はなみずき塾：心理学ワークショップ編	5コマ×2回	トーンセンター		11	8	13		14	12	9	14	11	8	8
		4 シングルマザーのためのはなみずきセミナー	4コマ	トーンセンター			1			7		2			1	
		5 はなみずきソシア	1回	外部								10				
		6 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練 (デジタル・アップ・アクション展開事業 (定例勉強会/公開勉強会))	2ヶ月×55～ス 定例:3コマ 公開:1回	トーンセンター							3		6		6	
3 文化表現事業	厚生労働省受託事業	1 トーン・ジネマクラブ	第47回	トーンセンター		28										
		1 はなみずきスタディツアー(海外)「アメリカのNGOに学ぶ」	7日間	外部						2～8						
4 国際協力事業	関西アメリカン・センター共催事業	2 講演会「最高のリーダーシップ 女性のより一層の活躍を目指して！」	1回	トーンセンター												
		3 講演会「女性宇宙飛行士が語る～無限大の可能性～」	1回	トーンセンター												
		4 講演会「女性人権」の井戸を掘り続けて～韓国女性ボランティアの活動がめざすところ～」	1回	トーンセンター												
		1 大阪府不妊専門相談センター事業 (電話相談/サポートグループ/セミナー/HP運営 他)	電話通1回 サポート 他 2週間程度	トーンセンター コールラム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5 女性の健康支援事業	自主事業	1 夏期インターンシップ・プログラム	随時	トーンセンター						5		11/27～12/14				
		2 研修・実習・職場体験等の受入れ	随時	トーンセンター						24.25.27						
		3 近畿大学キャリアサポートセミナー	6コマ	トーンセンター		13	10	8			21	11	2			
6 次世代育成事業	近畿大学受託事業	1 「ウイメン・バイオニアズ」DVD&ブックレット販売	随時	オアシスアソシエ 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 海外女性監督トキメタリ―作品等の収集・加工・販売	随時	オアシスアソシエ 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3 オリジナルビデオ&DVD、ハンドブック等の販売	随時	オアシスアソシエ 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般事業

事業区分	連携・協働相手	事業名称	規模等	実施場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
8 講師派遣・アウトリーチ		1 講師派遣・委員等応援・大学の講義受託	随時	外部			13	10.11.12	1.8.21	1.8.12	10.24.25	14.19.22 27	12.16	14.20.21	17.19.26	5.8.12 15.19.22
		2 三重県伊賀市クローバー・カレッジⅢ「女性リーダー養成講座」	8コマ	外部					2	6	4	1.29	13	10	7	
		3 県大津市男女共同参画セミナー「にんじんカレッジ 初級編」	4コマ	外部			20.27	4.11								
9 NPO・市民活動支援事業 (共催事業)		1 「わたしの政経塾Ⅳ」	12回	ドンセンター	20	18	15	20	17	21	19	16	14	18	15	15
		2 避難女性のピア・サポートグループ	6月～3月	ドンセンター												
		3 映画「レオニー」の上映と松井久子監督トークの集い	1回	ドンセンター						19						
		4 セクシュアル・マイノリティの医療・福祉現場でのサポートを考える講座	1回	ドンセンター						30						
		6 心のサポート・ステーション10周年記念イベント 女性の人生と「女縁」のチカラ	1回	ドンセンター												9
		7 【仕事と子育て】面立応援セミナー&カウンセリング	1回	ドンセンター							26					29
		1 ピンクリボンチャリティフェスティバル2013 in 大阪	1回	ドンセンター							26					
		1 女性に対する暴力被害者支援のための警官・官民連携促進ワークショップ	5地域	ドンセンター 他					1.26.2 7	26	3.4.17.1 8.31	1.17				
		2 性犯罪被害者支援に関する地方公共団体の男女共同参画部門における地域連携のあり方に関する調査研究	5回	ドンセンター 他						○	○	○	○	○	○	○
		3 性犯罪被害者支援体制整備促進事業	2地域	ドンセンター 他												
10 女性に対する暴力対策事業		1 東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業	通年	東北3県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 東北女性の仕事・物産展・物産品の販売	2日間他	ドンセンター 他			8.9									
12 ドーンセンター指定管理事業		1 指定管理事業	通年	ドンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 一時保育事業	木曜	ドンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13 東大阪市長男女共同参画センター指定管理事業		1 施設管理業務	通年	コ－ラム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 (各種講座/コ－ラム/フェスタ/出張講座/情報/相談事業他)	通年	コ－ラム 外部	25	19	6.13.15. 27.29	4.8.20. 21.24.28	8.18.22. 23.28.29		8.26	4.9.15. 16.23	7.8.10. 13.14.21	17.18.28. 30	6.13.20. 22.23.25	1.8.14. 15.28

法人運営

事業区分	連携・協働相手	事業名称	規模等	実施場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 財団の運営		1 理事会	第6～9回	ドンセンター		21				25					18	12
		2 評議員会	第4～6回	ドンセンター			12				23					25
		3 プロジェクト2013	随時	ドンセンター 他												
		4 職員研修の実施	理論:9回 実務:3回	ドンセンター 他		23.30	6.20.25. 26.27.29	9～ 11.27		2～8.10	2	10				
2 広報・PR		1 ホームページの運営 (財団ブログ/SNS(Twitter)含む)	通年	財団HP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 ニュースレターの発行	年3回	ドンセンター			○					○				○
		3 賛助会・サポーター制度運営	通年	ドンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		4 視察の受入れ	随時	ドンセンター		17		27		5.21		28				

§ 7 平成25年度 決算

貸借対照表

平成26年03月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	527,205	508,020	19,185
普通預金	4,011,097	3,407,763	603,334
郵便振替	381,417	299,019	82,398
未収金	67,835,481	51,359,762	16,475,719
前払金	927,467	845,560	81,907
仮払金	149,575	0	149,575
立替金	7,953,443	12,556,869	△4,603,426
定期預金	0	30,000,000	△30,000,000
流動資産合計	81,785,685	98,976,993	△17,191,308
2. 固定資産			
(1) 基本財産	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産	10,320,180	7,910,257	2,409,923
(3) その他の固定資産	953,505	2,224,845	△1,271,340
固定資産合計	111,273,685	110,135,102	1,138,583
資産合計	193,059,370	209,112,095	△16,052,725
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	11,684,207	19,062,916	△7,378,709
前受金	581,000	938,000	△357,000
預り金	2,332,743	3,707,330	△1,374,587
リース債務	953,505	1,271,340	△317,835
流動負債合計	15,551,455	24,979,586	△9,428,131
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,644,688	2,115,250	1,529,438
リース債務	0	953,505	△953,505
固定負債合計	3,644,688	3,068,755	575,933
負債合計	19,196,143	28,048,341	△8,852,198
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	100,000,000	100,000,000	0
大阪府寄附金	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	73,863,227	81,063,754	△7,200,527
(うち特定資産への充当額)	(10,320,180)	(7,910,257)	(2,409,923)
正味財産合計	173,863,227	181,063,754	△7,200,527
負債及び正味財産合計	193,059,370	209,112,095	△16,052,725

正味財産増減計算書

平成25年04月01日 から 平成26年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	800,000	706,818	93,182
基本財産運用益	800,000	706,818	93,182
受取会費	690,000	643,000	47,000
受取会費	690,000	643,000	47,000
事業収益	7,215,583	7,957,927	△742,344
事業収益	7,215,583	7,957,927	△742,344
受託金収益	166,802,217	178,944,703	△12,142,486
受託金収益	166,802,217	178,944,703	△12,142,486
受取助成金	950,000	600,000	350,000
受取助成金	950,000	600,000	350,000
負担金収益	30,000,000	27,600,000	2,400,000
負担金収益	30,000,000	27,600,000	2,400,000
受取寄附金	16,745	5,030,131	△5,013,386
受取寄付金	16,745	5,030,131	△5,013,386
雑収益	271,997	489,304	△217,307
雑収益	244,642	403,158	△158,516
受取利息	27,355	86,146	△58,791
受取分配金	1,629,604	974,738	654,866
受取分配金	1,629,604	974,738	654,866
経常収益計	208,376,146	222,946,621	△14,570,475
(2) 経常費用			
事業費	191,890,375	190,858,114	1,032,261
給料	60,907,159	57,236,870	3,670,289
職員手当	16,620,394	18,000,677	△1,380,283
福利厚生費	12,725,125	12,885,130	△160,005
賃金	17,103,867	18,616,071	△1,512,204
報償費	6,513,811	6,091,202	422,609
旅費	4,356,378	3,486,745	869,633
通信運搬費	2,670,842	3,034,698	△363,856
消耗什器備品費	1,459,416	1,480,124	△20,708
消耗品費	8,242,617	9,462,623	△1,220,006
修繕費	535,900	763,560	△227,660
光熱水料費	5,999,221	4,689,093	1,310,128
使用料・賃借料	4,744,320	8,434,763	△3,690,443
交際費	48,153	69,970	△21,817
保険料	440,790	486,308	△45,518
委託料	43,711,032	45,867,030	△2,155,998
支払負担金・補助金	171,800	124,800	47,000
広告宣伝費	78,750	120,750	△42,000
租税公課	5,560,800	7,700	5,553,100

正味財産増減計算書

平成25年04月01日 から 平成26年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費	23,616,298	23,059,370	556,928
役員報酬	4,729,100	4,107,150	621,950
給料	1,625,859	2,697,025	△1,071,166
職員手当	443,665	848,199	△404,534
福利厚生費	339,685	607,153	△267,468
賃金	272,196	548,720	△276,524
退職給付費用	2,229,438	2,115,250	114,188
報償費	164,548	132,285	32,263
旅費	348,450	559,230	△210,780
通信運搬費	752,830	694,374	58,456
減価償却費	1,271,340	1,271,340	0
消耗品費	1,322,234	1,680,602	△358,368
使用料・賃借料	3,468,007	476,065	2,991,942
交際費	28,263	0	28,263
保険料	122,250	0	122,250
委託料	5,677,004	546,457	5,130,547
支払負担金・補助金	90,040	100,100	△10,060
租税公課	251,765	6,213,350	△5,961,585
雑費	479,624	462,070	17,554
経常費用計	215,506,673	213,917,484	1,589,189
当期経常増減額	△7,130,527	9,029,137	△16,159,664
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△7,130,527	9,029,137	△16,159,664
法人税、住民税及び事業税	70,000	795,854	△725,854
当期一般正味財産増減額	△7,200,527	8,233,283	△15,433,810
一般正味財産期首残高	81,063,754	72,830,471	8,233,283
一般正味財産期末残高	73,863,227	81,063,754	△7,200,527
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	173,863,227	181,063,754	△7,200,527

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

① 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券については、移動平均法による原価法を採用している。

② 固定資産の減価償却について

リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存期間を零とする定額法によっている。

③ 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき、当期において発生していると認められる額を計上している。

④ 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	2,115,250	2,229,438	700,000	3,644,688
施設運営積立預金	2,474,347	879,946	0	3,354,293
はなみずき基金預金	3,320,660	539	0	3,321,199
小計	7,910,257	3,109,923	700,000	10,320,180
合計	107,910,257	3,109,923	700,000	110,320,180

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
有価証券	100,000,000	100,000,000	0	0
小計	100,000,000	100,000,000	0	0
特定資産				
施設運営積立預金	3,354,293	0	3,354,293	0
はなみずき基金預金	3,321,199	0	3,321,199	0
退職給付引当資産	3,644,688	0	0	3,644,688
小計	10,320,180	0	6,675,492	3,644,688
合計	110,320,180	100,000,000	6,675,492	3,644,688

4 担保に供している資産

該当なし

5 固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	6,356,700	5,403,195	953,505
合 計	6,356,700	5,403,195	953,505

6 保証債務等の偶発債務

該当なし

7 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
利付国債	100,000,000	102,310,000	2,310,000
合 計	100,000,000	102,310,000	2,310,000

8 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
事業助成金	在日米国商工会議所	0	700,000	700,000	0	—
事業助成金	日本コミュニティ財団	0	250,000	250,000	0	—
合 計		0	950,000	950,000	0	

9 指定正味財産から一般正味財産への振替え額の内訳

該当なし

10 関連当事者との取引の内容

該当なし

11 リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

ネットワークシステム一式

12 退職給付関係

① 採用している退職給付制度の概要

退職一時金制度を設けている。

② 退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

退職給付債務	3,644,688
退職給付引当金	3,644,688

③ 退職給付費用に関する事項

(単位:円)

勤務費用	2,229,438
退職給付費用	2,229,438

④ 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

規程に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

附属明細書

1 基本財産および特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載している。

2 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,115,250	2,229,438	700,000	0	3,644,688

収支計算書

平成25年04月01日 から 平成26年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
1 基本財産運用収入				
基本財産運用収入	800,000	800,000	0	
2 会費収入				
会費収入	550,000	690,000	△140,000	
3 事業収入				
事業収入	10,650,000	7,215,583	3,434,417	
4 受託金収入				
受託金収入	169,922,000	166,802,217	3,119,783	
5 助成金収入				
助成金収入	700,000	950,000	△250,000	
6 負担金収入				
負担金収入	30,000,000	30,000,000	0	
7 寄附金収入				
寄付金収入	20,000	16,745	3,255	
8 雑収入				
受取利息	80,000	27,355	52,645	
雑収入	100,000	244,642	△144,642	
9 分配金収入				
分配金収入	0	1,629,604	△1,629,604	
事業活動収入計	212,822,000	208,376,146	4,445,854	
2 事業活動支出				
1 事業費支出				
給料支出	0	60,907,159	△60,907,159	
職員手当支出	0	16,620,394	△16,620,394	
福利厚生費支出	0	12,725,125	△12,725,125	
賃金支出	7,300,000	17,103,867	△9,803,867	
報償費支出	8,925,000	6,513,811	2,411,189	
旅費支出	5,507,000	4,356,378	1,150,622	
通信運搬費支出	3,243,000	2,670,842	572,158	
消耗什器備品費支出	1,670,000	1,459,416	210,584	
消耗品費支出	8,918,000	8,242,617	675,383	
修繕費支出	800,000	535,900	264,100	
光熱水料費支出	6,200,000	5,999,221	200,779	
使用料・賃借料支出	5,842,000	4,744,320	1,097,680	
交際費支出	228,000	48,153	179,847	
保険料支出	470,000	440,790	29,210	
委託料支出	47,103,000	43,711,032	3,391,968	
負担金・補助金支出	286,000	171,800	114,200	
広告宣伝費支出	100,000	78,750	21,250	
租税公課費支出	0	5,560,800	△5,560,800	

収支計算書

平成25年04月01日 から 平成26年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
2 管理費支出				
役員報酬支出	4,800,000	4,729,100	70,900	
給料支出	62,600,000	1,625,859	60,974,141	
職員手当支出	17,100,000	443,665	16,656,335	
福利厚生費支出	13,100,000	339,685	12,760,315	
賃金支出	10,900,000	272,196	10,627,804	
退職給付支出	700,000	700,000	0	
報償費支出	200,000	164,548	35,452	
旅費支出	950,000	348,450	601,550	
通信運搬費支出	900,000	752,830	147,170	
消耗品費支出	1,400,000	1,322,234	77,766	
修繕費支出	25,000	0	25,000	
光熱水料費支出	5,000	0	5,000	
使用料・賃借料支出	3,800,000	3,468,007	331,993	
交際費支出	75,000	28,263	46,737	
保険料支出	150,000	122,250	27,750	
委託料支出	6,000,000	5,677,004	322,996	
負担金・補助金支出	120,000	90,040	29,960	
リース債務支出	1,280,000	1,271,340	8,660	
租税公課支出	6,000,000	321,765	5,678,235	
雑支出	700,000	479,624	220,376	
事業活動支出計	227,397,000	214,047,235	13,349,765	
事業活動収支差額	△14,575,000	△5,671,089	△8,903,911	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
1 特定預金取崩収入				
退職給与引当資産取崩収入				
退職給与引当資産取崩収入	380,000	700,000	△320,000	
投資活動収入計	380,000	700,000	△320,000	
2 投資活動支出				
1 特定預金支出				
退職給付引当資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	1,910,000	2,229,438	△319,438	
施設運営積立預金支出				
施設運営積立預金支出	880,000	879,946	54	
はなみずき基金預金支出				
はなみずき基金預金支出	0	539	△539	
投資活動支出計	2,790,000	3,109,923	△319,923	
投資活動収支差額	△2,410,000	△2,409,923	△77	

収支計算書

平成25年04月01日 から 平成26年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
Ⅲ 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△16,985,000	△8,081,012	△8,903,988	
前期繰越収支差額	75,269,000	75,268,747	253	
次期繰越収支差額	58,284,000	67,187,735	△8,903,735	

参 考 資 料

設立趣意書

1975年の「国際婦人年」及びこれに続く「国連婦人の10年」を契機として、世界各国では、女性の地位向上や女性に対するあらゆる差別の撤廃に向けての取り組みが積極的に進められてきました。

我が国においても、男女雇用機会均等法の制定をはじめ国内関係法の整備を行い、「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」を批准するとともに、新国内行動計画を策定し、女性関係施策を推進しております。

大阪府においても第1期、第2期行動計画に続き、平成3年9月には第3期行動計画「女と男のジャンプ・プラン」を策定し、知事を本部長とする大阪府女性政策企画推進本部のもとに女性問題の解決を図るための施策を積極的に推進しております。

大阪が地球時代にふさわしく、人間と自然の調和を保ち、かつ文化の薫り高い国際都市へ発展していくためには、男女が共に人間として尊重され、性差にとらわれることなく、豊かな人間関係のなかで、人生のあらゆる段階で支えあうことのできる社会、即ち、男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加・参画に基づく男女協働社会を実現することが不可欠であります。

しかしながら、男女の固定的な役割分担意識はまだ根強く、男女の自立及びあらゆる分野への対等な参加・参画を不十分なものとしています。また、近年における高齢化、情報化、国際化等の急激な進展により、女性問題に係る新たな課題が生じてきております。

男女協働による真に豊かな社会を実現するためには、行政の力だけで達成できるものではなく、民間においても女性問題の解決に向けて社会的な気運の醸成を図るとともに、企業、民間団体さらには府民一人ひとりが知恵と創意を発揮して積極的な活動を展開することが重要です。

財団法人大阪府男女協働社会づくり財団は、そうした行政並びに府民、民間団体等が連携した多様な活動を効果的に推進するために中心的な役割を果たすとともに、男女の自立とあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進するため、情報の収集及び提供に関する事業、能力開発に関する事業、女性の抱える問題に関する相談事業、女性の交流の促進並びに文化及び表現活動の支援に関する事業、調査研究及び啓発学習に関する事業、女性の健康に関する事業及びドーンセンター（大阪府立女性総合センター）の管理運営を行うこと等により、男女協働社会の実現に寄与することを目的として設立するものであります。

平成6年4月1日

財団法人大阪府男女協働社会づくり財団

（平成15年4月1日 財団法人大阪府男女共同参画推進財団に名称変更）

（平成22年4月1日 財団自立化）

（平成24年4月1日 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団に移行、設立）

定 款

第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 この法人は、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団と称する。

(事務所)

第 2 条 この法人は、主たる事務所を大阪市に置く。

2 この法人は、理事会の決議によって、従たる事務所を必要な地に置くことができる。

第 2 章 目的及び事業

(目的)

第 3 条 この法人は、男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進する事業を行い、もって男女共同参画社会の実現に寄与することを目的とする。

(事業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 男女共同参画社会の実現に資する情報収集・提供及び調査研究事業
- (2) 男女共同参画社会の実現に資する啓発学習事業
- (3) 女性の抱える問題に関する相談事業
- (4) 女性の能力開発・ネットワーク事業
- (5) 女性に対する暴力対策等人材養成支援事業
- (6) 女性による文化表現活動支援事業
- (7) 女性の健康支援事業
- (8) 国際交流事業
- (9) 次世代育成事業
- (10) 女性関連施設における事業及び施設の管理運営に関する事業
- (11) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 上記事業の内、公益目的支出計画事業は大阪府において行うものとする。

第 3 章 資産及び会計

(基本財産)

第 5 条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な財産は、この法人の基本財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を得なければならない。

(事業年度)

第 6 条 この法人の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第 7 条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎事業年度開始の日の前日までに理事

長が作成し、理事会の決議を経て、評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間、備え置くものとする。

（事業報告及び決算）

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を得なければならない。

- (1) 事業報告書
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
- (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書

- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号の書類については、定時評議員に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

- 3 第1項の書類及び、監査報告を主たる事務所に5年間備え置くとともに、定款を主たる事務所に備え置くものとする。

第4章 評議員

（評議員の定数）

第9条 この法人に、評議員4名以上9名以内を置く。

（評議員の選任及び解任）

第10条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第173条から第199条の規定に従い、評議員会において行う。

- 2 評議員を選任する場合には、次の各号の要件のいずれにも該当しない者とする。

- (1) 法人
- (2) 成年被後見人若しくは被保佐人又は外国の法令上これらと同等に取り扱われている者
- (3) 一般法人若しくは会社法の規定に違反し、または民事再生法、外国倒産処理手続の援助に関する法律、会社更生法若しくは破産法に定める罪を犯し、刑を処せられ、その執行を終わり、またはその執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
- (4) 前項に規定する法律の規定以外の法令の規定に違反し、禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- (5) 当該法人又はその子法人の理事、監事又は使用人

（評議員の任期）

第11条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

- 3 評議員は、第9条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後

も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第12条 評議員は無報酬とする。ただし、評議員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

2 前項に関し必要な事項は、評議員会において別に定める。

第5章 評議員会

(構成)

第13条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第14条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任及び解任
- (2) 理事の報酬等の額
- (3) 評議員に対する費用の支給の基準
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第15条 評議員会は、定時評議員会として毎事業年度終了後3ヶ月以内に開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第16条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第17条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上にあたる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員等に対する費用の支給の基準

- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第21条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(決議の省略)

第18条 理事が、評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意志表示をしたときは、その提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第19条 理事が評議員の全員に対し、評議員会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を評議員会に報告することを要しないことについて、評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意志表示をしたときは、その事項の評議員会への報告があったものとみなす。

(議事録)

第20条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成する。

2 出席した評議員及び理事は、前項の議事録に記名押印する。

第6章 役員

(役員の設置)

第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 4名以上9名以内
- (2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を理事長とし、必要に応じて1名の常務理事を置くことができる。

3 前項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、理事会の決議を持って、他の理事から同法第91条第1項第2号の業務執行理事に選定することができる。

(役員の選任)

第22条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

3 役員の資格は第10条第1項第2号を適用する。

4 理事のうち、理事のいずれか1名とその配偶者又は3親等内の親族その他特別の関係にある理事の合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならない。監事についても同様とする。

5 他の同一の団体の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に綿密な関係にある者である理事の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても同様とする。

(理事の職務と権限)

第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款に定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、常務理事は、この法人の業務を分担執行する。

3 理事長及び常務理事は、4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況を調査することができる。

(役員の任期)

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員の解任)

第26条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員の報酬等)

第27条 理事及び監事は無報酬とする。ただし、理事長及び常務理事及び常勤の理事に対しては、評議員会において別に定める報酬等の支給基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 その他の役員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

3 前2項に関し必要な事項は、評議員会において別に定める。

(役員の実任の免除又は限定)

第28条 この法人は、理事及び監事の一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第198条において準用される第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として、免除することができる。

2 この法人は、外部役員との間で、前項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には賠償責任を限定する契約を、理事会の決議によって、締結することができる。ただし、その契約に基づく賠償責任の限度額は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第198条において準用される第113条第1項で定める最低責任限度額とする。

第7章 理事会

（構成）

第29条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

（権限）

第30条 理事会は、次の職務を行う。

- （1）この法人の業務執行の決定
- （2）理事の職務の執行の監督
- （3）理事長及び常務理事の選定及び解職

（開催）

第31条 理事会は、定時理事会として毎事業年度6月と3月に2回開催するほか、必要がある場合に臨時理事会を開催する。

（招集）

第32条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

（議長）

第33条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

2 理事長が欠けたとき、理事長に事故があるときは、理事の中から互選にて議長の職務を代行する者を選出する。

（決議）

第34条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

（決議の省略）

第35条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、決議に加わることのできる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意志表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなすものとする。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。

（報告の省略）

第36条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対し、理事会に報告すべき事項を通知した場合においては、その事項を理事会に報告することを要しない。

（議事録）

第37条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 当該理事会に出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第8章 事務局

（事務局の設置）

第38条 この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

2 事務局には事務局長及び必要な職員を置く。

3 職員は理事長が任免する。

第9章 定款の変更及び解散

（定款の変更）

第39条 この定款は、評議員会において、議決に加わることのできる評議員の3分の2以上の議決を経て変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条及び第4条及び第10条についても適用する。

（合併等）

第40条 この法人は、評議員会において、議決に加わることのできる評議員の3分の2以上の議決により、他の一般法人法上の法人との合併又は事業の全部間は他一部を譲渡することができる。

（解散）

第41条 この法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第202条に定める事由その他法令に定められた事由により解散する。

（残余財産の処分）

第42条 この法人が解散等により清算するとき有する残余財産は、評議員会の議決により、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条17号に掲げる法人又は国もしくは地方公共団体に贈与するものとする。

2 この法人は、剰余金の分配を行わない。

第10章 公告の方法

（公告の方法）

第43条 この法人の公告は、電子公告により行う。

附 則 （施行日など）

1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般法人の設立の登記日から施行する。

2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と一般法人の設立の登記を行った

ときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度開始日とする。

3 この法人の最初の理事長は、時岡禎一郎とする。

4 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

尼 川 洋 子

上 田 理恵子

高 田 昌 代

早 瀬 昇

松 尾 園 子

5 この定款は平成24年4月1日から施行する。

6 この定款は平成24年10月1日から施行する。

別表 資産

財産種別	場所物量等	
有価証券 (基本財産)	利付国債（時価）	50,760,000
	大阪府債（時価）	50,685,000
	定期預金	55,000

一般財団大阪府男女共同参画推進財団のあゆみ

平成6年度	4. 1	財団法人大阪府男女協働社会づくり財団設立 (理事長：谷川秀善 事務所：大阪府立婦人会館内)
	5. 11	第1回理事会開催
	6. 18	財団設立記念イベント（ウィメンズフォーラム）の開催
	6. 20	第2回理事会開催（理事長に吉沢健就任）
	7. 29	ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）竣工
	8. 8	大阪府から財団へ施設引き継ぎ
	8. 29	財団事務所移転（ドーンセンター内）
	10. 27	第1回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 7	開館記念式典
	11. 11	オープニングイベント開催（～11. 13）
	11. 26	大阪国際女性フォーラム開催（～11. 27）
	2. 27	第2回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 17	第3回理事会開催
平成7年度	6. 29	第4回理事会開催
	7. 17	第3回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 10	ドーンフェスティバル（1周年事業）の開催（～11. 12）
	11. 30	第4回ドーンセンター運営推進委員会開催
	2. 29	第5回ドーンセンター運営推進委員会開催
平成8年度	3. 28	第5回理事会開催
	6. 21	第6回理事会開催
	7. 15	第6回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 8	ドーンフェスティバルの開催（～11. 10）
	12. 16	第7回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 19	ドーンセンター来館者100万人突破
	2. 24	第8回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 28	第7回理事会開催
平成9年度	6. 24	第8回理事会開催
	7. 16	第9回ドーンセンター運営推進委員会開催
	7. 31	第9回理事会開催
	10. 21	第10回理事会開催（理事長に松廣屋慎二就任）
	10. 27	ドーンセンター運営推進委員会施設運営部会開催
	10. 28	ドーンセンター運営推進委員会事業推進部会開催
	11. 7	ドーンフェスティバルの開催（～11. 8）
	12. 26	第11回理事会開催
	2. 23	第10回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 28	第12回理事会開催
平成10年度	4. 16	第13回理事会開催

	6. 26	第 1 4 回理事会開催
	7. 24	第 1 1 回 ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 6	ドーンフェスティバルの開催（～11. 7）
	12. 8	第 1 2 回 ドーンセンター運営推進委員会開催
	2. 26	第 1 3 回 ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 18	第 1 5 回理事会開催
平成 1 1 年度	5. 1	第 1 6 回理事会開催
	6. 21	第 1 7 回理事会開催
	7. 16	第 1 4 回 ドーンセンター運営推進委員会開催
	8. 31	第 1 8 回理事会開催（理事長に木村良樹就任）
	10. 4	ドーンセンター運営推進委員会施設運営部会開催
	10. 7	ドーンセンター運営推進委員会事業推進部会開催
	11. 11	ドーンフェスティバル（女性センターフォーラム）の開催（～11. 11）
	2. 24	第 1 5 回 ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 31	第 1 9 回理事会開催
平成 1 2 年度	4. 23	平成 1 2 年「女性週間全国会議」開催（～4. 24）
	5. 2	第 2 0 回理事会開催
	6. 26	第 2 1 回理事会開催
	7. 3	第 1 6 回 ドーンセンター運営推進委員会開催
	8. 31	第 2 2 回理事会開催（理事長に梶本徳彦就任）
	9. 26	第 2 3 回理事会開催
	11. 9	ドーンフェスティバル（男女共同参画フォーラム）の開催（～11. 10）
	11. 21	第 1 7 回 ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 1	第 2 4 回理事会開催
	2. 17	ドーンフェスティバル（2 1 世紀へ夢描くグループフェスタ 2001）の開催
	2. 26	第 1 8 回 ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 29	第 2 5 回理事会開催
平成 1 3 年度	5. 7	第 2 6 回理事会開催
	5. 24	第 1 9 回 ドーンセンター運営推進委員会開催
	6. 29	第 2 7 回理事会開催
	8. 17	第 2 0 回 ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 30	第 2 1 回 ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 8	第 2 2 回 ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 9	ドーンフェスティバル 2 0 0 2 の開催
	3. 28	第 2 8 回理事会開催
平成 1 4 年度	4. 24	第 2 9 回理事会開催（理事長に山登敏男就任）
	6. 25	第 3 0 回理事会開催（財団名称の変更の承認）
	7. 30	第 2 3 回 ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 27	第 2 4 回 ドーンセンター運営推進委員会開催
	2. 21	第 2 5 回 ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 26	第 3 1 回理事会開催

	3. 29	ドーンフェスティバル2003の開催
平成15年度	4. 1	財団名称を財団法人大阪府男女共同参画推進財団に変更
	4. 23	第32回理事会開催
	6. 6	ドーンセンター来館者400万人突破
	6. 26	第33回理事会開催
	7. 25	第26回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 19	第27回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 5	第28回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 26	第34回理事会開催（財団「新・10年プラン」策定）
平成16年度	4. 1	理事長に時岡禎一郎就任
	4. 1	NPOとの協働専門委員会設置
	4. 20	第35回理事会開催
	6. 23	第29回ドーンセンター運営推進委員会開催
	6. 29	第36回理事会開催
	11. 12	女性エンパワメントフォーラム2004（ドーンセンター10周年記念事業） の開催（～11. 13）
	12. 3	第30回ドーンセンター運営推進委員会開催
	1. 1	ドーンセンター運営推進委員会利用者団体登録審査部会設置
	3. 4	第31回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 24	第37回理事会開催
平成17年度	4. 22	第38回理事会開催
	6. 28	第39回理事会開催
	7. 1	第32回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 11	第40回理事会開催
	12. 9	第33回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 10	第34回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 24	第41回理事会開催
	3. 28	「ドーン利用促進事業共同体」が大阪府から指定管理者に指定
平成18年度	4. 1	「ドーン利用促進事業共同体」が指定管理業務開始
	6. 23	第42回理事会開催
	6. 30	第35回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 15	第36回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 19	第43回理事会開催（「事業・NPO協働評価委員会」の設置）
	3. 13	第37回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 20	第44回理事会開催（財団「中期経営計画」策定）
平成19年度	4. 1	ドーンセンター事業・NPO協働評価委員会の設置
	6. 27	第45回理事会開催
	7. 6	第38回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 21	第39回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 18	第40回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 28	第46回理事会開催

平成20年度	4.18	第47回理事会開催
	6.24	第48回理事会開催
	7.25	第49回理事会開催
	8. 1	大阪府在住女性からの寄附金をもとに「はなみずき基金」設置
	8. 1	第41回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12.19	第42回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.24	第50回理事会開催（「第一次自立化プラン」策定）
	3.25	第43回ドーンセンター運営推進委員会開催
平成21年度	4.24	第51回理事会開催
	6.19	第52回理事会開催
	7. 3	第44回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 3	第53回理事会開催
	2.19	第54回理事会開催
	3.11	第55回理事会開催
	3.19	第45回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.30	第56回理事会開催（「第二次自立化プラン」策定）
平成22年度	4. 1	財団「自立化」スタート
	6.18	第57回理事会開催
	9.17	第58回理事会開催
	1. 9	配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業（パープルダイヤル・性暴力・DV 電話相談―）事業落札（2/8～3/27）
	1.11	東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）指定管理者に指定
	1.14	第59回理事会開催
	2.16	第60回理事会開催（一般財団法人への移行方針承認）
	3.16	「ドーン運営共同体」が大阪府からドーンセンター指定管理者に指定
	3.23	第61回理事会開催（「第二次自立化プラン（改定版）」策定）
平成23年度	4. 1	東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）指定管理業務開始 「ドーン運営共同体」が指定管理業務開始
	6. 1	第62回理事会開催
	7. 1	評議員選定委員会の開催
	7.15	第63回理事会開催
	10.20	第64回理事会開催
	12.20	東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業落札
	1.13	第65回理事会開催
	3.21	平成24年度東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業落札
	3.22	第66回理事会開催
平成24年度	4. 1	一般財団法人に移行
	5.10	配偶者からの暴力被害者のための官官・官民連携推進ワークショップ事業落 札
	5.29	第1回理事会開催
	6. 1	理事の業務担当制導入

「中期経営プラン（平成24年度～平成27年度）」策定

	6.15	第1回評議員会開催
	7.21	第2回理事会開催
	9.19	第2回評議員会開催
	9.28	第3回理事会開催
	10.1	登記上の主たる事務所地の変更（大阪市北区）
	12.17	男女共同参画センター等における性犯罪被害者支援体制整備促進事業落札
	2.13	第4回理事会開催
	3.5	ポジティブ・アクション展開事業受託決定
	3.13	第5回理事会開催
	3.21	平成25年度東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業落札
	3.26	大阪府男女共同参画推進事業（平成25年度～平成27年度）落札
	3.27	第3回評議員会開催
平成25年度	5.21	第6回理事会開催
	6.12	第4回評議員会開催
	6.12	女性に対する暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ事業落札
	9.5	性犯罪被害者支援に関する地方公共団体の男女共同参画部門における地域連携のあり方に関する調査研究落札
	9.25	第7回理事会開催
	10.23	第5回評議員会開催
	12.4	性犯罪被害者支援体制整備促進事業落札
	1.21	東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）指定管理者（平成26年度～平成30年度）に指定
	2.18	第8回理事会開催
	3.11	平成26年度東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業落札
	3.12	第9回理事会開催
	3.25	第6回評議員会開催

一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団

〒540-0008 大阪府中央区大手前 1-3-49
ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

事務局

総務担当	TEL 06-6910-8625	FAX 06-6910-8624
事業担当	TEL 06-6910-8615	
情報担当	TEL 06-6910-8616	
相談担当	TEL 06-6910-8588	

URL <http://www.ogef.jp/> 発行：平成26年6月

頒布価格 500円